DynaMO 1300U2 Photo

Photo Player

ユーザマニュアル

目次

第１章　製品のご紹介

はじめに

このたびは、DynaMO 1300U2 Photo 光磁気ディスクドライブをお買い上げくださり、誠にありがとうございます。ご使用いただく前に、必ず本書をお読みください。

保証書について

保証書に必要な事項が記入されているかどうか確認してください。お買い上げ時に正しく記入されていない場合は保証書が無効になり、無償保証を受けられないことがありますので、充分ご注意ください。記載内容が不十分でしたら、速やかにお買い求めの販売店にお問い合わせください。

お読みください

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することを禁止します。
2. 本製品および本書は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。
3. 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権その他の権利につきましては、当社はその責を負いません。
4. 本書の内容および本製品に関しては、万全を期して作成および製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら、お問い合わせください。
5. 当社は、本製品の使用により生じたデータの消失、破損については、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。大切なデータにつきましては、万一に備えて適宜バックアップをおとりください。
6. また、5 項に伴いシステム、データ、MO ディスク、メモリカードなどの補償は、一切できかねます。
   更に、ソフトウェア・ハードウェアの故障・誤動作・その他いかなる理由によって発生した損失に関しても、補償は一切できかねますのでご了承ください。
7. 本製品は絶対に分解しないでください。分解されますと、お客様の財産に損害を与える事故が起きても補償できません。また、一度分解されますと故障した場合の修理は保証期間内であっても有償修理となります。
8. 本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、この製品に関する技術相談やアフターサービスなども日本国外では行っておりません。
9. ・DynaMO は、富士通株式会社の登録商標です。
   ・Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
   ・Macintosh および Mac は、Apple Computer, Inc. の商標です。
   ・本書にある商品名、名称などは各社の商標または登録商標です。

MO ディスク、メモリカードのフォーマット容量について

MO ディスク、メモリカードに記載されている容量は、1KB = 1,000byte で計算されています。
ただし、OS 上でフォーマットするときやプロパティで MO ディスクの容量を確認するときは、1KB = 1,024byte で計算されるため、表示される容量が異なります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生した損害に対して、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ハイセイフティ用途	原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、 大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラス Ｂ 情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

特長

- 本製品単体で、液晶パネルを見ながらボタン操作し、MO ディスク、メモリカード間のデータ転送ができます。（リモコンからも同じ操作ができます。）
  ・メモリカードから MO ディスクへデータのコピー
  ・MO ディスクからメモリカードへデータのコピー
- MO ディスクやメモリカードに格納されているデジタルカメラの画像を本製品の液晶パネルで鑑賞できます。
- デジタルカメラの画像を家庭用テレビで鑑賞できます。
- 本製品単体で MO ディスクのフォーマットができます。
- パソコンと接続すれば大容量 MO ドライブやメモリカードリーダライタとしてお使いになれます。
- 付属の縦置きスタンドにより、場所を取らずにご使用になれます。

梱包内容

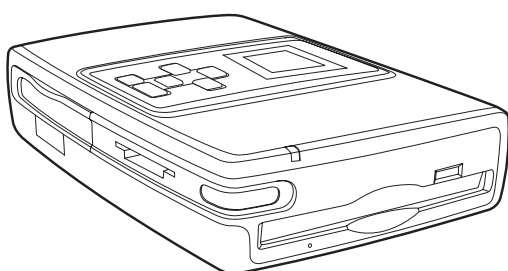
以下のものが梱包されていることをお確かめください。万が一、欠品などございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

※ 本製品を快適にお使いになるために付属のセットアップソフト CD-ROM からユーティリティ、デバイスドライバソフトのインストールを行ってください。

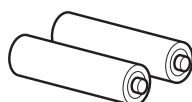
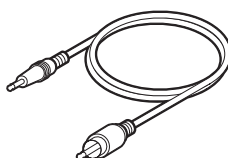
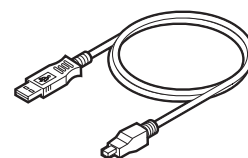
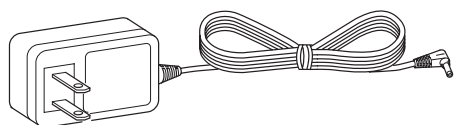
参考

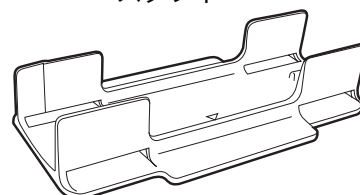
箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

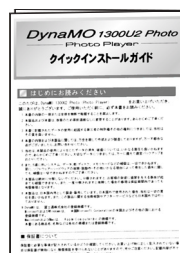
DynaMO 1300U2 Photo 本体

CD-ROM
（セットアップソフト、マニュアル含む）

リモコン

リモコン用単四電池（2 本）

ビデオケーブル

USB ケーブル

AC アダプタ

イジェクトピン

スタンド

保証書

DynaMO 1300U2 Photo
マニュアル（本書）

クイックインストールガイド

リモコンシール

取り扱い上のご注意

表示について

次のような表示と内容により「取り扱い上のご注意」を説明していきます。
必ずお読みの上、本書の内容に沿って正しくお使いください。

⚠ **警告**	この表示は「使用者が死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示しています。
⚠ **注意**	この表示は「事故や故障、損害などが起きる可能性がある内容」を示しています。

絵記号の意味

次のような表示と内容により「取り扱い上のご注意」を説明していきます。
必ずお読みの上、本書の内容に沿って正しくお使いください。

	この表示は「注意・警告を促す内容」を示しています。
	この表示は「禁止事項を促す内容」を示しています。
	これらの表示は「しなければならない内容」を示しています。

⚠警告

	本製品を取り付ける際には、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが指示する警告・注意の指示を守ってください。
	分解しないでください。 本機は例えネジ一本でも絶対に分解しないでください。分解されますと、機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。その際に発生する、いかなるお客様の損害に対しても一切補償できません。
	異常が発生したとき。 本製品から異臭や煙、発火が発生した場合や近くで雷が発生した場合には、直ちに USB ケーブルや AC アダプタ、ビデオケーブルを抜いてください。
	異物を入れないでください。 本製品内部には高圧な電気が流れている部分や、機械的な動作をする部分などがあります。異物が入るとショートや機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となりますので絶対に入れないでください。水など液体が入ったり浸水してしまうと機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。また場合によっては、修理不可能となる場合があります。万が一異物が入ってしまった場合は、分解したり無理に取り出したりせずに、修理としてご依頼ください。

濡れた手で取り扱うのは危険です。

濡れた手で、本製品の取り扱いをしたり USB ケーブルや電源ケーブルの抜き差しをすることは絶対にしないでください。機器の破損・故障、あるいは火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。

水分や湿気の多い場所では使用しないでください。

風呂場など、水分や湿気の多い場所では本製品を使用しないでください。

火災・漏電・感電など重大な事故の原因となります。

イジェクトピンの取り扱い注意。

イジェクトピンは、幼児が誤って飲み込まないよう、幼児の手の届かないところに保管してください。

⚠注意

電池は正しく取り扱ってください。

- 機器の取扱説明書で指定されていない電池は使用しないでください。
  また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液洩れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 電池は極性表示＜プラスとマイナス＞の向きを確認してから機器内に取り付けてください。間違えますと電池の破裂、液洩れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
- 本製品に付属している乾電池は、絶対に充電しないでください。
  破裂や発火の危険があります。

強い磁気や強い電波が発生しているものには近づけないでください。

磁石のように磁気を発するものや、無線機のように電波を発するものを近づけないでください。誤動作をする場合があります。

電波の影響する機器には近づけないでください。

本製品を電波に影響される機器に近づけないようにしてください。機器に誤動作をさせる場合があります。

落としたりぶつけたりしないでください。

動作時・輸送時に落としたりぶつけたりして、強い衝撃や振動を与えると故障や破損する恐れがあります。

MO ディスクを入れたまま移動しないでください。

動作中や MO ディスクを入れた状態で本製品を移動しないでください。MO ディスクに損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ず MO ディスクを取り出してください。

快適な場所に設置して使用してください。

振動の大きい場所、ホコリのひどい場所、薬品の噴霧中でのご使用および設置はしないでください。故障の原因となります。

湿度や温度の厳しい場所や状態で使用しないでください。

極端な高温（低温）状態や高湿度な場所、直射日光の当たる場所や、発熱器具（暖房器具や調理用器具など）の近くで使用しないでください。故障の原因となります。また、急激な温度変化は結露の原因となり動作させると故障の原因となりますので、周囲の温度との差がなくなってから使用してください。

本製品または電池を廃棄する場合は、他のゴミと一緒に捨てないでください。

火中に投じると破裂のおそれがあります。

!	**MO ディスク、メモリカードを読み書きしているときは、そのままにしてください。** キャッシュ※1機能によってパソコン上では書き込みが終了しても、本製品は動作を続けている場合があります。MO アクセスランプか本製品のアクセスランプが緑色で点灯している状態で電源を切ったり、イジェクト※2を行わないでください。MO ディスクやメモリカードのデータ破壊、本製品の破損や故障の原因となります。
!	**データのバックアップ※3を取ってください。** MO ディスクやメモリカードへの読み書き動作中に、不意の障害や事故が発生した場合、MO ディスクやメモリカードの読み書きやデータの復元ができなくなる場合があります。万一のために、データやプログラムのバックアップを行ってください。 また、大切なデータ、プログラムを収めた MO ディスクには、必ずライトプロテクトを行うようにしてください。また、メモリカードにライトプロテクト機能がある場合も同様に、ライトプロテクトを行うようにしてください。
⊘	**物を置かないでください。** 本製品の上に物を置かないでください。傷がついたり故障の原因となる場合があります。
⊘	**MO ディスク以外のものを挿入しないでください。** MO ディスク挿入口に MO ディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると故障や破損の原因となります。
⊘	**メモリカード挿入口には対応メモリカード以外のものを挿入しないでください。** メモリカード挿入口に対応メモリカード以外のものを挿入すると故障や破損の原因となります。
⊘	**MO ディスク、メモリカードの取り扱いにご注意ください。** 本製品をパソコンに接続するときや、パソコンから取り外すときは、本製品に MO ディスクやメモリカードが挿入されていないか確認してください。挿入されている場合は、一度 MO ディスクやメモリカードを取り出してから行ってください。
⊘	静電気や磁界や電気ノイズの発生しやすい環境で本製品を使用しないで下さい。誤作動の原因となることがあります。
⚠	静電気を帯びたメモリカードを本製品に入れると、本製品が誤動作する場合があります。このような場合はいったん本製品の電源を切ってから、再度電源を入れてください。

※1　キャッシュ　　高速処理のためにデータを高速のメモリを経由して処理する方法。または、そのメモリのこと。
※2　イジェクト　　MO ディスクやメモリカードを装置から取り出す作業。
※3　バックアップ　復元が可能なように、データを他の場所にも保存しておくこと。

⚠警告 — AC アダプタをご使用にあたって

!	**電源は、専用 AC アダプタを使用してください。** AC アダプタは必ず本製品に付属している専用のものを使用してください。 また、AC アダプタは AC100V 専用です。タコ足配線はしないでください。機器の破損・故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。
(プラグ)	**AC アダプタのプラグは確実に根元まで差し込んでください。** 差し込みが不完全な場合、隙間にほこりや異物が入り火災の原因となります。また、抜く場合はプラグを持って抜いてください。アダプタを持って抜くと損傷・故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。
(プラグ)	**AC アダプタの抜き差しはていねいに行ってください。** AC アダプタは破損しないように十分にご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、物が乗ったり、鋭い物に当たっていたりすると、ケーブルの被覆が損傷し、故障、あるいは火災・電気的なトラブルなど重大な事故の原因となります。

	異臭や異音などの異常が発生した場合 万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音などの異常が発生した場合は、ただちに本製品の電源をオフ にし、AC アダプタをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、お買い求めの販売店へ修理を依頼してください。お客様自身による修理は危険ですので絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
	異物が内部に入った場合 異物（水・金属片・液体など）が本製品の内部に入った場合は、ただちに本製品の電源をオフにし、AC アダプタをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となりますので、すぐにお買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

用語説明

■ USB（Universal Serial Bus）［ユーエスビー］
パソコンと周辺機器を接続する規格の 1 つ。「USB1.1」と「USB2.0」の 2 つのバージョンがある。特長として、接続のしやすさ、増設のしやすさなどがあげられる。

最大転送速度（理論値）

■ フォーマット
MO ディスクを使えるようにするために必要な作業。他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

■ メモリカード
記憶媒体としてフラッシュメモリを採用しているカード型の記憶装置。非常に小型で、しかもデータの読み書きにほとんど電力を消費しないため、モバイル機器の記録メディアとして普及している。
代表的なメモリカード規格には、コンパクトフラッシュやスマートメディア、SD メモリカード、メモリースティック、マルチメディアカード、xD ピクチャーカードなどがある。

■ NTFS
Microsoft 社の OS である Windows NT/2000/XP で使われるファイルシステム。

■ ルートディレクトリ
ファイルシステムの先頭に位置するディレクトリ。

■ FAT12, FAT16, FAT32
File Allocation Table の略称であり、ディスクの管理の仕方をあらわす。たとえば FAT16 はディスクを 2 の 16 乗（=65536）個の小さな単位に分割して管理する。最大 2GB までの領域を管理できる。（単に FAT と呼ばれることもある。）FAT32 はディスクを 2 の 32 乗（= 約 42 億）個の小さな単位に分割して管理する。

■ キャッシュ
高速処理のためにデータを高速のメモリを経由して処理する方法。または、そのメモリのこと。

■ イジェクト
MO ディスクやメモリカードを装置から取り出す作業のこと。

■ バックアップ
復元が可能なように、データを他の場所にも保存しておくこと。

■ オペレーティングシステム
コンピュータシステム全体を管理するソフトウェアのこと。

■ **シークタイム**
ハードディスクや MO などの記憶装置で、ヘッドがディスク上の目的の読み出し（または記録）位置に到達するまでの所要時間のこと。

■ **セクタ**
円盤（ディスク）状の記憶装置における最小の記録単位のこと。

■ **バッファサイズ**
転送データを一時的に保存するために使われるストレージ領域のサイズのこと。

■ **光磁気ディスク（MO ディスク）**
磁気記憶方式に光学技術を併用した書き換え可能な記憶装置のこと。磁気的、光学的に耐久性があり信頼性が高い。

■ **rpm**
1 分間に何回転するかを示す単位。

■ **コマンド**
コンピュータなどに特定の機能の実行を指示する命令のこと。

■ **インストール**
アプリケーションソフトをコンピュータに導入する作業のこと。

■ **ソフトウェア**
狭義にはコンピュータプログラムとほぼ同じ意味。コンピュータを動作させる手順・命令をコンピュータが理解できる形式で記述したもののこと。

■ **ハードウェア**
コンピュータを構成している電子回路や周辺機器などの物理的実体のこと。

■ **ドライバ**
周辺機器を動作させるためのソフトウェアのこと。

■ **プレインストール**
メーカー製パソコンなどで、販売前にあらかじめ OS やアプリケーションソフトがインストール（導入）されていること。

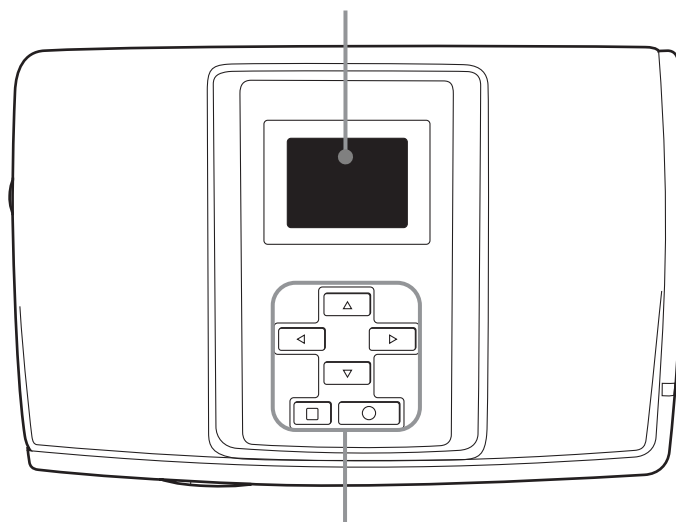
■ **NTSC/PAL**
NTSC とは、National Television System Committee の略。テレビ受像方式の一種。アメリカ、日本、その他の国で使われる。
PAL とは、Phase Alternating Line の略。テレビ受像方式の一種。ドイツ、イタリアなどヨーロッパや、中国で主に使われる。

■ **JPEG**
Joint Photographic Experts Group の略
静止画像データの圧縮方式の一つ。パソコンやデジタルカメラで一般的に使われているファイル形式。

■ **Exif**
Exchangeable Image File Format の略。JEIDA（日本電子工業振興協会）で規格化された画像フォーマット。ベースは既存の汎用画像フォーマット TIFF と JPEG であり、デジタルカメラ用の固有情報などが付加された。

装置本体各部の名称・機能

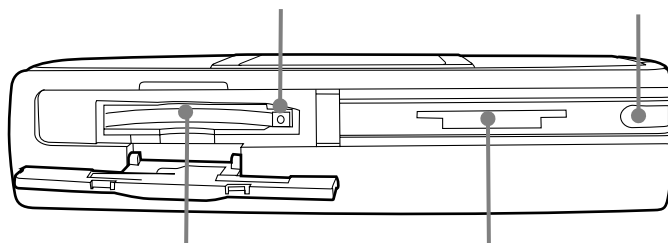
上面

液晶パネル
操作画面の表示を行います。
単体（スタンドアロン）モードではデジタルカメラで撮影した画像を鑑賞することができます。

操作ボタン
メニュー選択や決定・取り消し作業を行います。
付属のリモコンでも同じボタン操作を行うことができます。
詳細は、リモコン機能説明（16 ページ）を参照してください。

参考　液晶パネルは、電源がオンのときでも、ボタン操作をしない状態が約 3 分続くと、省電力のために画面が暗くなります。そのまま約 10 分経つと、液晶パネルは自動的に消灯します。
どちらの場合も、操作ボタンのいずれかを押すと元の画面を表示します。

前面（カバーを開けた状態）

コンパクトフラッシュイジェクトボタン
コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、
CF アダプタを取り出すときに使用します。

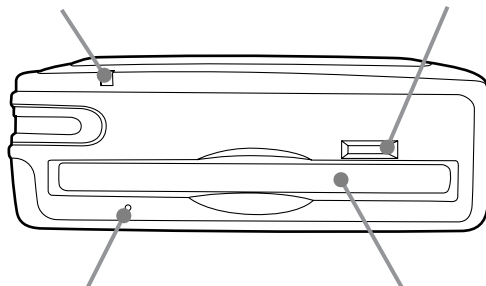
リモコン受光部
リモコン信号の受光部です。
リモコンをここに向けて操作してください。

コンパクトフラッシュ挿入口
コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、
CF アダプタはここに挿入してください。
ご使用時はカバーを閉じてください。

メモリカード挿入口
スマートメディア、SD メモリカード、
マルチメディアカード、メモリースティック、
メモリースティック Pro はこちらに挿入します。

コンパクトフラッシュ挿入口とメモリカード挿入口の両方にカードを挿入した場合、同時に両方のカードを使用することはできません。
両方にカードを挿入した場合は、どちらか先に認識したカードのみ使用できます。
一度両方のカードを抜いてから、再度お使いになるカードのみ挿入してください。

右側面

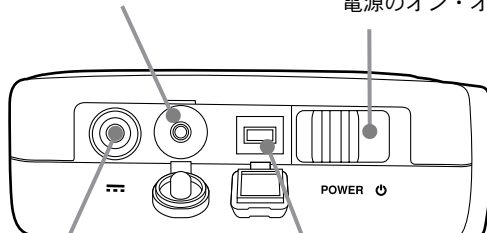
パワー LED（アクセスランプ兼用）
電源をオンにすると点灯します。
メモリカードアクセス時には緑色に点滅してアクセスしていることをお知らせします。

MO イジェクトボタン（アクセスランプ兼用）
MO ディスクを取り出すときはこのボタンを押します。
MO ディスクアクセス時には点滅してアクセスしていることをお知らせします。

MO 強制イジェクト穴
イジェクトボタンを押しても MO ディスクが取り出せなくなった場合は、ここに付属のイジェクトピンを差し込んで MO ディスクを強制的に排出します。

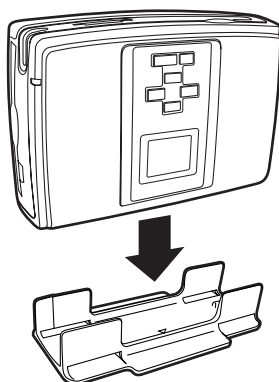
MO ディスク挿入口
ここに MO ディスクを挿入します。

左側面

ビデオ出力コネクタ
家庭用テレビで鑑賞するときに使用します。
付属のビデオケーブルを接続してください。

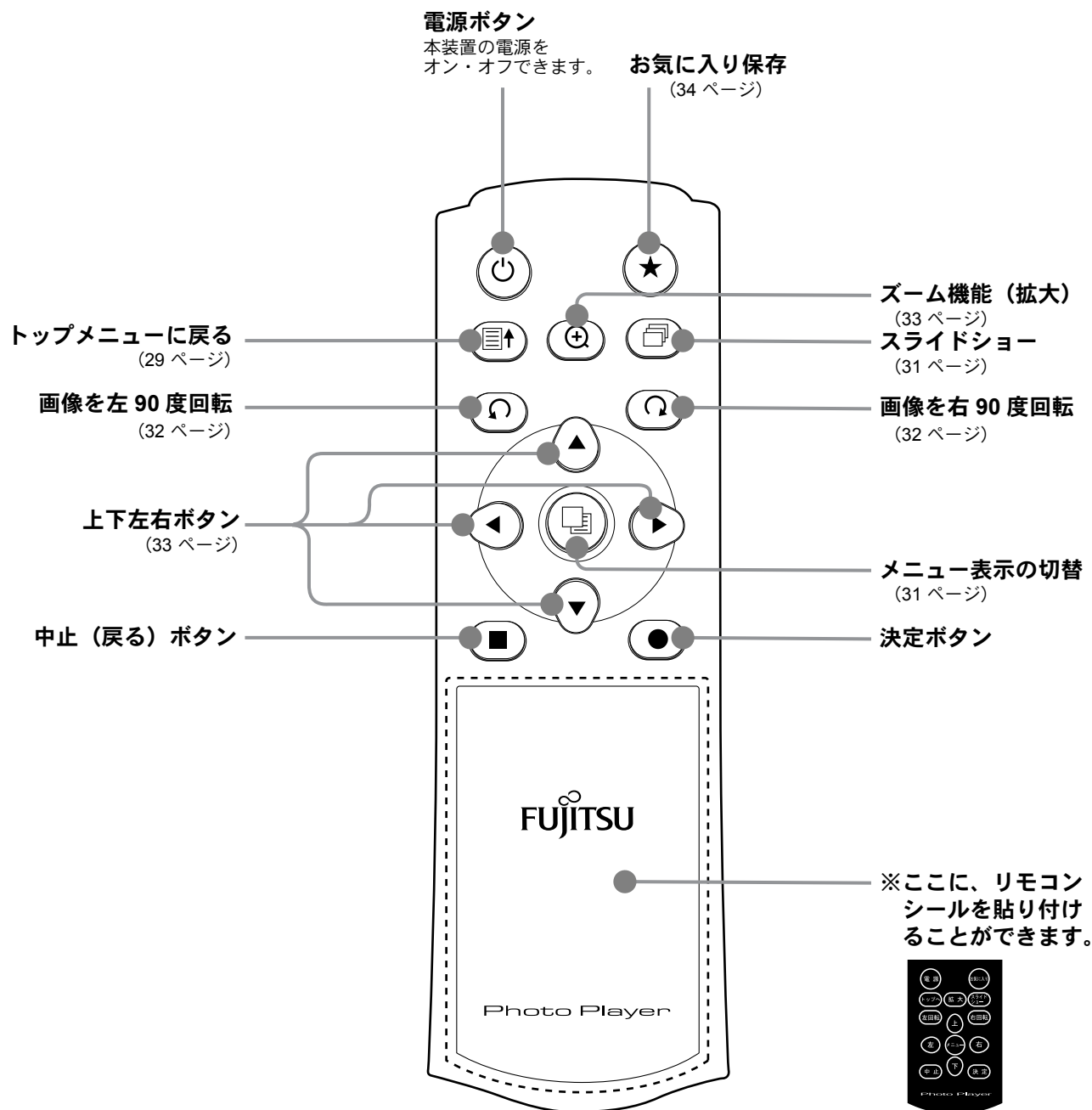
電源スイッチ
電源をオン・オフします。
スライドさせて約 1 秒間経つと電源のオン・オフができます。

電源コネクタ
付属の AC アダプタを接続します。

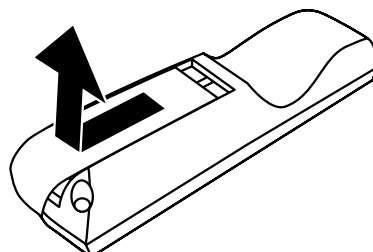
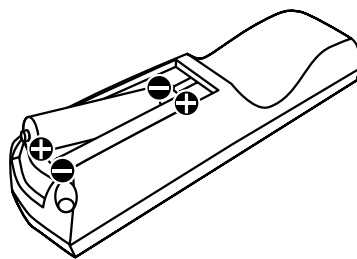
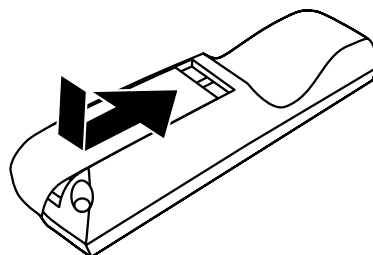
USB コネクタ
付属の USB インターフェースケーブルを接続します。

縦置きスタンドにセットする場合は、スタンドと本装置の向きに注意してください。

リモコンの機能

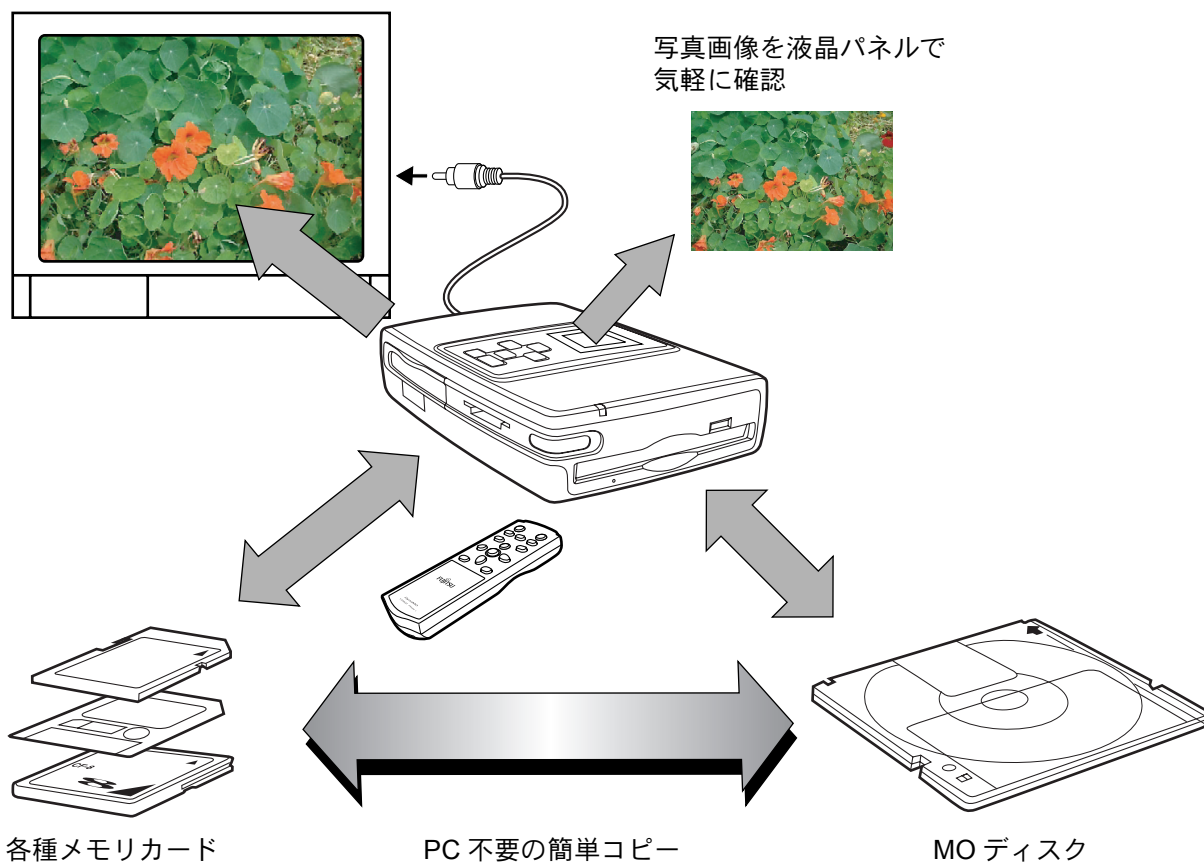
リモコンの使い方については、第 2 章で説明します。

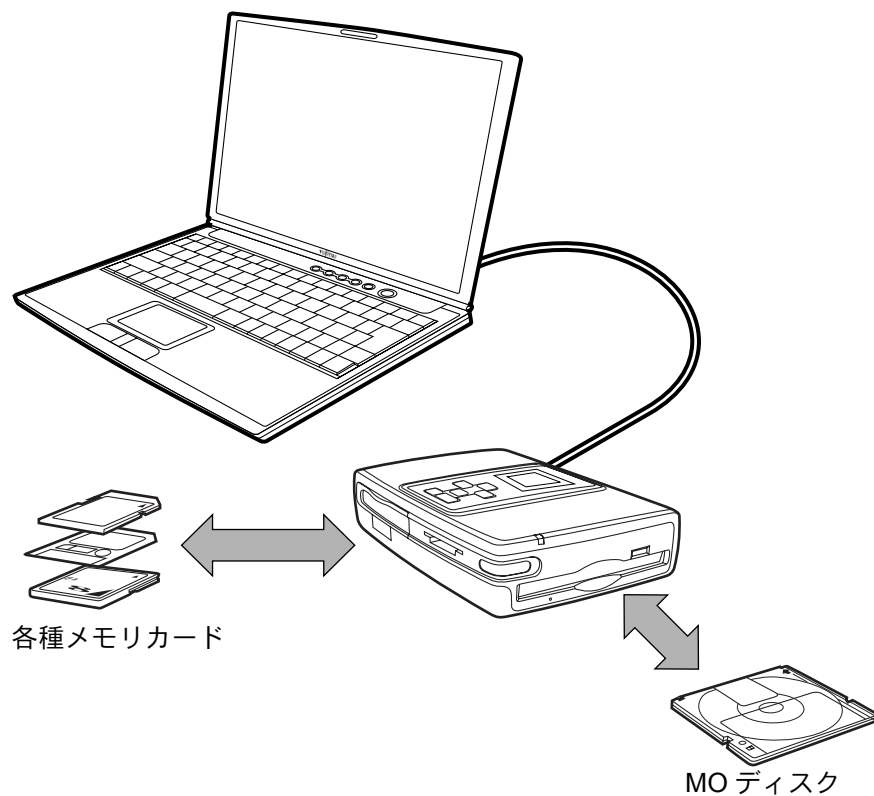
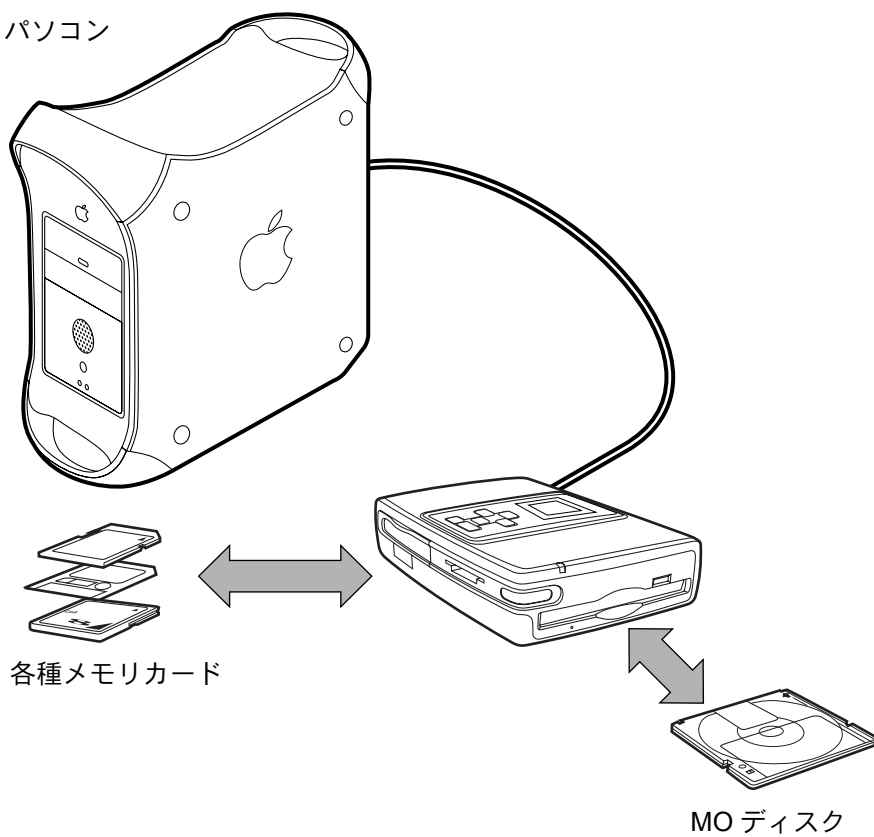
◆ リモコンへの電池の入れ方

参考

使用できる電池は以下の通りです。
- 単四形アルカリ乾電池
- 単四形マンガン乾電池

1 電池ボックスのカバーを外します。

2 電池ボックスの表示の通りに電池を正しく入れます。

3 電池ボックスのカバーを取り付けます。

ご使用の前に

本装置は、次の 2 種類のモードで使用できます。

◆ 単体（スタンドアロン）モード

◆ パソコン接続モード

● Windows パソコン

● Macintosh パソコン

パソコンに接続して使用する場合は、付属のセットアップソフトからドライバをインストールして使用してください。
※ Mac OS X 10.1.4 以降で使用する場合、ドライバのインストールは必要ありません。

対応メディア

MO ディスク

本装置では、下記に示す MO ディスクをお使いになれます。

・1.3GB、640MB、540MB、230MB、128MB
・オーバーライト MO ディスク（640MB、540MB、230MB）※1

単体（スタンドアロン）モード、Windows で共用する場合、FAT32/FAT16 ※2 フォーマットのみお使いになれます。
単体（スタンドアロン）モード時は、Mac OS 標準フォーマット、Mac OS 拡張フォーマット、および NTFS フォーマットはお使いになれません。

※1　オーバーライト MO ディスクに対応する書き込み速度は、通常ディスクと同等になります。
※2　一般的に FAT と呼ばれることもあります。

メモリカード

本装置では、下記に示すメモリカードをお使いになれます。

・コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、スマートメディア ※3、SD メモリカード ※4、マルチメディアカード、メモリースティック ※5、メモリースティック Pro、xD ピクチャーカード ※6

参考

単体（スタンドアロン）モード時は、FAT32/FAT16/FAT12 でフォーマットされたメモリカードのみ対応しています。

※3　スマートメディアの著作権保護用 ID 機能には対応しておりません。
※4　SD メモリーカードの著作権保護機能には対応しておりません。
※5　メモリースティックのマジックゲート機能には対応しておりません。
※6　CF カードアダプタが必要です。xD ピクチャーカードの著作権保護機能には対応しておりません。

パソコン接続環境

対応機種	対応 OS
OADG 仕様 DOS/V 対応パソコン NEC PC98-NX シリーズ	Windows XP Windows 2000（SP3 以降） Windows Me Windows 98（Second Edition 含む）
Apple Macintosh シリーズ	Mac OS 9.0.4 ～ 9.2.2 Mac OS X 10.1.4 ～ 10.3.3
インターフェース	USB2.0（High-speed: 480Mbps） USB1.1（Full Speed: 12Mbps、LowSpeed: 1.5Mbps）

制限事項

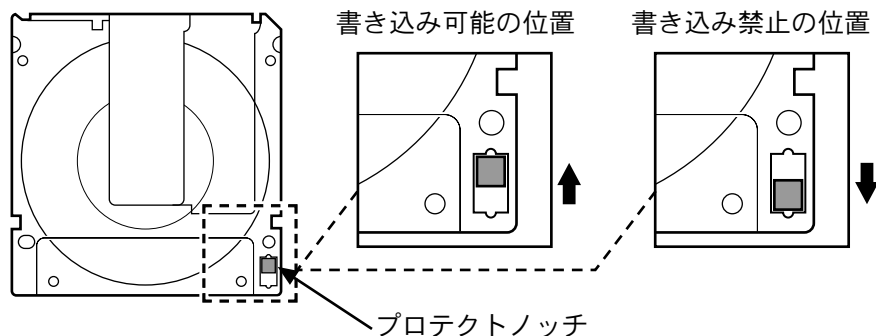
・USB インターフェース標準搭載機種のみ対応します。
・各対応 OS はプレインストールのみ動作保証します。
・パソコン本体の USB ポート直結のみ動作保証します。
・USB2.0 の High-Speed(480Mbps) での転送を実現するためにはパソコン側のインターフェースが USB2.0 の High-Speed に対応していなければなりません。
・USB インターフェースはすべての USB 機器での動作を保証するものではありません。
・最新の製品情報については、インターネットホームページ http://www.personal.fujitsu.com/ をご参照ください。
・本装置で表示可能な画像は DCF(※1) 準拠の JPEG ファイルで、1 枚あたり 2440 万画素か、10MB 以下となります。
・デジタルカメラで撮影された動画や録音された音声は再生できません。
・同時に使用できるメモリカードは 1 種類です。
・本装置を単体でご使用の際は、FAT16 あるいは FAT32 フォーマットの MO ディスクのみご使用になれます。Mac OS 標準フォーマット、Mac OS 拡張フォーマット、ハードディスクフォーマットはご使用になれません。
また、Macintosh と単体での使用を併用する場合には、540MB、230MB、128MB の MO ディスクのみご使用になれます。
・本装置単体のコピー機能は、MS-DOS 形式のファイル名のみをサポートしております。
・リモコンの稼動範囲は距離 : 約 1m、角度 : 上下約 20 度、左右約 45 度ですが、設置環境や条件によって異なる場合があります。また、至近距離で複数台の DynaMO 1300U2 Photo を使用すると複数台が反応することがあります。

※ 1　DCF: Design rule for Camera File system
日本電子工業振興協会 (JEIDA) が制定したデジタルカメラ画像のフォーマットのこと。

ライトプロテクト（書き込み禁止）

MO ディスク

MO ディスクに書き込んだデータを誤って消去しないために、MO ディスクの書き込みを禁止することができます。書き込みを禁止する場合は、MO ディスクの裏面のプロテクトノッチを書き込み禁止の位置に移動してください。書き込む場合は書き込み可能の位置に移動してください。

各種メモリカード

メモリカードのライトプロテクトについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

MO ディスクの排出

◆ 単体（スタンドアロン）モードでお使いの場合

【MO ディスクを取り出す】（25 ページ）をご覧ください。

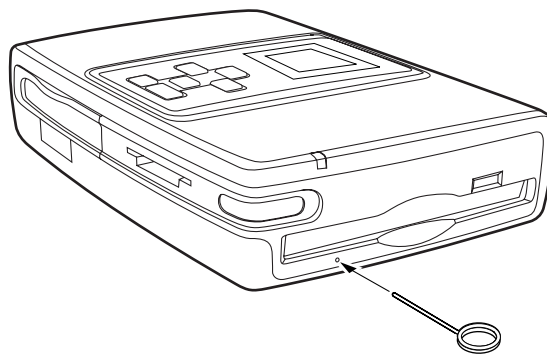
◆ パソコンと接続してお使いの場合

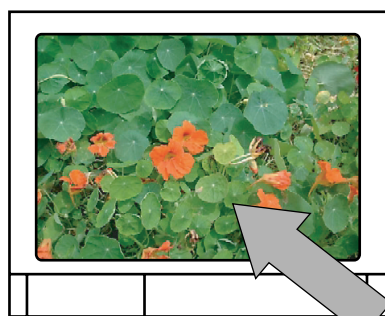
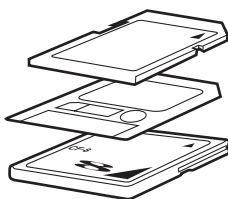
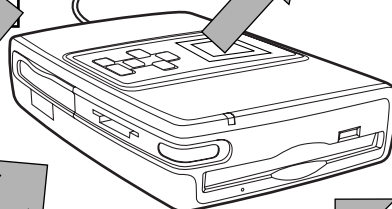
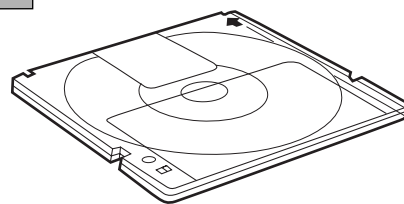
Windows パソコン　：60 ページをご覧ください。
Macintosh パソコン：74 ページをご覧ください。

◆ 上記の方法で MO ディスクを排出できない場合

何らかの不具合により通常の方法で排出できなくなったときは、MO 強制イジェクト穴に付属のイジェクトピンを入れて排出します。

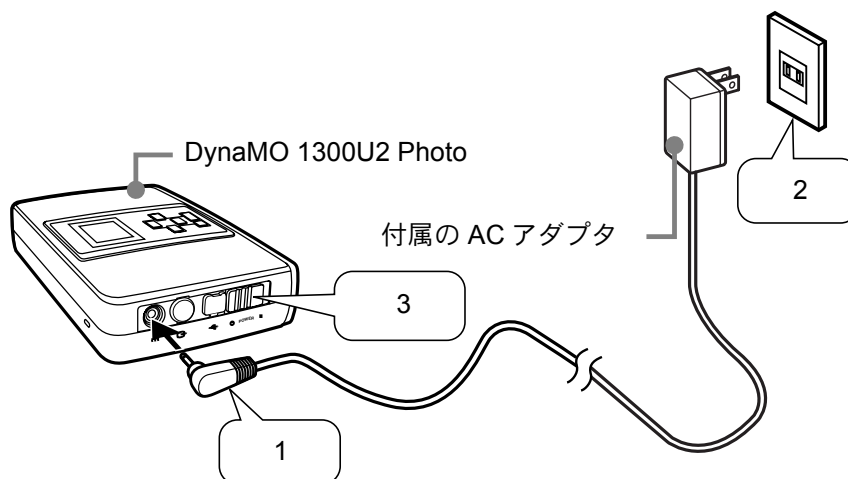
1 **本装置の電源をオフの状態にします。**

2 **MO 強制イジェクト穴にイジェクトピンを突き当たるまで入れて、押します。**

3 **イジェクトピンを抜き、MO ディスクを取り出します。**

第2章　単体（スタンドアロン）モード

単体（スタンドアロン）モードで使う準備

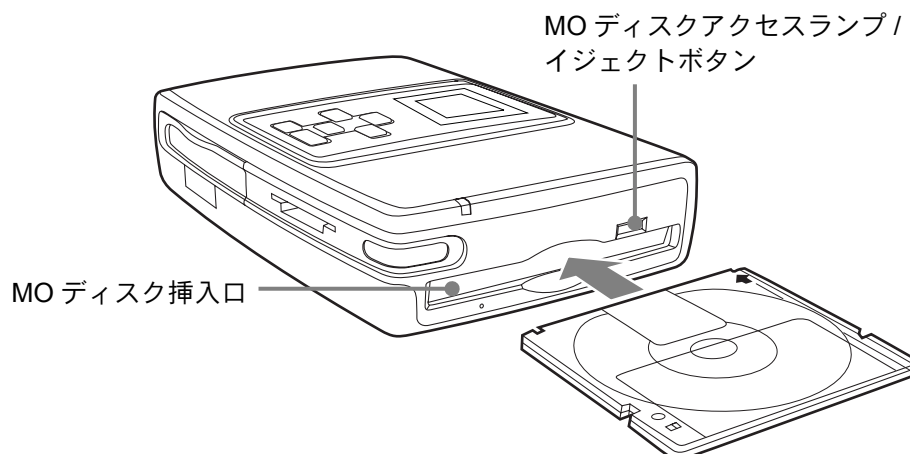
1 **本装置側面の電源コネクタに付属の AC アダプタを接続します。**

2 **AC アダプタをコンセントに接続します。**

3 **本装置側面の電源をオンにします。**

MO ディスクの挿入と取り出し

◆ MO ディスクを挿入する

1 **MO ディスクの表側を上にして MO ディスク挿入口に対して水平にカチッと音がするまで入れます。**

2 **MO ディスクアクセスランプ / イジェクトボタンが点灯後、消えることを確認します。**

メモリカードや MO ディスクを誤った方向に入れると、本装置だけでなく、メモリカードや MO ディスクが壊れる場合があります。

◆ MO ディスクを取り出す

1 **MO ディスクアクセスランプ / イジェクトボタンが消えていることを確認します。**

2 **MO ディスクアクセスランプ / イジェクトボタンを押します。**

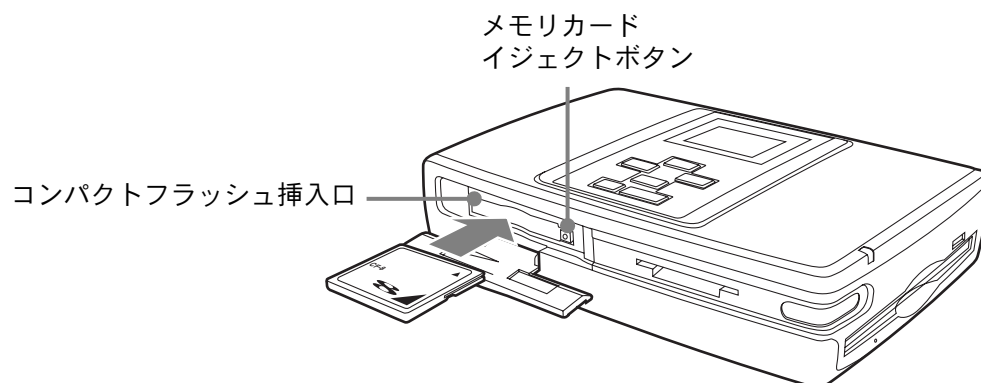
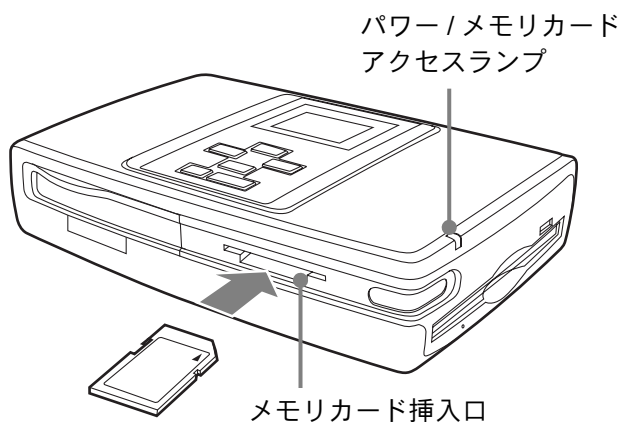
参考

本体のボタン操作でも MO ディスクが取り出せます。
メニュー画面の表示中に[▷]ボタン（リモコンでは(▶)ボタン）を押し、画面のメッセージにしたがって操作してください。

メモリカードの挿入と取り出し

◆ メモリカードを挿入する

メモリカードをカード挿入口に対して水平に押し込みます。

・コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、CF アダプタを使用する場合

・スマートメディア、SD メモリカード、マルチメディアカード、メモリースティック、メモリースティック Pro を使用する場合

メモリカードや MO ディスクを誤った方向に入れると、本装置だけでなく、メモリカードや MO ディスクが壊れる場合があります。

◆ メモリカードを取り出す

注意　コンパクトフラッシュ挿入口のカードを取り出す場合と、メモリカード挿入口のカードを取り出す場合では、操作の手順が異なります。

● コンパクトフラッシュ挿入口のカードを取り出す場合

1 パワー LED（橙色）が点灯していることを確認します。

点滅（アクセス）していないことを確認します。

2 カバーを開き、コンパクトフラッシュイジェクトボタンを軽く押します。コンパクトフラッシュイジェクトボタンが飛び出します。

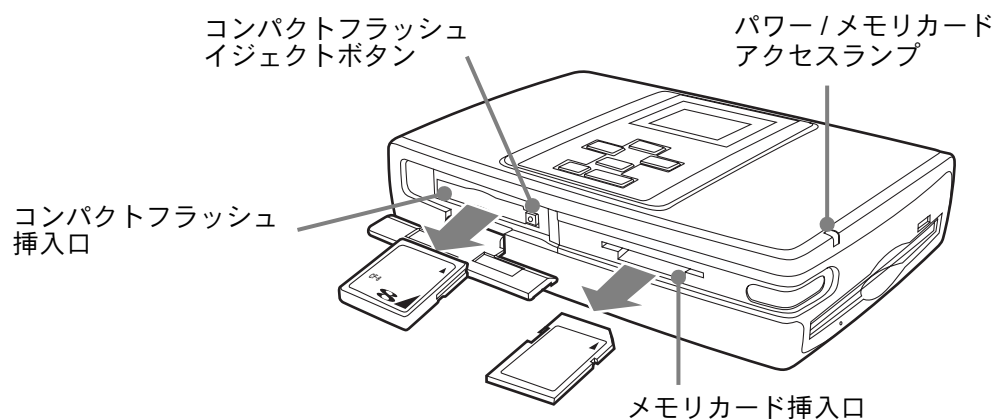
3 コンパクトフラッシュイジェクトボタンを深く押し込みます。

4 ボタンが元の位置に戻り、コンパクトフラッシュが少し飛び出します。コンパクトフラッシュを取り出して、カバーを閉じてください。

● メモリカード挿入口のカードを取り出す場合

1 パワー LED（橙色）が点灯していることを確認します。

点滅（アクセス）していないことを確認します。

2 本装置からそのままカードを抜いてください。

初めて電源を入れる

本装置をご購入後、初めて電源を入れるときに言語選択と日時設定を行います。

◆ 言語設定を行う

初めて電源を入れると、液晶パネルに次のような画面が表示されます。
ここで言語設定を行います。

1 ［△］［▽］ボタンを押して日本語を選択してください。

日本語
English
Deutsch
Italiano
●：決定

2 矢印および青色で示された部分が選択された言語です。

3 日本語を選択したら、［○］ボタンを押して決定してください。

注意　本装置では、日本語以外の表示言語は製品サポートの対象外とさせていただきます。

◆ 日時設定を行う

言語選択が終了すると次の画面が表示されますので日時設定を行ってください。

1 現在の西暦を決定します。西暦は下 2 桁を変更できます。
00-99 まで設定可能です。

[日時設定]
2004 /　1 /　1
0 : 00
●：決定

2 ［△］［▽］［◁］［▷］ボタンを押して変更します。

3 西暦設定が終了したら［◁］［▷］を押して次の項目を選択します。

4 同様の操作を繰り返して日時を設定し、最後に［○］ボタンを押して決定します。

参考　日時の初期設定値は「付録」の「出荷時の設定」（92 ページ）をご覧ください。

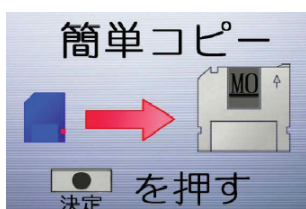
簡単コピー

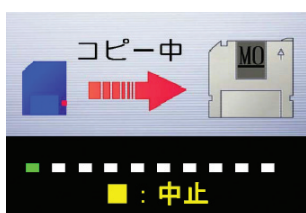
メモリカードの内容を［○］ボタン１つでまるごと MO ディスクにコピーします。

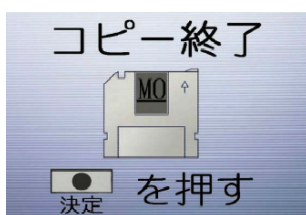
1 **本装置の電源をオンにします。**

2 **左図のような起動画面が表示されて、しばらくすると簡単コピー画面に変わります。**

3 **メモリカードをカード挿入口に入れます。**
MO ディスクを MO ディスク挿入口に入れます。

4 **［○］ボタンを押すとコピーを開始します。**

5 **コピー実行中。**

このとき、［□］ボタンを押すと、コピーを中止します。
コピー中に［□］ボタンを押した場合、それまでのファイルはコピーされていますが、コピー中のファイルと、それ以降のファイルはコピーされません。

6 **コピー終了。**

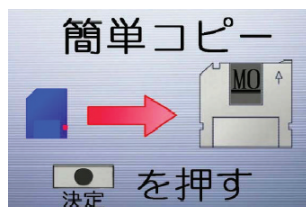
［○］を押すと簡単コピー画面に戻ります。

コピーされたデータは、MO ディスク内ではフォルダ単位で管理されます。

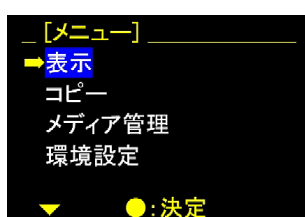
フォルダやファイルの管理について、詳しくは【ファイルの階層について】（93 ページ）をご覧ください。

MO ディスクの容量が足りない場合、MO ディスクを交換するようにメッセージが表示されます。
このとき、交換前の MO ディスクには容量が許す限りファイルをコピーします。
コピーできなかった残りのファイルが、交換前と同じフォルダ名で交換後の ＭＯ ディスクに保存されます。

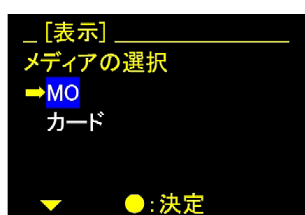
写真を見る（表示）

ここでは液晶パネルに表示する手順を説明します。
テレビに接続しても同様の操作方法でお楽しみいただくことができます。
テレビに接続する方法については、【テレビで見る】（45 ページ）をご覧ください。

1
簡単コピー
MO
決定 を押す

電源をオンにします。
本装置の電源を入れると、液晶パネルに簡単コピー画面が表示されます。
[○]、[▷]以外のボタンを押すと、メニュー画面に変わります。

2
[メニュー]
➡表示
コピー
メディア管理
環境設定
▼ ●:決定

メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「表示」を選択します。
リモコンでも操作できます
簡単コピーメニュー以外の画面が表示されているときは、リモコンのボタンを押すことで、いつでもメニュー画面を表示できます。

3 選択できたら、[○]ボタンを押して決定します。

4
[表示]
メディアの選択
➡MO
カード
▼ ●:決定

見たい写真の入ったメディアを選択します。
MO ディスクかメモリカードのいずれかを[△][▽]ボタンで選択してください。

5 選択できたら、[○]ボタンを押して決定します。

6
MO 1/2
➡❏MODATA
❏USERDATA
Folder
●:決定

フォルダが表示されます。
[△][▽]ボタンで MODATA を選択してください。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

7
MO❏MODATA 1/2
➡❏030601
❏030602
Folder
●:決定

さらにフォルダが表示されますので、表示したい写真の入ったフォルダを[△][▽]ボタンで選択してください。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

参考 MO ディスクの場合は 13 階層下まで、メモリカードの場合は 10 階層下までのフォルダを選択することができます。
詳しくは、【ファイルの階層について】（93 ページ）をご覧ください。

8
MO❏030601 1/2
➡❏030601.001
❏030601.002
Folder
●:決定

表示したいフォルダが表示されるまで選択を続けます。
表示したい写真の入ったフォルダを[△][▽]ボタンで選択してください。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

9

選択されたフォルダにある写真ファイルが表示されます。

ここでは、見たい写真ファイルを一つ選択できます。

または、写真一覧で簡易画像（Exif）を見ながら見たい写真を選択できます。

① 見たい写真ファイルを一つ選択する場合

[△][▽]ボタンでファイルを選択し、[○]ボタンを押して決定します。

（31 ページの「写真一枚表示」をご参照ください。）

② 写真一覧を表示する場合

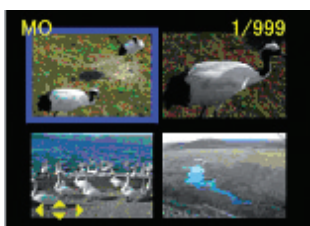
[▷]ボタンを押すと、写真一覧を表示できます。

（30 ページの「写真一覧について」をご参照ください。）

簡易画像がない場合、「サムネイルがありません」と表示されます。
未サポートファイルの場合は、「Not Support」と表示されます。

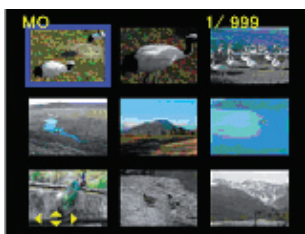
写真一覧について

写真一覧には以下の選択方法があります。

1

液晶パネルで表示する場合は、4 分割表示されます。

[△][▽][◁][▷]ボタンで写真を選択し、[○]ボタンを押すと選択された写真が全画面表示されます。

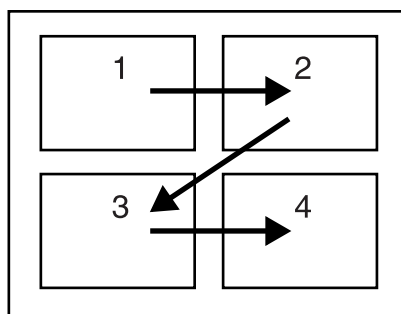
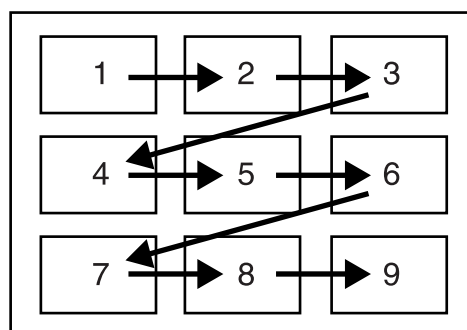
表示後の操作は、「写真一枚表示」を参照してください。

2

ビデオ出力の場合は、9 分割表示されます。

- フォルダが表示された場合、フォルダを選択することはできません。
- 簡易画像がない場合は「サムネイルがありません」と表示されます。未サポートファイルの場合は「Not Support」と表示され、選択することもできません。

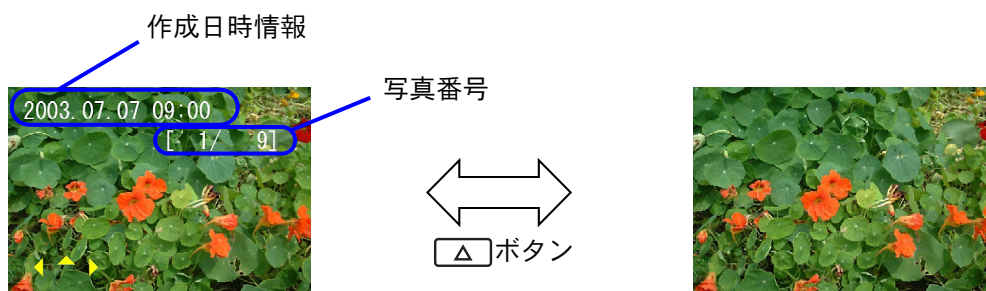
◆ 写真一覧における表示順序

写真一覧における表示順序は以下のようになります。（最初に選択した写真から順に）

［4 枚表示 : 画像表示順序］

［9 枚表示 : 画像表示順序］

写真一枚表示

選択画面で表示したい写真を選択し[○]ボタンを押すと、選択された写真が画面に表示されます。

◆ 写真の作成日時情報の表示について

[△]ボタンを押すと作成日時情報と写真番号が消え、もう一度[△]ボタンを押すと再表示します。

リモコンでも操作できます

リモコンの(▲)ボタンでも同様の操作ができます。

また、リモコンの( )ボタンを押すと、この画面の切り替えと、写真操作のメニューを切り替えることができます。

◆ 次の写真を表示する / 前の写真を表示する

写真が表示されている画面で[▷]ボタンを押すと、次の写真を表示します。
[◁]ボタンを押すと、前の写真を表示します。
[◁][▷]ボタンのいずれかを押し続けた場合、押した直後に一度だけ前の画像あるいは次の画像を表示し、それ以降は写真番号のみが更新されます。
ボタンから手を離すと、写真番号の更新が停止し、対応する写真が表示されます。

スライドショー

複数の写真を連続的に自動表示することができます。

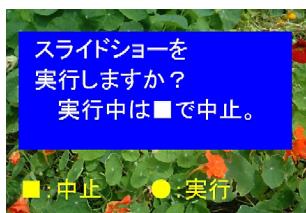
1

写真1枚表示をしている状態で[○]ボタンを押すと、表示メニュー画面が表示されます。

リモコンでも操作できます

リモコンの( )ボタンを押すと、このメニュー画面を表示することができます。

[△][▽]ボタンでスライドショーを選択してください。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

スライドショーを開始する場合は、[○]ボタンを押して実行します。

中止する場合は[□]ボタンを押してください。

リモコンでも操作できます

表示メニュー以外の画面で、リモコンの(メニュー)ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。

このとき、リモコンの(メニュー)ボタンは決定ボタンとして機能しますので、(▲)(▼)ボタンを操作してご希望のフォルダを選択してください。フォルダが選択された状態で再び(メニュー)ボタンを押すと、スライドショーが開始されます。

◆ スライドショー間隔について

スライドショーの間隔は 3 段階に設定できます。詳しくは、40 ～ 41 ページをご覧ください。

回転

表示されている写真を 90 度回転することができます。

1

写真 1 枚表示をしている状態で、[○]ボタンを押すと、表示メニュー画面が表示されます。

[△][▽]ボタンで回転を選択してください。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

[◁][▷]ボタンで回転方向を選択してください。

[◁]ボタンを押すと、左へ 90 度回転した写真が表示されます。

[▷]ボタンを押すと、右へ 90 度回転した写真が表示されます。

[◁]ボタンを押した場合
リモコンで(↺)ボタンを押した場合。

表示写真が左へ 90 度回転

[▷]ボタンを押した場合
リモコンで(↻)ボタンを押した場合。

表示写真が右へ 90 度回転

[□]、(■)ボタンを押すと表示メニュー画面に戻ります。

ズーム

選択されている画像を拡大して表示することができます。

1

写真 1 枚表示をしている状態で、[○]ボタンを押すと、表示メニュー画面が表示されます。

[△][▽]ボタンでズームを選択してください。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

[○]ボタンを押してズーム倍率を変更します。

リモコンでも操作できます

表示メニュー以外の画面で、リモコンの(⊕)ボタンを押すと、メインメニューが表示されます。

このとき、リモコンの(⊕)ボタンは決定ボタンとして機能しますので、(▲)(▼)ボタンを操作してご希望の写真ファイルを選択してください。写真ファイルが選択された状態で再び(⊕)ボタンを押すと、写真がズーム（拡大）されます。

◆ 倍率について

[○]ボタンを押すたびに画像を拡大表示します。画面右上の［ ］内は倍率を示しています。
倍率は、最大 6 倍です。
最大倍率に到達した後、[○]ボタンが押されたら、「ピッピッ」と警告音を鳴らしてお知らせします。

◆ スクロールについて

拡大表示中に[△][▽][◁][▷]ボタンを押すと、上下左右に写真をスクロールして表示することができます。
拡大することで画面からはみ出してしまった部分を見たい場合などに使用してください。

お気に入り保存

選択されている写真を MO ディスクのお気に入りフォルダ（¥MODATA¥FAVORITE¥FAVOR.001）へ保存します。
たくさんの写真の中から、気に入ったものだけを選択して保存しておきたい場合などに便利な機能です。

1

写真 1 枚表示をしている状態で［○］ボタンを押すと、表示メニュー画面が表示されます。

［△］［▽］ボタンでお気に入り保存を選択してください。

選択できたら［○］ボタンを押して決定します。

2

「お気に入りへ保存しますか？」と表示されたら、実行する場合は［○］ボタンを押してください。

保存を中止する場合は［□］ボタンを押してください。

3

保存を実行するとコピーが始まります。

4

保存終了です。

［○］ボタンを押してください。表示メニュー画面に戻ります。

リモコンでも操作できます

写真が表示されている状態でリモコンの★ボタンを押せば、その写真を MO ディスクのお気に入りフォルダに保存できます。それ以外のとき、リモコンの★ボタンは決定ボタンとして機能しますので、★ボタンを操作してご希望の写真ファイルを選択してください。写真ファイルが選択された状態で再び★ボタンを押すと、MO ディスクのお気に入りフォルダに保存できます。

上の手順 2 ～ 4 を参考にして、画面のメッセージにしたがって操作してください。

削除

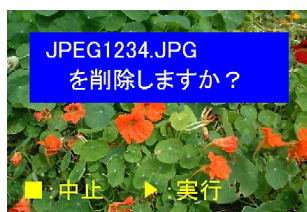
選択されている写真をメディアから削除します。

1

写真１枚表示をしている状態で［○］ボタンを押すと、表示メニュー画面が表示されます。

［△］［▽］ボタンで削除を選択してください。

選択できたら［○］ボタンを押して決定します。

2

現在表示されている写真を削除します。

実行する場合は［▷］ボタンを押してください。

中止する場合は［□］ボタンを押してください。

3

処理が完了しました。

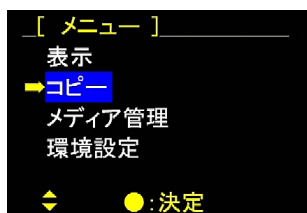
終了する場合は［○］ボタンを押してください。

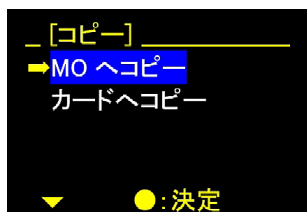
次に表示する画像がある場合は、最初の「1 枚表示」に戻り、次の画像を表示します。

次に表示する画像がない場合は、「ファイルがありません」とエラー表示されます。

コピー

MO へコピー

1

メニュー画面で［△］［▽］ボタンを押して「コピー」を選択します。

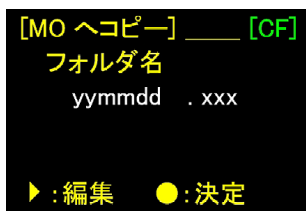
2

写真のコピー先を選択します。

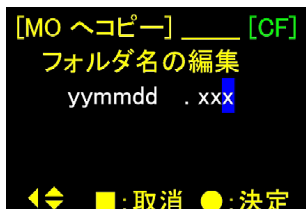
［△］［▽］ボタンを押して選択します。

MO へコピー　：メモリカードから MO ディスクへコピーを行います。

カードへコピー：MO ディスクからメモリカードへコピーを行います。

選択ができたら［○］ボタンを押して決定します。

3

MOへコピーを選択した場合、コピー先のフォルダ名が表示されます。

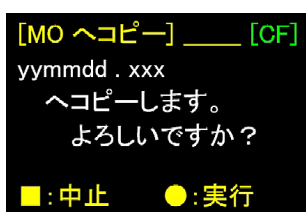
フォルダ名に変更がなければ[○]ボタンを押して決定します。

フォルダ名を変更する場合は、[▷]ボタンを押します。フォルダ名を編集できる状態になります。

[△][▽][◁][▷]ボタンを押してフォルダ名を編集してください。

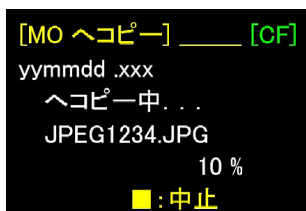
編集終了後は[○]ボタンを押して決定してください。

中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

フォルダ名を編集するには、環境設定で編集を可能にしてください。(40 ページ)

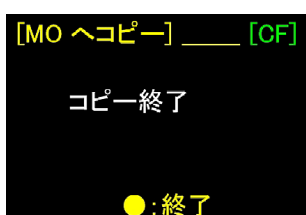
4

コピーを実行します。

実行する場合は、[○]ボタンを押してください。

中止する場合は[□]ボタンを押してください。

コピーが開始されます。

途中で中止したい場合は、[□]ボタンを押してください。

コピー中に中止されたファイルの直前までのファイルはコピーされていますが、コピー中のファイルと、それ以降のファイルはコピーされません。

5

コピー終了

コピーが終了しました。

[○]ボタンを押してください。

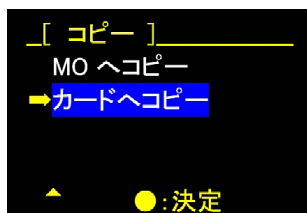
◆ カード種類の識別について

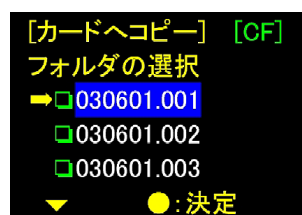
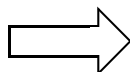
画面右上の［ ］内には、カード種類が表示されます。
カードが有効な場合は、[CF]、[SM]、[SD]、[MS] のいずれかが表示されます。
コンパクトフラッシュ挿入口にコンパクトフラッシュ以外のカード（マイクロドライブや CF アダプタを使用した他のカード）を挿入した場合は、CF と表示されます。また、メモリカード挿入口にマルチメディアカードを挿入した場合は、SD と表示されます。
無効なカードの場合は、[----] と表示されます。

カードへコピー

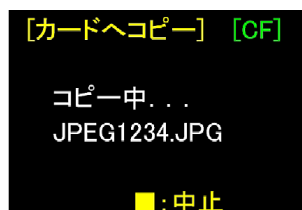
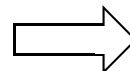
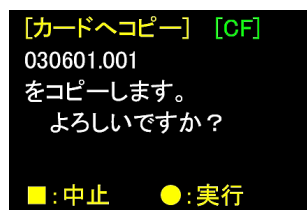
1

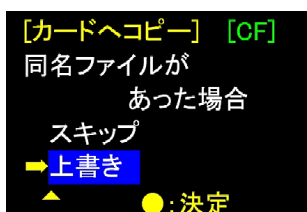
_[コピー]_______
MO へコピー
➡カードへコピー
▲ ●：決定

カードへコピーを選択した場合

2 コピーしたいフォルダを選択します。

[△][▽]ボタンを押して選択し、[〇]ボタンを押して決定します。

3 フォルダを選択したらコピーを実行します。

[〇]ボタンを押すと、コピーが開始されます。コピーが終了したら、再び[〇]ボタンを押してください。

中止する場合は[□]ボタンを押してください。

◆ カードにすでに同名ファイルが存在している場合

カードにあるファイルを残しておきたい場合は、スキップを選択して[〇]ボタンを押してください。
カードにあるファイルが MO ディスクのファイルで上書きされてよい場合は、上書きを選択して[〇]ボタンを押してください。

上書きを選択した場合でも、読み取り専用ファイルはスキップされ、上書きされません。

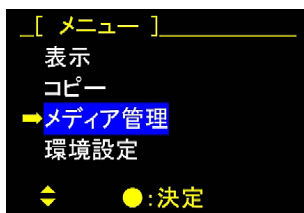
その他の操作

メディア管理

◆ メディア情報

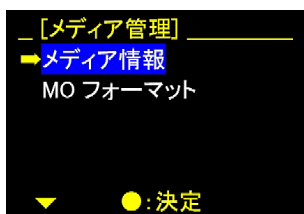
MO ディスクやメモリカードの使用状況と空き領域を確認することができます。

1

[メニュー]
表示
コピー
➡メディア管理
環境設定
●:決定

メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「メディア管理」を選択します。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

[メディア管理]
➡メディア情報
MO フォーマット
●:決定

[△][▽]ボタンを押して「メディア情報」を選択し、[○]ボタンを押して決定します。

3

[メディア情報]
使用領域 / 空き領域
MO : 100 / 503 MB
CF : 256 / 256 MB
●:終了

メディア情報が表示されます。

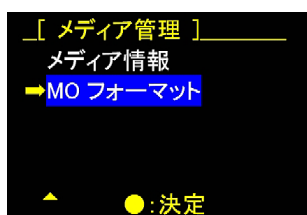
左の例では、MO ディスク上にファイルが 100MB 存在しており、503MB の空き領域があることを示しています。
また、CF カードについては、256MB 使用しており、256MB の空き領域があることを示しています。

確認ができたら[○]ボタンを押して終了します。

◆ MO フォーマット

MO ディスクをフォーマットします。
FAT16 形式にフォーマットされます。

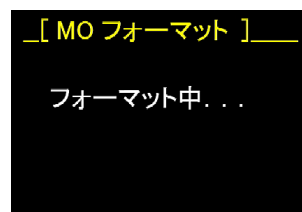
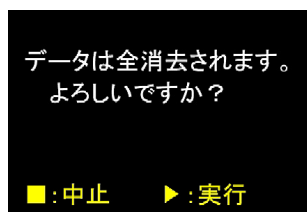
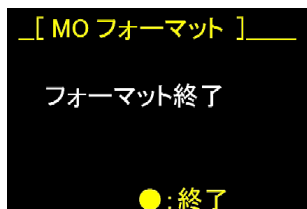
1

_[メディア管理]______
メディア情報
➡MO フォーマット
▲ ●:決定

[△][▽]ボタンを押して「MO フォーマット」を選択し、[○]ボタンを押して決定します。
確認画面が表示されます。

2 フォーマットを実行する場合は[▷]ボタンを押してください。
中止したい場合は[□]ボタンを押してください。
[▷]ボタンが押されるとフォーマットが開始されます。

フォーマットを実行すると元のデータはすべて削除されます。必要なデータはあらかじめバックアップを取るなどしてください。

3

_[MO フォーマット]____
フォーマット終了
●:終了

フォーマット終了
フォーマットが終了したら[○]ボタンを押して終了します。

◆ メモリカードの初期化について

本装置を使って、メモリカードを初期化することはできません。メモリカードの初期化は、お使いのデジタルカメラで行ってください。

環境設定

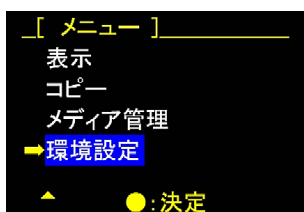
環境設定ではつぎのことができます。

- フォルダ名を編集可能にする
- スライドショー間隔を変更する
- JPEG 以外のファイル名も表示する
- ファイルの並び順を設定する
- メモリカードを書き込み禁止にする
- 日時設定を行う
- 液晶濃度を変更する
- ビデオの出力方式を選択する
- 操作音の設定
- 言語設定を行う
- 製品情報を見る

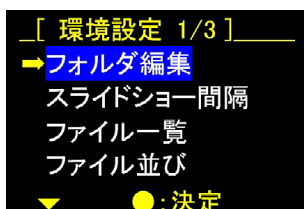
◆ フォルダ名を編集可能にする

コピーを行うときにコピー先のフォルダ名を変更できるように設定することができます。
ただし、英数字と記号のみ使用できます。ひらがなやカタカナ、漢字は使用できません。

1

[メニュー]
表示
コピー
メディア管理
➡環境設定
●:決定

メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「環境設定」を選択します。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

[環境設定 1/3]
➡フォルダ編集
スライドショー間隔
ファイル一覧
ファイル並び
●:決定

[△][▽]ボタンを押して「フォルダ編集」を選択します。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

3

[フォルダ編集]
ON
➡OFF
●:決定

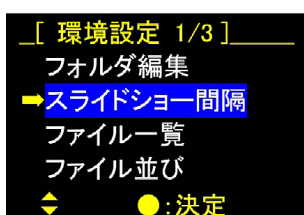
[△][▽]ボタンを押して「ON」「OFF」を選択します。

ON ：フォルダ名を編集することが可能になります。
OFF：フォルダ名を編集することができなくなります（フォルダ名は自動的につけられます）。

初期設定は OFF に設定されています。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。
中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

◆ スライドショー間隔を変更する

1

[環境設定 1/3]
フォルダ編集
➡スライドショー間隔
ファイル一覧
ファイル並び
●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「スライドショー間隔」を選択します。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[スライドショー間隔]__
短
➡中
長
◆ ●:決定

スライドショー間隔を設定します。

間隔時間を[△][▽]ボタンで選択してください。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

参考

スライドショー間隔時間について

「スライドショー間隔」で選択できる時間はおおよそ下記のとおりです。
お好みの間隔を設定してください。

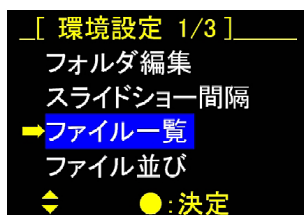
※ 画像サイズによっては、処理時間に若干の相違が生じる場合がありますのでご了承ください。
300 万画素のデジタルカメラで標準的に撮影された写真データの場合、おおよそ次のとおりです。
短：約 5 秒
中：約 7 秒
長：約 10 秒

◆ JPEG 以外のファイル名も表示する

ファイルを一覧表示する際に、JPEG ファイル（デジタルカメラなどで撮影された写真ファイル）以外のファイル名も表示することができます。

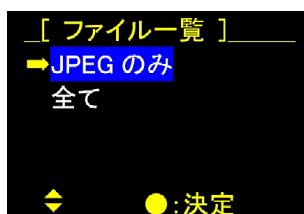
※ただし、本装置では JPEG ファイルでない写真を表示することはできません。

1

_[環境設定 1/3]____
フォルダ編集
スライドショー間隔
➡ファイル一覧
ファイル並び
◆ ●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「ファイル一覧」を選択します。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[ファイル一覧]____
➡JPEG のみ
全て
◆ ●:決定

[△][▽]ボタンを押して表示するファイルの種類を選択します。

JPEG のみ：拡張子（*.JPEG）（デジタルカメラで撮影した写真など）のみを表示したい場合

全て：すべてのファイル名を表示したい場合

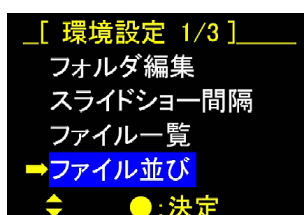
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

◆ ファイルの並び順を設定する

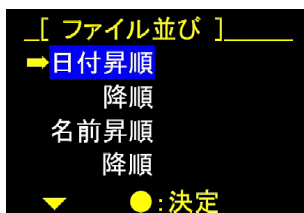
ファイルを一覧表示する際に、ファイル名の並び順を設定することができます。

1

_[環境設定 1/3]____
フォルダ編集
スライドショー間隔
ファイル一覧
➡ファイル並び
◆ ●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「ファイル並び」を選択します。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[ファイル並び]___
➡日付昇順
降順
名前昇順
降順
▼ ●:決定

[△][▽]ボタンを押して並び順を選択します。

次の 4 種類の並び順を設定できます。

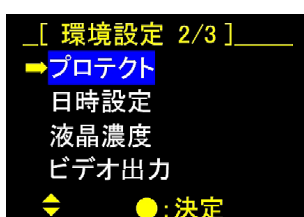
日付昇順：日付の古い順で表示されます。
日付降順：日付の新しい順で表示されます。
名前昇順：アルファベット順で A, B, C, …の順で表示されます。
名前降順：アルファベット順で Z, Y, X, …の順で表示されます。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。
中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

◆ メモリカードを書き込み禁止にする

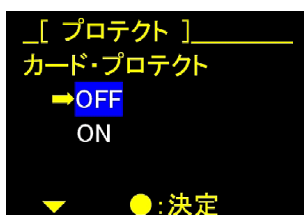
本装置でメモリカードへの書き込み禁止を設定することができます。誤ってメモリカードの内容を消してしまう心配がある場合などに、あらかじめ設定しておくことができます。

1

_[環境設定 2/3]___
➡プロテクト
日時設定
液晶濃度
ビデオ出力
◆ ●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「プロテクト」を選択します。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[プロテクト]___
カード･プロテクト
➡OFF
ON
▼ ●:決定

[△][▽]ボタンを押してカードプロテクトの「ON」、「OFF」を選択します。

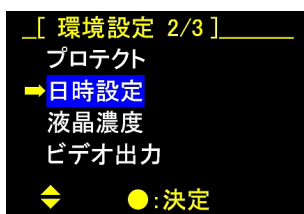
ON ：すべてのメモリカードに対して書き込み禁止となります。
OFF：メモリカードへの書き込みができるようになります。ただし、メモリカードが書き込み禁止状態になっている場合は書き込みができません。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。
中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

参考　カードプロテクトは単体（スタンドアロン）モード時のみ有効です。

◆ 日時設定を行う

1

_[環境設定 2/3]___
プロテクト
➡日時設定
液晶濃度
ビデオ出力
◆ ●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「日時設定」を選択します。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[日時設定]___
2004 / 1 / 1
0 : 00
◀◆▶ ●:決定

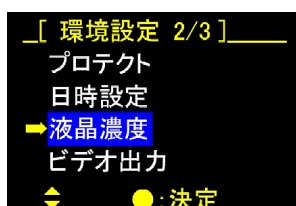
[△][▽][◁][▷]ボタンを押して年月日と時刻を設定してください。

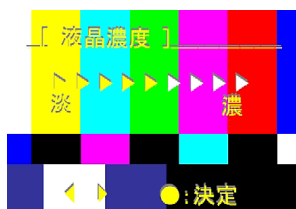
操作方法は、日時設定を行う（27 ページ）をご覧ください。
設定が終わったら[○]ボタンを押して決定します。
中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

◆ 液晶濃度を変更する

液晶パネルの濃度を変更することができます。
ただし、テレビに接続している状態では変更できません。

1

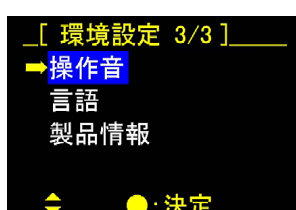
_[環境設定 2/3]____
プロテクト
日時設定
➡液晶濃度
ビデオ出力
⇕ ●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「液晶濃度」を選択します。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[液晶濃度]____
淡 濃
◁ ▷ ●:決定

液晶濃度を設定する画面になります。
[◁][▷]ボタンを押して濃度を調整します。
調整が終わったら[○]ボタンを押して決定します。
中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

◆ 操作音の設定

1

_[環境設定 3/3]____
➡操作音
言語
製品情報
⇕ ●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「操作音」を選択します。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[操作音]________
➡ON
OFF
▼ ●:決定

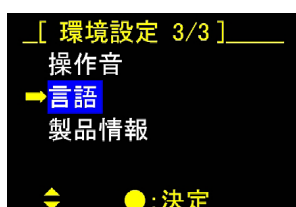
[△][▽]ボタンを押して「ON」、「OFF」を選択します。
ON ：操作中に操作音を出します。
OFF：操作中に操作音を出しません。

設定が終わったら[○]ボタンを押して決定します。
中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

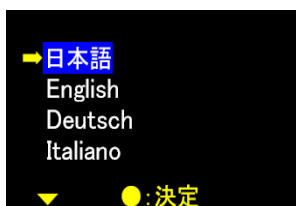
◆ 言語設定を行う

本装置をお使いの際に表示される言語を選択します。

1

_[環境設定 3/3]____
操作音
➡言語
製品情報
⇕ ●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「言語」を選択します。
選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

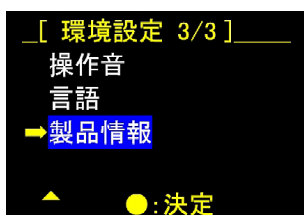
➡日本語
English
Deutsch
Italiano
▼ ●:決定

[△][▽]ボタンを押して日本語を選択します。
設定が終わったら[○]ボタンを押して決定します。
中止したい場合は[□]ボタンを押してください。

本装置では、日本語以外の表示言語は製品サポートの対象外とさせていただきます。

◆ 製品情報を見る

本装置の製品情報を確認することができます。

1

_[環境設定 3/3]____
操作音
言語
➡製品情報
▲　●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「製品情報」を選択します。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[製品情報]________
No.　　:0000 0000 0000
MO Rev.　:1000
F/W Ver. :1.xx.yy
●:終了

製品情報が表示されます。

表示内容は以下のとおりです。

- **No.**　　: USB のシリアル番号
- **MO Rev.**: MO ドライブユニットのプログラム版数
- **F/W Ver.**: 本装置のプログラム版数

[○]ボタンを押すと終了します。

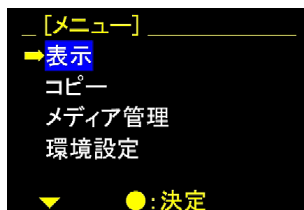
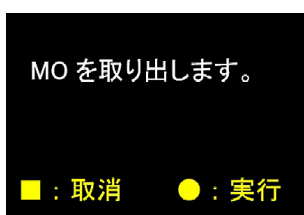
◆ MO を取り出す

1 **MO ディスクが本装置に入っているとき、次に示す「メニュー画面」と「待ち受け画面」において、[▷]ボタンを押すと MO ディスクを本装置から排出することができます。**

メニュー画面

待ち受け画面

2

MO を取り出します。
■ : 取消　● : 実行

左の画面で[○]ボタンを押すと MO ディスクを取り出すことができます。

[□]ボタンを押すと、上記の画面に戻ります。

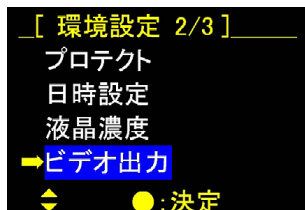
テレビで見る

メモリカードや MO ディスクに保存されている写真をテレビに表示してお楽しみいただけます。

◆ ビデオ出力の設定

ビデオ出力の設定を行う場合は、テレビなどの映像入力端子と接続する前に、本装置の液晶パネルを使用して行ってください。

1

_[環境設定 2/3]___
プロテクト
日時設定
液晶濃度
➡ビデオ出力
●:決定

環境設定メニュー画面で[△][▽]ボタンを押して「ビデオ出力」を選択します。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

2

_[ビデオ出力]___
➡NTSC
PAL
●:決定

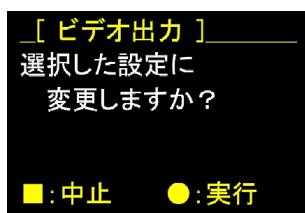
映像信号方式を[△][▽]ボタンを押して選択します。

お手持ちのテレビの規格に合わせてください。

日本国内のテレビ受像方式は「NTSC」です。

選択できたら[○]ボタンを押して決定します。

3

_[ビデオ出力]___
選択した設定に
変更しますか?
■:中止 ●:実行

ここでテレビに接続してください。

付属のビデオケーブルで本装置とテレビを接続します。

本装置とテレビの接続については【テレビに接続する】(46 ページ)を参照してください。

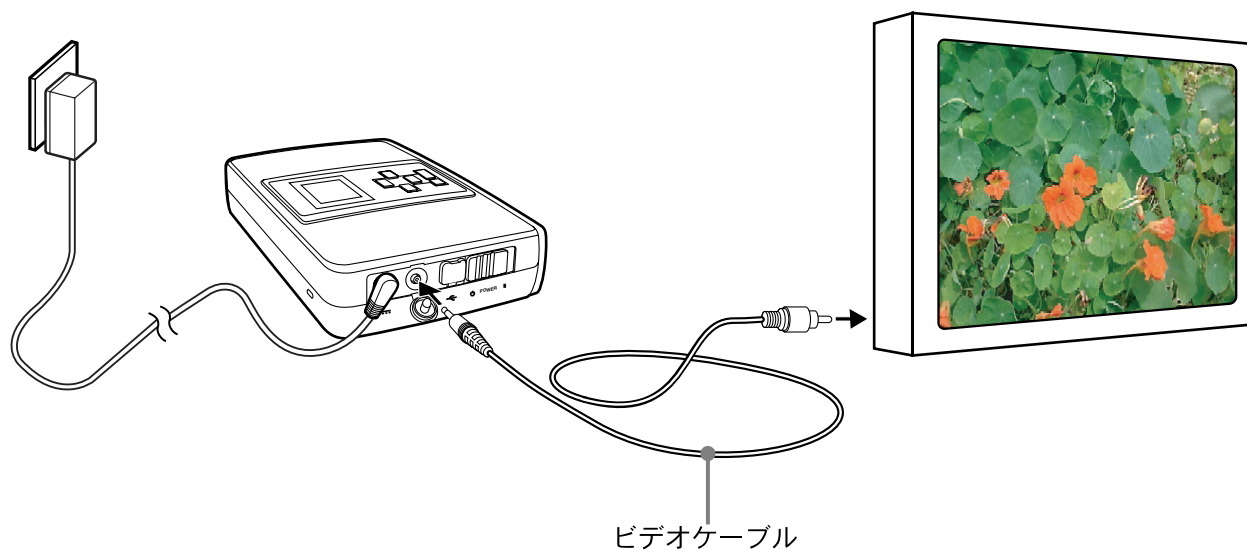
テレビにちらつきなく表示されましたか?

表示にちらつきがある場合は一旦ケーブルを抜き、手順 2 で選択した映像信号方式を変更してから再度テレビに接続して確認してください。

◆ テレビに接続する

付属のビデオケーブルで本装置とテレビの映像入力端子を接続します。ビデオデッキなどに接続することもできます。

ご利用の機器の取扱説明書をご覧になり、本装置を接続・操作してください。

ビデオケーブル

参考　テレビと接続された状態では本装置の液晶パネルは消灯します。

◆ テレビで写真を表示する

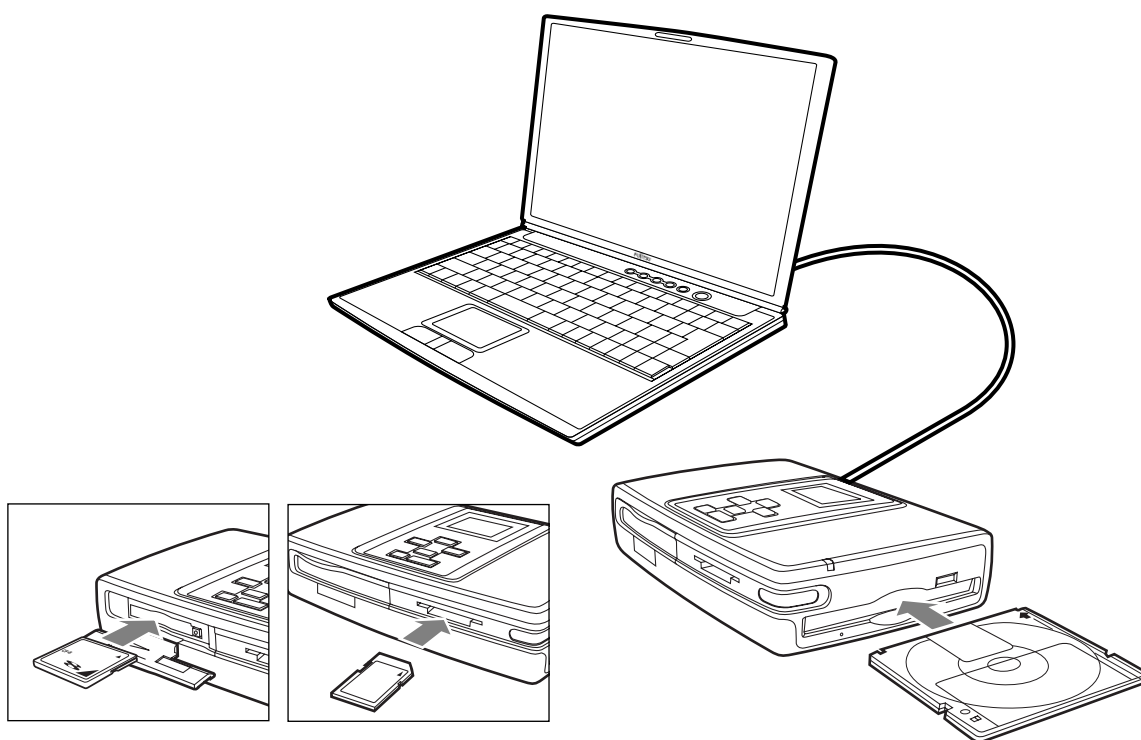
テレビに接続された状態でも、液晶パネルで表示する場合と同じ操作で写真を表示することができます。

操作方法は、「写真を見る」（29 ページ）をご覧ください。

なお、テレビに本装置を接続した状態ではリモコンをお使いになられると便利です。

リモコンの機能については、「リモコンの機能」（16 ページ）をご覧ください。

第 3 章　パソコンで使う

Windows パソコンで使う

インストール

本装置を Windows パソコンでご使用いただくために、あらかじめ Windows にソフトウェアを組み込む必要があります。添付されている CD-ROM からユーティリティとイジェクトツールをインストールします。
ご使用のパソコンによって、インストールの手順は異なります。
Windows XP ／ Windows 2000 搭載のパソコンをご使用の場合は 49 ページを、Windows Me ／ Windows 98（SE を含む）搭載のパソコンをご使用の場合は 53 ページを参照して、インストールを行います。

ここでは、まだ本装置を接続しないでください
必ずソフトウェアをインストールしてから、本装置をパソコンに接続してください。

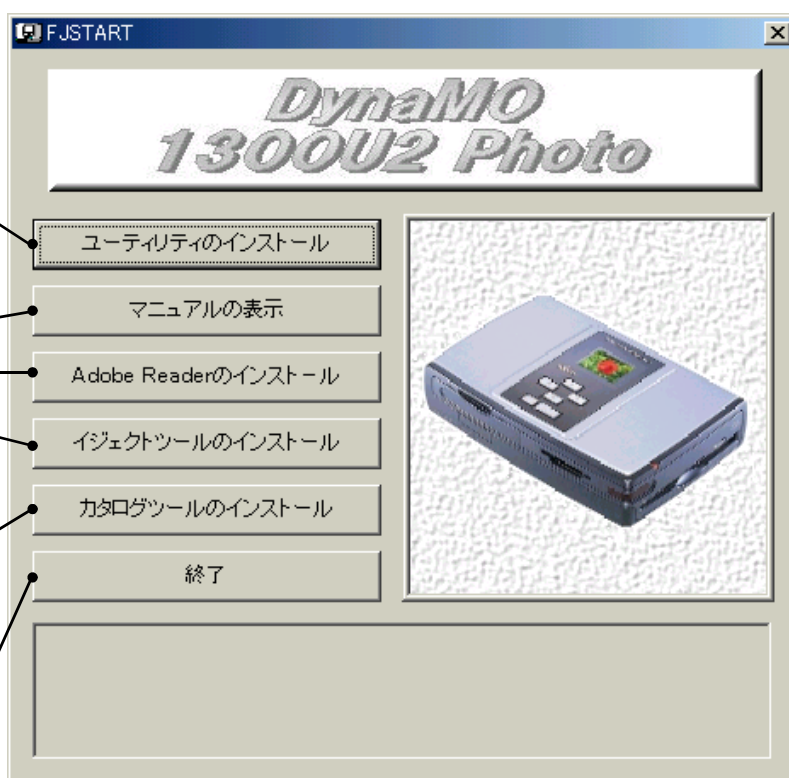
Windows XP/2000 をご使用の場合
本装置用のソフトウェアをインストールするときは、Windows XP ではコンピュータの管理者のアカウントで、Windows 2000 の場合は Administrators 権限でログオンして行ってください。

CD メニュー表示

「セットアップソフト」を CD-ROM ドライブに挿入します。

⇒自動的に CD メニューが表示されます。

参考

CD メニューが表示されない場合は
CD-ROM を開いて、［FJSTART.EXE］をダブルクリックしてください。

ソフトウェアのインストール

本装置をパソコンと接続して使用するために、「ユーティリティ」と「MO イジェクトツール」をインストールします。
次の手順を行ってください。

◆ Windows XP ／ 2000 の場合

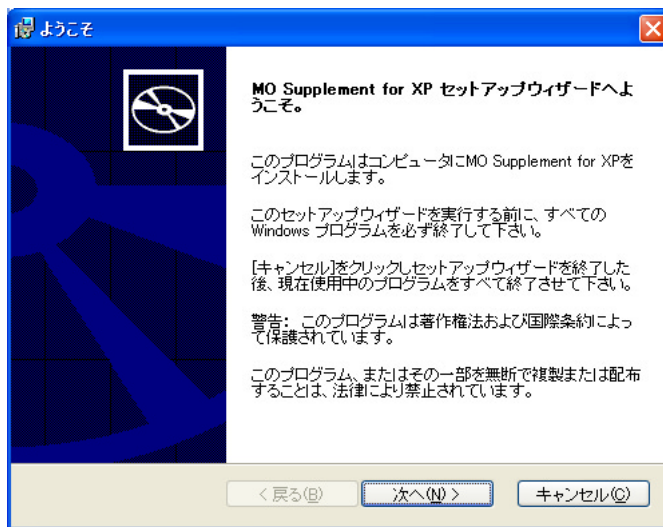
ここでは、Windows XP にインストールする方法について説明します。Windows 2000 でも同じ要領でインストールできます。

参考

Windows XP ／ Windows 2000 搭載のパソコンには
・MO Supplement（MO ディスクの補助ユーティリティ）
・カードイジェクトツール（メモリカード用ユーティリティ）
・MO イジェクトツール（MO ディスク用ユーティリティ）
をインストールします。

1 ［ユーティリティのインストール］ボタンをクリックします。

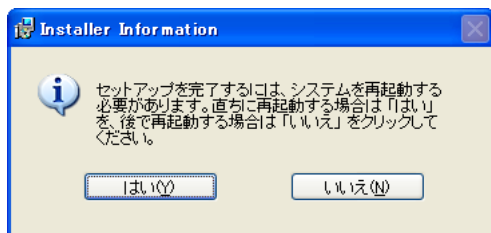
「MO Supplement」と「カードイジェクトツール」をインストールします。

2 「MO Supplement」のインストール画面が表示されます。

［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［インストール］ボタンをクリックします。

4 ［完了］ボタンをクリックします。

5 続いて「カードイジェクトツール」をインストールします。

再起動を選択する画面が表示されますが、［いいえ］ボタンをクリックしてください。

ここでは必ず［いいえ］ボタンをクリックしてください
再起動した場合、「カードイジェクトツール」をインストールすることができません。【インストール手順を間違った場合】（55 ページ）を参照して、インストールをやり直してください。

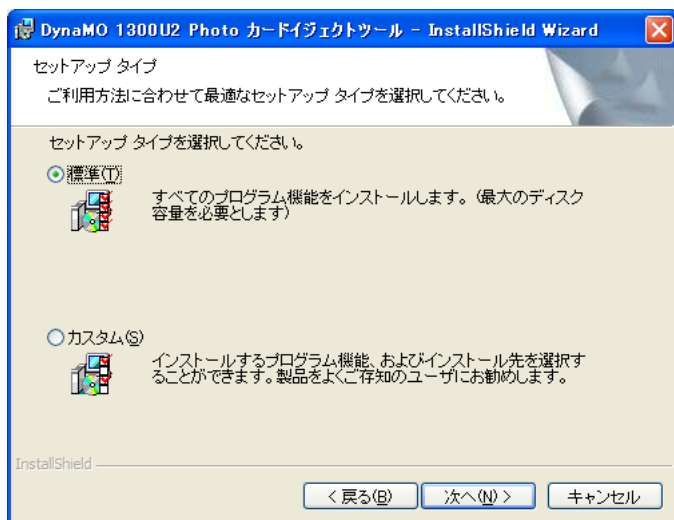
6 「カードイジェクトツール」のインストール画面が表示されます。

［次へ］ボタンをクリックします。

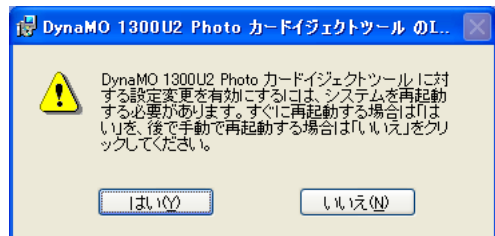
7 インストール先を指定する画面が表示されます。

通常インストール先を変更する必要はありません。［次へ］ボタンをクリックします。

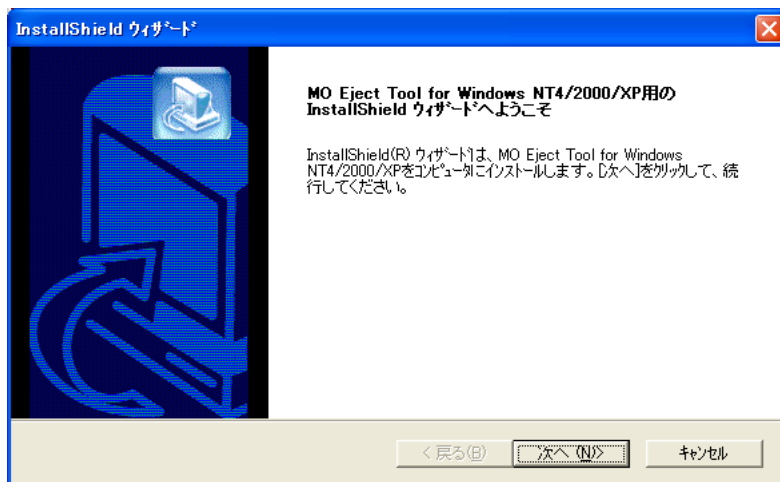
8 **インストール方法を選択する画面が表示されます。**

「標準」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。

9 **[インストール]ボタンをクリックします。**

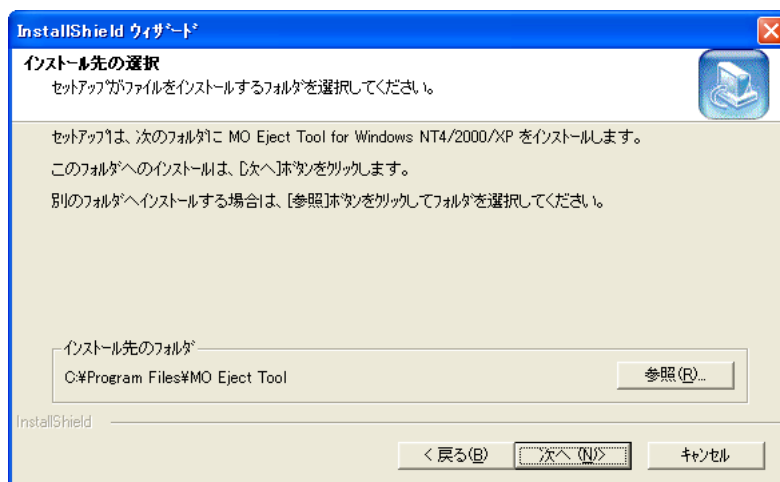
10 **[完了]ボタンをクリックします。**

11 **[はい]ボタンをクリックしてください。パソコンが再起動されます。**

12 **本装置をパソコンに接続し、正しく認識されていることを確認してください。(56、57 ページ参照)**

13 **次に「MO イジェクトツール」をインストールします。【CD メニュー表示】(48 ページ)を参照して、CD メニューの[イジェクトツールのインストール]ボタンをクリックします。**

14「MO イジェクトツール」のインストール画面が表示されます。

［次へ］ボタンをクリックします。

15 インストール先を指定する画面が表示されます。

通常インストール先を変更する必要はありません。［次へ］ボタンをクリックします。

16［完了］ボタンをクリックします。

⇒以上でインストールは完了です。

◆ Windows Me ／ 98（SE を含む）の場合

ここでは、Windows Me にインストールする方法について説明します。Windows 98 でも同じ要領でインストールできます。

参考

Windows Me ／ 98 搭載のパソコンには
・デバイスドライバ（MO ディスクを使用するためのソフトウェア）
・カードイジェクトツール（メモリカード用ユーティリティ）
・MO イジェクトツール（MO ディスク用ユーティリティ）
をインストールします。

1 ［ユーティリティのインストール］ボタンをクリックします。

「デバイスドライバ」と「カードイジェクトツール」をインストールします。

2 「デバイスドライバ」のインストール画面が表示されます。

［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［インストール］ボタンをクリックします。

4 ［完了］ボタンをクリックします。

5 ［はい］ボタンをクリックしてください。パソコンが再起動されます。

6 本装置をパソコンに接続し、正しく認識されていることを確認してください。（56、57 ページ参照）

参考

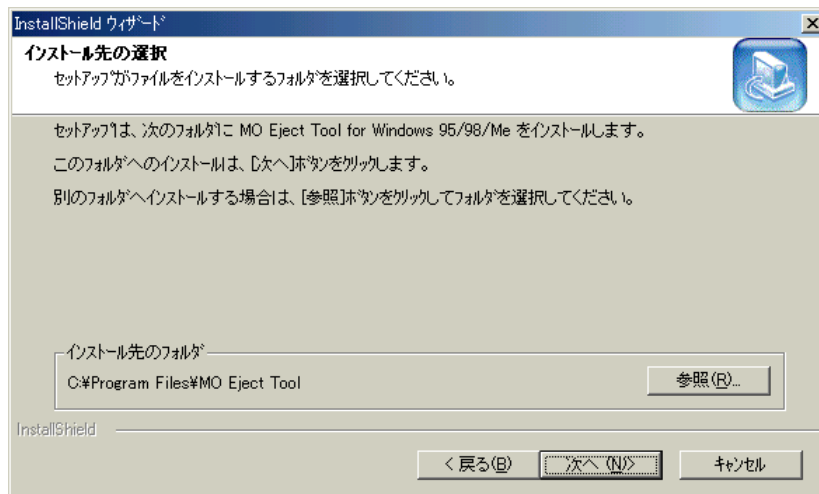
「カードイジェクトツール」のインストール
「カードイジェクトツール」は、「デバイスドライバ」と一括して、自動的にインストールされます。

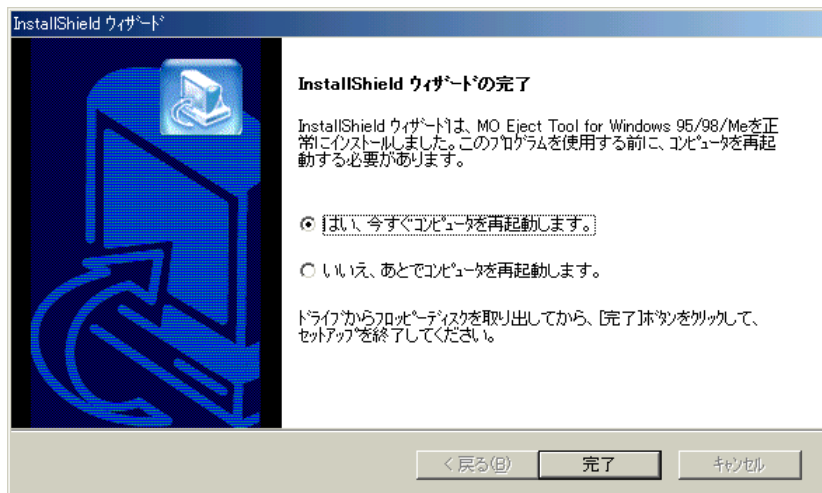
7 **次に「MO イジェクトツール」をインストールします。【CD メニュー表示】（48 ページ）を参照して、CD メニューの［イジェクトツールのインストール］ボタンをクリックします。**

8 **「MO イジェクトツール」のインストール画面が表示されます。**

［次へ］ボタンをクリックします。

9 **インストール先を指定する画面が表示されます。**

通常インストール先を変更する必要はありません。［次へ］ボタンをクリックします。

10 インストールの終了画面が表示されます。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」をチェックして、［完了］ボタンをクリックします。

パソコンが再起動されます。

⇒以上でインストールは完了です。

◆ インストール手順を間違った場合

1. **本装置をパソコンから取り外します。**
2. **パソコンを再起動させます。**
3. **コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」でインストールしたドライバとツールを削除します。**
4. **パソコンを再起動させます。**
5. **インストール手順の最初からやり直します。**

接続

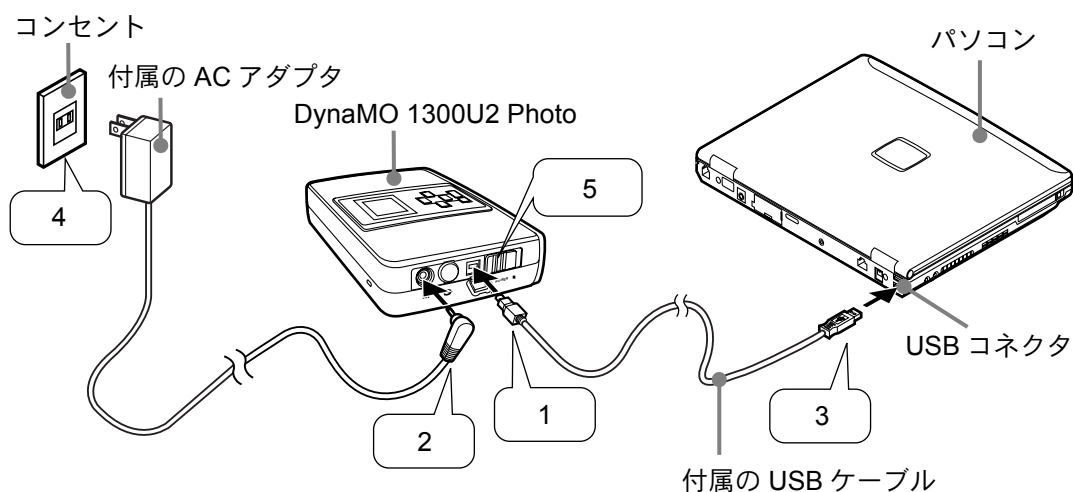
まだメモリカード、MO ディスクを挿入しないでください
取り付けは、メモリカード、MO ディスクを挿入しない状態で行ってください。

1. **本装置左側面の USB コネクタに付属の USB ケーブル（USB コネクタ miniB タイプ側）を接続します。**

2. **本装置左側面の電源コネクタに付属の AC アダプタを接続します。**

3. **USB ケーブルのもう一方（USB コネクタ A タイプ側）をパソコンの USB コネクタに接続します。**

4. **AC アダプタをコンセントに接続します。**

5. **電源をオン にします。**

接続確認

本装置のドライバが正常にインストールされると、「システムのプロパティ」内の［デバイスマネージャ］に次のデバイスが追加されます。

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows XP ／ Windows 2000	USB（Universal Serial Bus）コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	FUJITSU DynaMO Card-Adp USB Device
		FUJITSU MCN3130AP-S USB Device
Windows Me ／ Windows 98（Second Edition を含む）	ユニバーサル　シリアルバス コントローラ	DynaMO 1300U2 Photo Mass Storage Controller
	ディスクドライブ	FUJITSU DynaMO Card-Adp
		FUJITSU MCN3130AP-S

デバイスマネージャの表示方法

ここでは Windows 2000 を例に接続確認について説明します。
Windows 98、Windows Me、Windows XP についても同じ要領で確認することができます。

本装置を USB2.0 インターフェースに接続した場合
USB2.0 インターフェースの取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせの上、USB2.0 インターフェースが正常に動作しているかどうか確認してください。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックします。

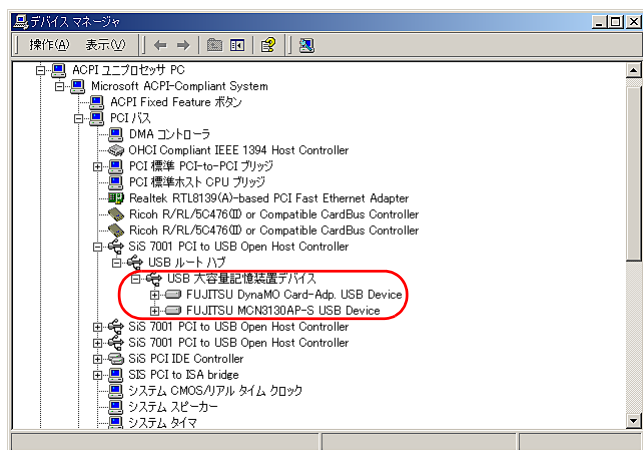
3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

4 ［表示］→［デバイス（接続別）］をクリックします。

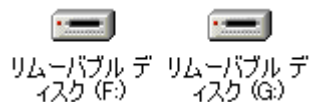
5 本装置のドライバを確認します。

※ 下線部の表示はご使用のパソコンにより異なります。

[ACPI ユニプロセッサ PC]→ [Microsoft ACPI-Compliant System]→ [PCI バス] →
[SiS 7001 PCI to USB Open Host Controller]→
[USB ルートハブ] → [USB 大容量記憶装置デバイス] をダブルクリックし、下に [FUJITSU DynaMO Card-Adp USB Device]、[FUJITSU MCN3130AP-S USB Device] が表示されていることを確認します。

表示があれば正常です。

6 [マイコンピュータ] をダブルクリックし、2 つのドライブアイコンが追加表示されていることを確認します。

MO ディスクドライブ用と、メモリカード用のドライブアイコンが表示されていることを確認します。

参考

マイコンピュータのドライブアイコンについて

本装置は、マイコンピュータ上で 2 つのリムーバブルディスクとして認識されます。
ドライブ番号の若い方が MO ディスクドライブ、もう一方がメモリカードドライブです。
例えば、F: ドライブ、G: ドライブとして認識された場合、F: が MO ディスクドライブで、G: がメモリカードドライブになります。

MO ディスクの使用

本装置で MO ディスクを使う場合の操作について説明します。

操作	
MO ディスクの使い方	☞ 本ページ
本装置の電源をオンにする	☞ 本ページ
本装置の電源をオフにする	☞ 本ページ
MO ディスクの挿入と取り出し	☞ 本ページ
本装置をパソコンから取り外す	☞ 66 ページ
フォーマット	☞ 61 ページ

MO ディスクの使い方

パソコンを起動 / 終了する前に、必ず MO ディスクを取り出してください。

◆ 本装置の電源をオンにする

本装置左側面の電源スイッチを「⏻：電源オン」側に約 1 秒間スライドさせます。

電源を入れるタイミングについて
パソコンの電源や本装置が接続されているかどうかに関係なく、いつでも本装置の電源をオンにできます。

◆ 本装置の電源をオフにする

1 本装置から MO ディスクおよびメモリカードを取り出します。

【MO ディスクを取り出す】（次ページ）
【メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオフの場合）】（63 ページ）
【メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオンの場合）】（64 ページ）をご覧ください。

2 本装置左側面の電源スイッチを「⏻：電源オン」側に約 1 秒間スライドさせます。

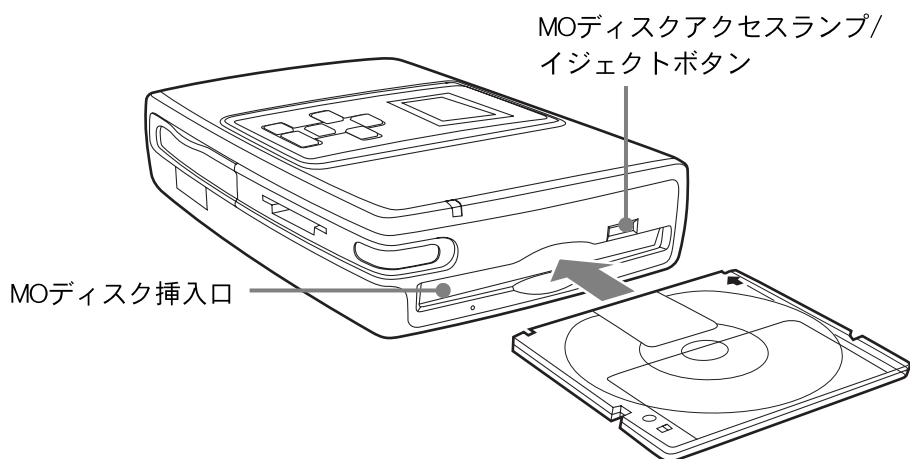
MO ディスクの挿入と取り出し

◆ MO ディスクを挿入する

1 MO ディスクの表側を上にして MO ディスク挿入口に対して水平にカチッと音がするまで入れます。

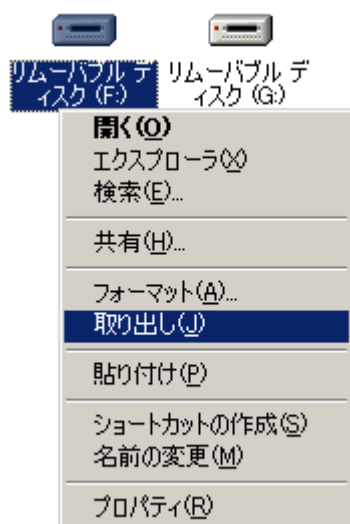
2 MO ディスクアクセスランプが点灯後、消えることを確認します。

◆ MO ディスクを取り出す

参考

MO ディスクイジェクトボタンを押すことによっても MO ディスクは取り出せますが、本装置のライトキャッシュ機能により、パソコン上で書き込みが終了していても、MO ドライブは動作を続けている場合があります。MO ディスクアクセスランプが点灯／点滅中は、ボタンを押しても MO ディスクは排出されません。

1 本装置のアクセスランプが消灯していることを確認します。

2 「マイコンピュータ」を開き、リムーバブルディスクのアイコンを右クリックしてください。

3 メニューの中から［取り出し］を選択してください。MO ディスクが排出されます。

MO ディスクを取り出せない

【MO ディスクを取り出せない】（88 ページ）をご覧ください。

MO ディスクのフォーマット

新しい MO ディスクを使用するためには、最初にフォーマットを行う必要があります。
（フォーマット済みと記載されているものはそのままお使いいただけます。）
本装置で MO ディスクをフォーマットする方法について Windows 2000 を例に説明します。
Windows 98、Windows Me、Windows XP についても同じ要領でフォーマットすることができます。
下記の手順でフォーマット作業を行ってください。

注意

MO ディスクをフォーマットするには、ここで説明する手順でフォーマットを行ってください

Windows XP Home Edition の場合
フォーマットは、コンピュータの管理者のアカウントでログオンしたときのみ可能です。

Windows 2000 の場合

参考

すべてのユーザーで、MO ディスクをフォーマットしたい場合
Administrators 権限でのみフォーマットすることができます。
【権限変更】（103 ページ）をご覧になり、ローカルセキュリティポリシーの設定を
［Administrators と Interactive Users］に変更してください。

1 MO ディスクを本装置に挿入します。

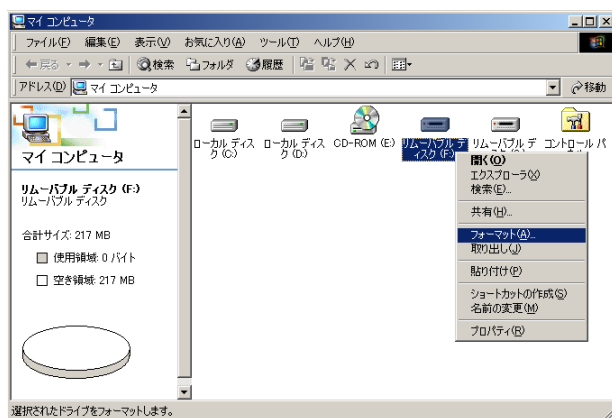
フォーマットしたい MO ディスクを確認し、本装置に挿入します。
アクセスランプが一度点灯して、消えることを確認してください。

2 ［マイコンピュータ］を開きます。

［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

3 「フォーマット」を起動します。

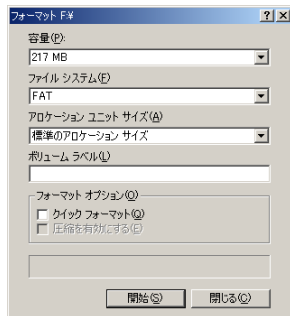
① MO ディスクの［リムーバブルディスク］アイコンを右クリックします。
⇒メニューが表示されます。
② メニュー内の［フォーマット］をクリックします。

注意

クイックフォーマット（通常のフォーマットより早く終わります）
一度フォーマットしたことのある MO ディスクに行えます。MO ディスクが損傷している可能性がある場合は、この種類ではフォーマットを行わないでください。

通常のフォーマット
購入直後の MO ディスクなどをフォーマットするときに使います。

4 フォーマットの設定をします。

①「ファイルシステム」を設定します。
②「開始」ボタンをクリックします。
　⇒フォーマットが開始されます。

参考

［ファイルシステム］の設定
［FAT］　：通常、この方式をお使いください。
［FAT32］：この方式でフォーマットされた MO ディスクは古い Windows 95 などで見ることができません。
［NTFS］：この方式でフォーマットされた MO ディスクは Windows 98SE などで見ることができません。単体（スタンドアロン）モード時は使用できません。

［クイックフォーマット］
これにチェックをつけると、一度フォーマットされている MO ディスクを素早くフォーマットできます。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが開始されます。
フォーマットには、容量に応じた時間がかかります。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

7 ［閉じる］ボタンをクリックします。

以上で、MO ディスクはフォーマットされました。

メモリカードの使用

ここではメモリカードの挿入と取り出しについて説明します。
メモリカードに関するその他のご使用方法などについては、メモリカードの取扱説明書をご覧ください。

メモリカードの挿入と取り出し

◆ メモリカードを挿入する

メモリカードをカード挿入口に対して水平に押し込みます。

コンパクトフラッシュ挿入口とメモリカード挿入口の両方にカードを挿入した場合、同時に両方のカードを使用することはできません。
両方にカードを挿入した場合は、どちらか先に認識したカードのみ使用できます。
一度両方のカードを抜いてから、再度お使いになるカードのみ挿入してください。

◆ メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオフの場合）

コンパクトフラッシュ挿入口のカードを取り出す場合と、メモリカード挿入口のカードを取り出す場合では、操作の手順が異なります。

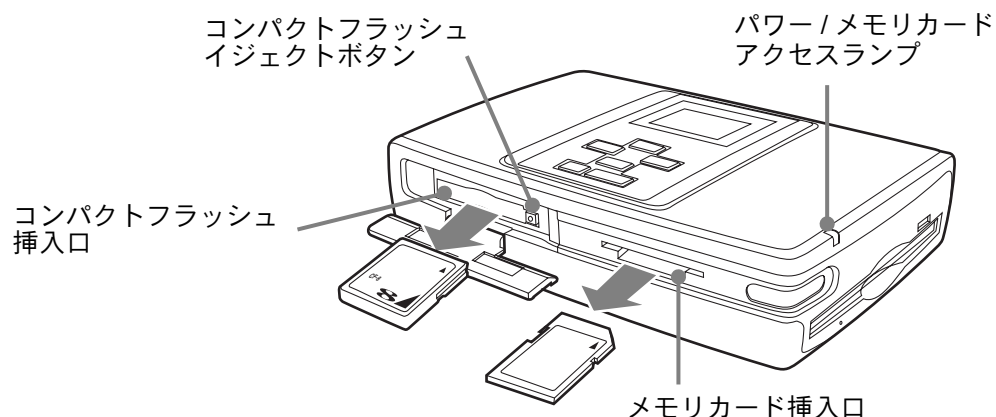
● コンパクトフラッシュ挿入口のカードを取り出す場合

1 **カバーを開き、コンパクトフラッシュイジェクトボタンを軽く押します。コンパクトフラッシュイジェクトボタンが飛び出します。**

2 **コンパクトフラッシュイジェクトボタンを深く押し込みます。**

3 **ボタンが元の位置に戻り、コンパクトフラッシュが少し飛び出します。コンパクトフラッシュを取り出して、カバーを閉じてください。**

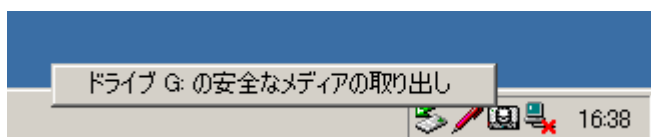
● メモリカード挿入口のカードを取り出す場合

1 **本装置からそのままカードを抜いてください。**

◆ メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオンの場合）

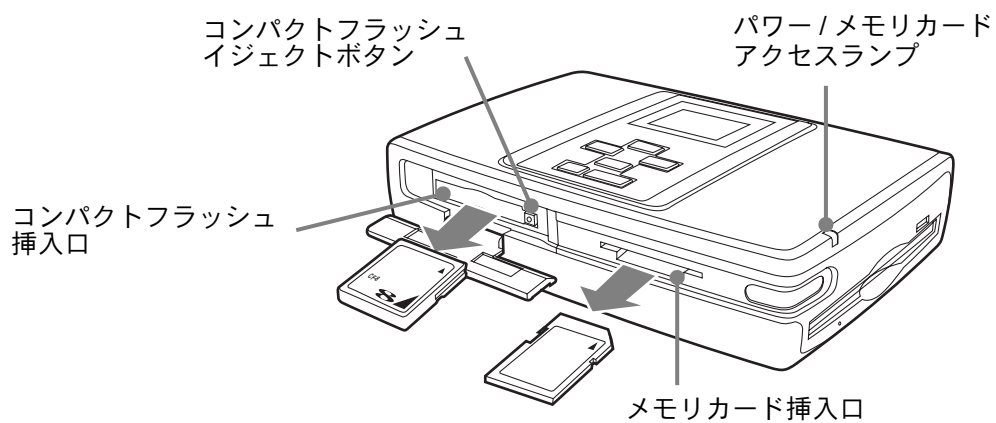
1 **メモリカードアクセスランプ（橙色）が点灯していることを確認します。**

点滅（アクセス）していないことを確認します。

2 **タスクトレーにある、「メディア取り出しアイコン」をクリックします。**

3 **『ドライブ X: の安全な取り出し』というメニューがポップアップされ出てきます。**

4 **メニューをクリックします。**

5 **『メディアを安全に取り出すことができます。』というメッセージが表示されます。［OK］をクリックします。**

6 「メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオフの場合）」の手順を参考にして、カードを取り出します。

本装置をパソコンから取り外す

USB で接続された本装置の取り外し方を説明します。
パソコンの電源がオンの場合とオフの場合で手順が異なります。

◆ パソコンの電源がオフの場合

1 **本装置を USB ポートから取り外します。**

2 **本装置の電源をオフにします。**

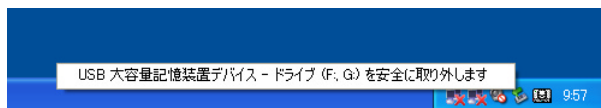
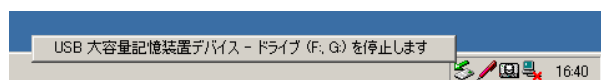
◆ パソコンの電源がオンの場合

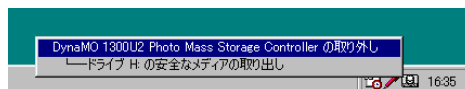
1 **本装置から MO ディスクおよびメモリカードを取り出します。**

【MO ディスクを取り出す】(60 ページ)
【メモリカードを取り出す(パソコンの電源がオンの場合)】(64 ページ)をご覧ください。

2 **タスクバーのリムーバブルツールをクリックします。**

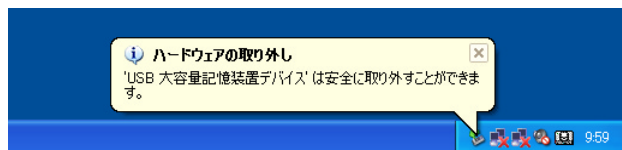
3 **本装置の表示をクリックします。**

▼ Windows XP の場合

▼ Windows 2000 の場合

▼ Windows Me の場合

▼ Windows 98 の場合

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
① 使っているソフトウェアを全て終了します。
② 上記手順を行います。
※ 同じメッセージが表示される場合は、パソコンの電源を切り、【パソコンの電源がオフの場合】の手順で取り外してください。

4 メッセージを確認します。

▼ Windows XP の場合

▼ Windows 2000 の場合

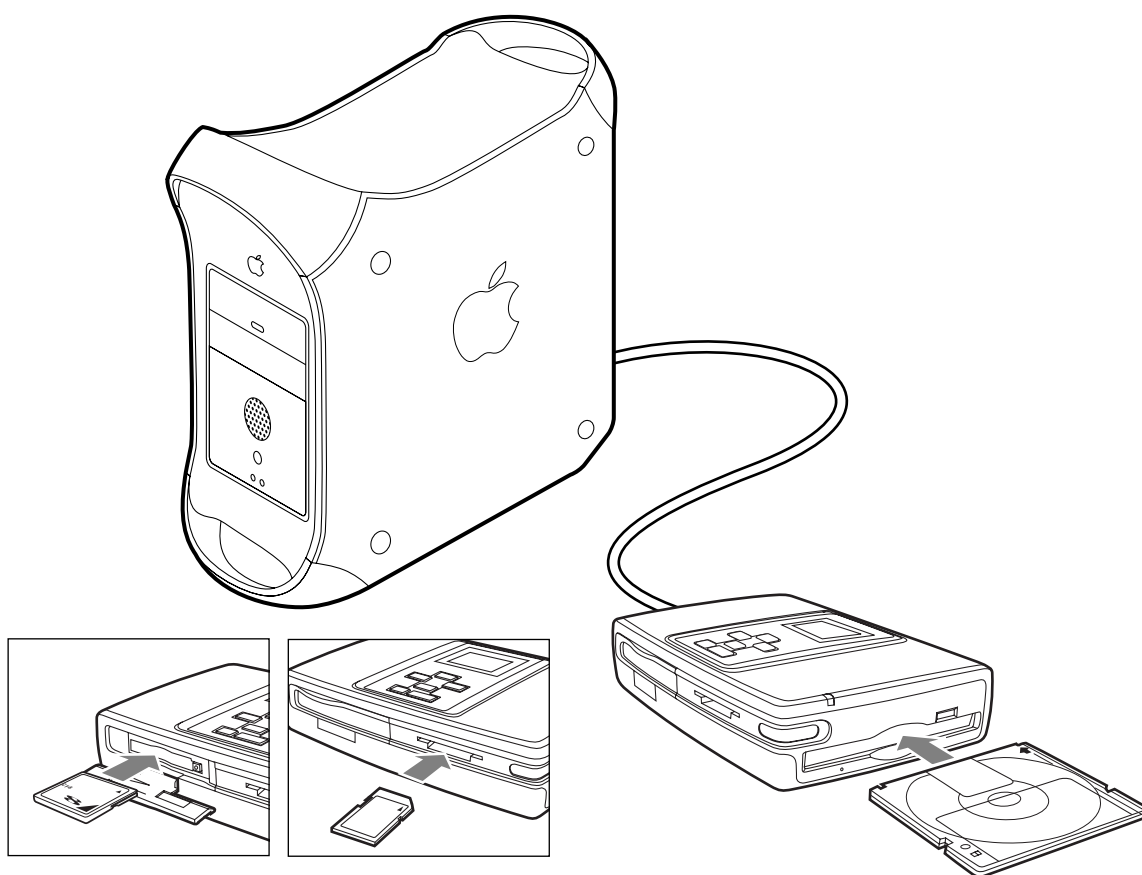
▼ Windows Me の場合

▼ Windows 98 の場合

5 Windows Me の場合は、再度手順 2 を行います。

6 本装置を USB ポートから取り外します。

7 本装置の電源をオフにします。

Macintosh パソコンで使う

インストール（Mac OS 9 のみ）

Mac OS 9 でご使用になる場合のみ「DynaMO 1300U2 Photo セットアップソフト」（以下セットアップソフトと呼ぶ）をインストールします。

Mac OS Xの場合、インストールの必要はありません
【接続】（70 ページ）へおすすみください。

ここでは、まだ本装置を接続しないでください
【インストール】では、まだパソコンに本装置を取り付けないでください。
【接続】（70 ページ）で取り付けます。

1 Mac OS を起動します。

2 「起動ボリューム」を開きます。

「起動ボリューム」のアイコンをダブルクリックします。

3 「セットアップソフト」を CD-ROM ドライブに挿入します。

4 ［Mac Drivers］フォルダを開きます。

［Mac Drivers］フォルダをダブルクリックします。

5 ［Mac Drivers］フォルダの中にある 3 つのファイルを［システムフォルダ］にドラッグ＆ドロップします。

［DynaMO 1300U2 Photo Bus］、［DynaMO 1300U2 Photo Shim］、［DynaMO 1300U2 Photo USB］を［システムフォルダ］にドラッグ＆ドロップします。

ドラッグ＆ドロップ

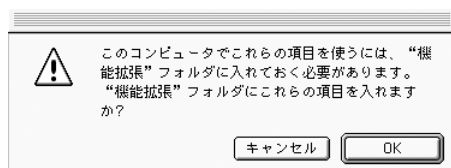
DynaMO 1300U2 Photo Bus

※ ご使用の OS によりアイコンの形状は異なります。

参考

［システムフォルダ］の場所
手順 2 で開いた起動ボリュームの中にあります。

6 [OK] ボタンをクリックします。

⇒［機能拡張］フォルダにファイルがコピーされます。

7 再起動します。

［特別］→［再起動］の順にクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

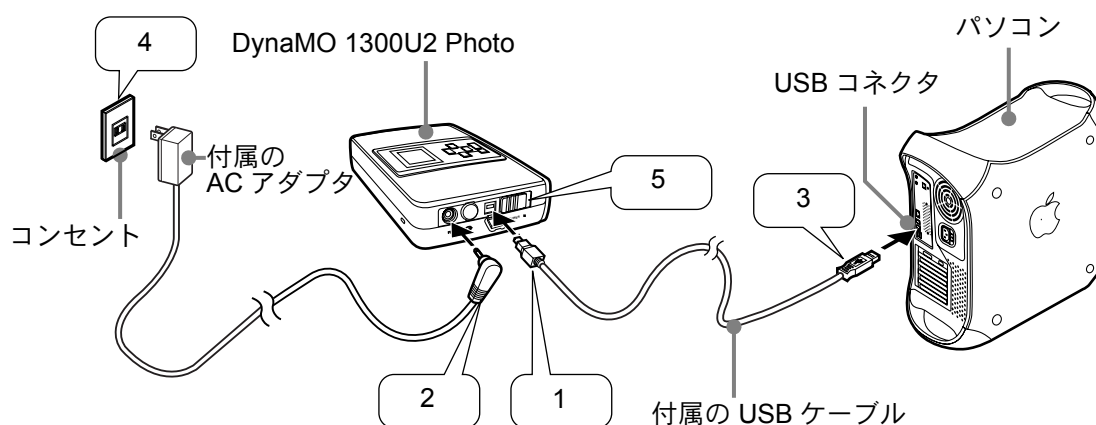
接続

1 本装置左側面の USB コネクタに付属の USB ケーブル（USB コネクタ miniB タイプ側）を接続します。

2 本装置左側面の電源コネクタに付属の AC アダプタを接続します。

3 USB ケーブルのもう一方（USB コネクタ A タイプ側）をパソコンの USB コネクタに接続します。

4 AC アダプタをコンセントに接続します。

5 電源スイッチをオンにします。

接続確認

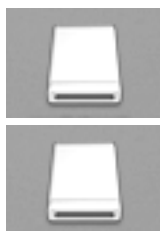
Mac OS X（テン）

1 本装置に MO ディスクとメモリカードを挿入します。

参考

MO ディスクがフォーマットされていない場合
フォーマットの画面が表示されます。
詳しくは、【MO フォーマット】（74 ページ）をご覧ください。

2 MO ディスクとメモリカードのアイコンが表示されることを確認します。

デスクトップに MO ディスクとメモリカードのアイコンが表示されます。

アイコンがない
【アイコンが表示されない】（90 ページ）をご覧ください。

3 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

［アプリケーション］→［ユーティリティ］→［Apple System Profiler］をダブルクリックします。

4 ［装置とボリューム］タブをクリックします。

5 ［DynaMO 1300U2 Photo］を確認します。

USB 情報の USB Bus x の中に［DynaMO 1300U2 Photo］があることを確認します。
表示があれば正常です。

Mac OS 9

1 本装置に MO ディスクとメモリカードを挿入します。

参考

MO ディスクがフォーマットされていない場合
フォーマットの画面が表示されます。
詳しくは、【MO フォーマット】（74 ページ）をご覧ください。

2 MO ディスクとメモリカードのアイコンが表示されることを確認します。

デスクトップに MO ディスクとメモリカードのアイコンが表示されます。

注意

アイコンがない
【アイコンが表示されない】（90 ページ）をご覧ください。

3 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

［アップルメニュー］→［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

4 ［デバイスとボリューム］タブをクリックします。

5 ［DynaMO 1300U2 Photo］を確認します。

［USB x］の中に［DynaMO 1300U2 Photo］があることを確認します。
表示があれば正常です。

MO ディスクの使用

本装置で MO ディスクを使う場合の操作について説明します。

操作	
MO ディスクの使い方	☞ 本ページ
本装置の電源をオンにする	☞ 本ページ
本装置の電源をオフにする	☞ 本ページ
MO ディスクの挿入と取り出し	☞ 本ページ
本装置をパソコンから取り外す	☞ 80 ページ
フォーマット	☞ 74 ページ

MO ディスクの使い方

パソコンを起動 / 終了する前に、必ず MO ディスクを取り出してください。

◆ 本装置の電源をオンにする

本装置左側面の電源スイッチを「⏻：電源オン」側に約 1 秒間スライドさせます。

電源を入れるタイミングについて
パソコンの電源や本装置が接続されているかどうかに関係なく、いつでも本装置の電源をオンにできます。

◆ 本装置の電源をオフにする

1 本装置から MO ディスクおよびメモリカードを取り出します。

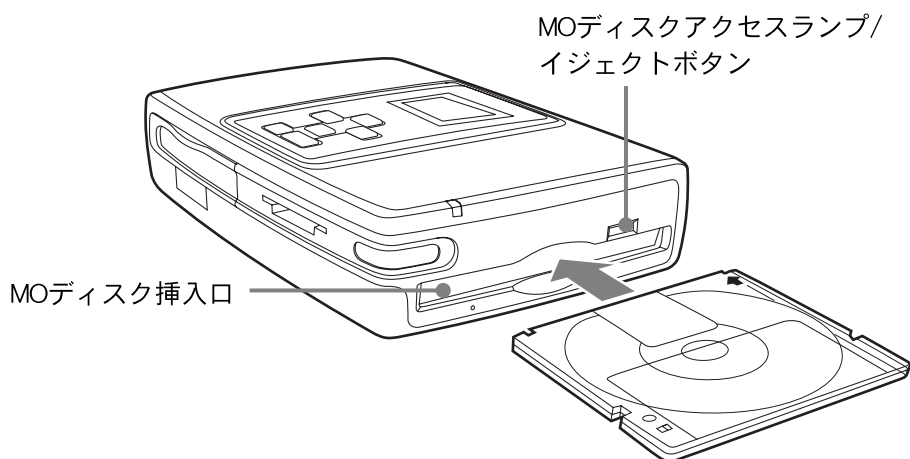
【MO ディスクを取り出す】（次ページ）
【メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオフの場合）】（79 ページ）
【メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオンの場合）】（80 ページ）をご覧ください。

2 本装置左側面の電源スイッチを「⏻：電源オン」側に約 1 秒間スライドさせます。

MO ディスクの挿入と取り出し

◆ MO ディスクを挿入する

1 MO ディスクの表側を上にして MO ディスク挿入口に対して水平にカチッと音がするまで入れます。

2 MO ディスクアクセスランプが点灯後、消えることを確認します。

◆ MO ディスクを取り出す

参考 **イジェクトボタンは使えません**
イジェクトボタンを押して MO ディスクを取り出すことはできません。

1 本装置のアクセスランプが消灯していることを確認します。

2 MO ディスクのアイコンをごみ箱に捨てます。

⇒自動的に MO ディスクが出てきます。

※ ご使用の OS によりアイコンの形状は異なります。

MO ディスクを取り出せない
【MO ディスクを取り出せない】(90 ページ)をご覧ください。

MO フォーマット

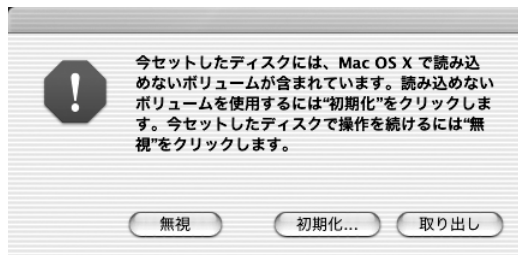
MO ディスクを単体(スタンドアロン)モードと併用する場合
単体(スタンドアロン)モードの MO フォーマット(39 ページ)機能を使ってフォーマットしてください。Mac OS でフォーマットした MO ディスクは単体(スタンドアロン)モードで認識できません。
1.3GB や 640MB の MO ディスクは Mac OS と単体(スタンドアロン)モードとの併用はできません。
128MB、230MB、540MB の単体(スタンドアロン)モードでフォーマットされた MO ディスクをご使用ください。

操作	
Mac OS Xの場合	☞ 75 ページ
Mac OS 9 の場合	☞ 77 ページ

Mac OS X（テン）

1 本装置に MO ディスクを挿入します。

⇒デスクトップに MO ディスクのアイコンが表示されます。

注意 **いきなり下の画面が表示されることがあります**
その場合は、［初期化］ボタンをクリックし、手順 4 にお進みください。

注意 **MAC OS X では「MAC OS 拡張フォーマット」で「単一のパーティション」のフォーマットだけが、ご利用いただけます。**

2 ［アプリケーション］を開きます。

① 起動ボリュームのアイコンをダブルクリックします。
② ［アプリケーション］ボタンをクリックします。

3 ［ディスクユーティリティ］を起動します。

［ユーティリティ］フォルダ→［ディスクユーティリティ］の順にダブルクリックします。

4 本装置を選択します。

本装置を見分ける方法については、下の参考をご覧ください。

参考 **本装置を見分ける方法**
本装置を選択したとき、右の［情報］タブに下記のように表示されます。
ディスクの説明：FUJITSU MCN3130AP-S

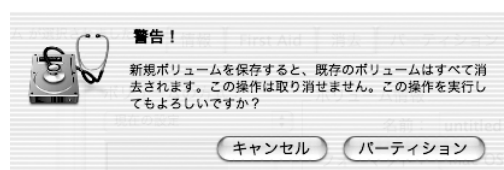
5 ［パーティション］タブをクリックします。

6 MO ディスクをフォーマットします。

①［フォーマット］を［Mac OS 拡張］に設定します。

注意　**［UNIX ファイルシステム］には設定しないでください**
UNIX ファイルシステムには対応しておりません。

7 ［パーティション］ボタンをクリックします。

⇒フォーマットが始まります。

フォーマットできない
【MO ディスクをフォーマットできない】（91 ページ）をご覧ください。

参考　**本装置でフォーマットした MO ディスクは**
Mac OS 上で有効な他の MO ドライブでも使えます。
ただし、この MO ディスクから OS を起動することはできません。

DOS 形式を選択してフォーマットしたい場合、
もしくは DOS 形式フォーマットのみ選択可能の場合は
本装置をパソコンから外し、単体（スタンドアロン）モードでフォーマットしてください。
手順については 39 ページ【MO ディスクフォーマット】をご覧ください。

Mac OS 9

1 本装置に MO ディスクを挿入します。

⇒デスクトップに MO ディスクのアイコンが表示されます。

いきなり手順 4 の画面になることがあります
その場合は、手順 4 にお進みください。

2 MO ディスクのアイコンをクリックします。

3 ［ディスクの初期化］もしくは［装置の初期化］をクリックします。

Finder メニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスクの初期化］もしくは［装置の初期化］をクリックします。

4 フォーマットを行います。

①［名前］に MO ディスクに付ける名前を入力します。
②［フォーマット］を選択します。
③［初期化］ボタンをクリックします。
⇒ MO ディスクのフォーマットが始まります。

フォーマットできない
【MO ディスクをフォーマットできない】（91 ページ）をご覧ください。

参考

本装置でフォーマットした MO ディスクは
Mac OS 上で有効な他の MO ドライブでも使えます。
ただし、この MO ディスクから OS を起動することはできません。

DOS 形式を選択してフォーマットしたい場合、
もしくは DOS 形式フォーマットのみ選択可能の場合は
本装置をパソコンから外し、単体（スタンドアロン）モードでフォーマットしてください。
手順については 39 ページ【MO フォーマット】をご覧ください。

メモリカードの使用

ここではメモリカードの挿入と取り出しについてのみ説明しています。
メモリカードに関するその他のご使用方法などについては、メモリカードの取扱説明書をご覧ください。

メモリカードの挿入と取り出し

メモリカードをメモリカード挿入口に対して水平に押し込みます。

コンパクトフラッシュ挿入口とメモリカード挿入口の両方にカードを挿入した場合、同時に両方のカードを使用することはできません。
両方にカードを挿入した場合は、どちらか先に認識したカードのみ使用できます。
一度両方のカードを抜いてから、再度お使いになるカードのみ挿入してください。

◆ メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオフの場合）

コンパクトフラッシュ挿入口のカードを取り出す場合と、メモリカード挿入口のカードを取り出す場合では、操作の手順が異なります。

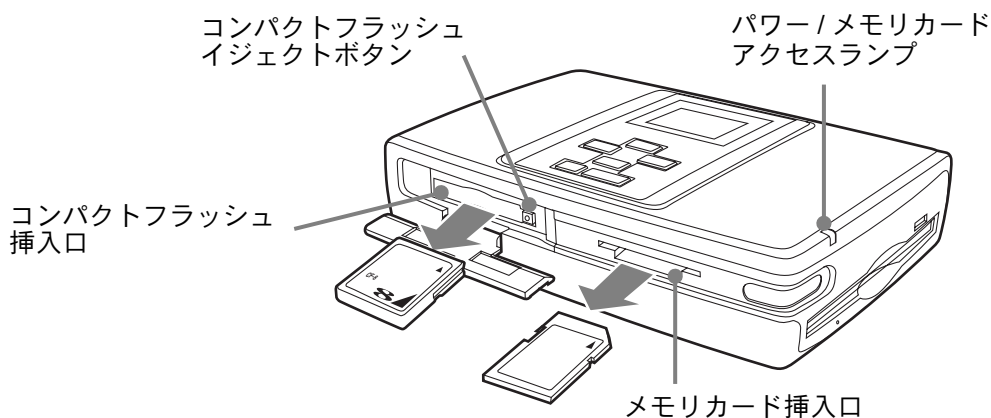
● コンパクトフラッシュ挿入口のカードを取り出す場合

1 **カバーを開き、コンパクトフラッシュイジェクトボタンを軽く押します。コンパクトフラッシュイジェクトボタンが飛び出します。**

2 **コンパクトフラッシュイジェクトボタンを深く押し込みます。**

3 **ボタンが元の位置に戻り、コンパクトフラッシュが少し飛び出します。コンパクトフラッシュを取り出して、カバーを閉じてください。**

● メモリカード挿入口のカードを取り出す場合

1 **本装置からそのままカードを抜いてください。**

◆ メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオンの場合）

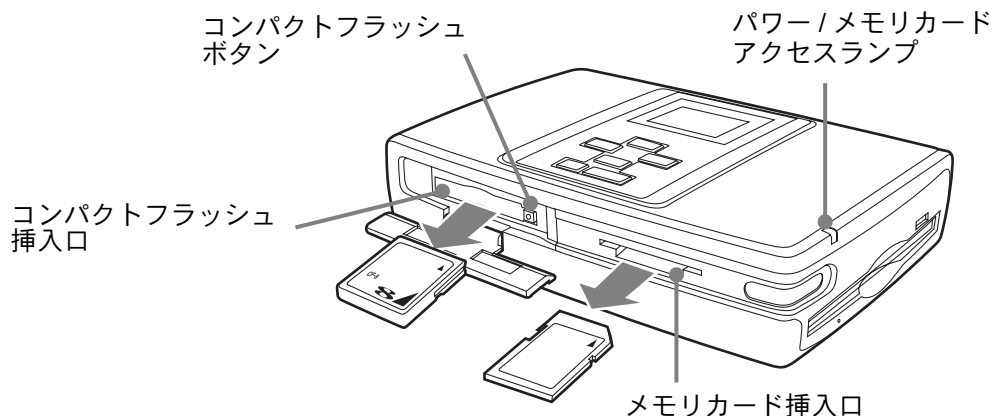
1 **メモリカードのアイコンをごみ箱に捨てます。**

注意　ごみ箱に捨てる前にメモリカードを抜くと、たとえメモリカードアクセスランプが消えていてもデータを消失する場合があります。

参考　ご使用の OS によりアイコンの形状は異なります。

2 **メモリカードアクセスランプ（橙色）が点灯していることを確認します。**

点滅（アクセス）していないことを確認します。

3 **「メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオフの場合）」の手順を参考にして、カードを取り出します。**

本装置をパソコンから取り外す

パソコンの電源のオン・オフにかかわらず、以下の手順で取り外すことができます。

1 **本装置から MO ディスクおよびメモリカードを取り出します。**

【MO ディスクを取り出す】（74 ページ）
【メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオフの場合）】（79 ページ）
【メモリカードを取り出す（パソコンの電源がオンの場合）】（80 ページ）をご覧ください。

2 **本装置を USB ポートから取り外します。**

3 **本装置の電源をオフにします。**

第４章　付録

困ったときには

ご使用の際に、「故障かな」と感じられましたら、下記に従って点検してください。
それでも直らないときは、本機の電源をオフにし、すべての接続を外して販売店までご連絡ください。

単体（スタンドアロン）モード

現象	考えられる要因	対処
MO が認識できない。	MO ディスクが挿入されていない可能性があります。	MO ディスクを挿入してください。
	違う形式でフォーマットされている可能性があります。	フォーマット形式を FAT16 か FAT32 でフォーマットしてください。
MO のデータが読み出せない。	MO の準備ができていない可能性があります。	MO ディスクを挿入し、MO イジェクトボタンが点滅した後、消灯することを確認してください。
	MO ディスクがフォーマットされているか確認してください。	フォーマット形式を FAT16 か FAT32 でフォーマットしてください。
MO にデータが書き込めない。	ライトプロテクトされている可能性があります。	ライトプロテクトを解除してください。（P21）
	MO ディスクの空き領域が不足している可能性があります。	ファイルを削除して空き領域を確保するか、MO ディスクを交換してください。
メモリカードが認識できない。	メモリカードが挿入されていない可能性があります。	メモリカードを挿入してください。
	違う形式でフォーマットされている可能性があります。	フォーマット形式を FAT 形式としてください。
メモリカードのデータが読み出せない。	メモリカードがフォーマットされていない可能性があります。	フォーマットされているかどうか確認してください。
	メモリカードが壊れていないか確認してください。	壊れている場合は、メモリカードを交換してください。
メモリカードにデータが書き込めない。	ライトプロテクトされている可能性があります。	メモリカードの書き込み保護スイッチを解除してください。 SD カードやメモリスティックの場合は Lock スイッチをオフにしてください。 スマートメディアの場合は書き込み保護シールをはがしてください。
	メモリカードに必要な空き領域がない可能性があります。	ファイルを削除して空き領域を確保するか、メモリカードを交換してください。

エラーメッセージ

液晶パネルに表示されるメッセージ	考えられる要因など	対処
同名フォルダがあります。違う名前を付けて下さい。	既に存在するフォルダと同名のフォルダ名が指定された可能性があります。	フォルダ名を変更してください。
MO がいっぱいです。 MO を交換してください。	コピー実行中に MO ディスクに必要な空き容量がなくなった可能性があります。	MO ディスクの空き容量がない場合は、空き容量の十分あるものに交換してください。 残りのファイルを続けてコピーすることができます。
MO がライトプロテクトされています。	MO ディスクがライトプロテクト（書き込み禁止）の状態になっている可能性があります。	ライトプロテクトを解除して、コピーを継続してください。
MO がライトプロテクトされています。ライトプロテクトを解除してください。	コピーの途中で交換された MO ディスクがライトプロテクト（書き込み禁止）の状態になっている可能性があります。	ライトプロテクトを解除して、コピーを継続してください。
MO のフォーマット形式が違います。 正しい MO を挿入してください。	MO ディスクのフォーマット形式が FAT16/FAT32 以外である可能性があります。	違う形式でフォーマットされている場合は、FAT16/FAT32 形式の MO ディスクを挿入してください。
違うカードです。 同じカードを再挿入してください。	分割コピー中にコピー元のメモリカードが違うメモリカードに挿し換えられました。	コピー元のメモリカードを元のカードに交換してください。
画像を表示できません	ファイルが壊れている可能性があります。	メモリカードの場合は、お使いのデジタルカメラなどで正しく表示できるか確認してください。 MO ディスクの場合は、ご使用のパソコンに接続するなどしてファイルが壊れていないか確認してください。不具合がある場合は交換してください。
ファイルがありません	ファイルが存在しません。	ファイルが存在しない場合は、ファイルが存在するフォルダを選択してください。
準備できていません。カードと MO が挿入されていますか？	カードおよび MO ディスクが挿入されていない可能性があります。	カードおよび MO ディスクを挿入してください。
MO がありません		
MO を挿入してください。		
カードがありません		
MO/ カードが抜かれました	MO ディスクまたはメモリカードが抜かれた可能性があります。	MO ディスクまたはメモリカードを挿入してください。

液晶パネルに表示されるメッセージ	考えられる要因など	対処
カードリードエラーが発生	①メモリカードがフォーマットされていない可能性があります。 ②メモリカードが壊れている可能性があります。	①フォーマットできていない場合は、メモリカードをフォーマットして使用してください。 ②お使いのデジタルカメラなどで正しく使用できるかどうか確認してください。壊れている場合はメモリカードを交換してください。
カードライトエラーが発生	メモリカードが壊れている可能性があります。	お使いのデジタルカメラなどで正しく撮影できるかどうか確認してください。壊れている場合はメモリカードを交換してください。
カードがライトプロテクトされています	①メモリカードがライトプロテクトされている (ライトプロテクト・ノッチが ON、またはプロテクト・シールが貼られている) 可能性があります。 ②本装置の環境設定でカード・プロテクトが ON に設定されている可能性があります。	本装置でメモリカードに書き込む場合は、 ①メモリカードのライトプロテクトを外してください。 ②本装置の環境設定でプロテクトを OFF に設定してください。
カードのフォーマット形式が違います	①メモリカードのフォーマット形式が FAT12/FAT16/FAT32 以外である可能性があります。 ②メモリカードがフォーマットされていない可能性があります。	メモリカードを FAT12/FAT16/FAT32 形式でフォーマットしてください。
カードに必要な空き容量がありません	メモリカードに必要な空き容量がありません。	空き容量が十分にあるメモリカードに交換してください。
カードのルートディレクトリがいっぱいです	ファイルまたはフォルダ数が 512 個を超えている可能性があります。	FAT16 形式でルートディレクトリに作成できるファイルまたはフォルダ数は、最高で 512 個です。上限のフォルダ数を超えている場合は、ファイルを削除して空き領域を作成するか、メモリカードを交換してください。
MO リードエラーが発生	① MO ドライブユニットの準備ができていません。 ② MO ディスクがフォーマットされていない可能性があります。 ③ FAT16/FAT32 形式以外の MO ディスクが挿入された可能性があります。	①再度 MO ディスクを MO ドライブユニットへ挿入し、LED が点灯した後、消灯することを確認してください。 ② MO ディスクをフォーマットしてください。 ③ FAT16/FAT32 形式でフォーマットされた MO ディスクを挿入してください。
MO ライトエラーが発生	① MO ドライブユニットの準備ができていません。 ② MO ディスクがフォーマットされていない可能性があります。 ③ FAT16/FAT32 形式以外の MO ディスクが挿入された可能性があります。	① MO ディスクを MO ドライブユニットへ再度挿入し、LED が点灯した後、消灯することを確認してください。 ② MO ディスクをフォーマットしてください。 ③ FAT16/FAT32 形式でフォーマットされた MO ディスクを挿入してください。

液晶パネルに表示されるメッセージ	考えられる要因など	対処
MO のフォーマット形式が違います	① MO ディスクがフォーマットされていない可能性があります。 ② FAT16/FAT32 形式以外の MO ディスクが挿入された可能性があります。	① MO ディスクを FAT16/FAT32 形式でフォーマットしてください。 ② FAT16/FAT32 形式でフォーマットされた MO ディスクを挿入してください。
MO にフォルダがありません	MO ディスクにフォルダが存在しません。	フォルダが存在する MO ディスクに交換してください。
MO のルートディレクトリがいっぱいです	ファイルまたはフォルダ数が 512 個を超えている可能性があります。	FAT16 形式でルートディレクトリに作成できるファイルまたはフォルダ数は、最高で 512 個です。上限を超えないようにしてください。または、MO ディスクを交換してください。
制限オーバーでフォルダを作成できません	① YYMMDD/yymmdd.xxx フォルダの拡張子が 3 文字を超えている可能性があります。 ② FAVORITE/FAVOR.xxx フォルダの拡張子が 3 文字を超えている可能性があります。	① 拡張子を 001 ～ 999 文字以内にしてください。 ② 拡張子を 001 ～ 100 文字以内にしてください。
パス長制限オーバーで、フォルダにアクセスできません	本装置ではフォルダ階層数で制限されます。 コピー元のフォルダ／ファイルが制限を越えている可能性があります。	「表示」においては、 ① MO ディスクの場合は、ルートディレクトリから 13 階層下までアクセス可能です。 ②メモリカードの場合は、ルートディレクトリから 10 階層下までアクセス可能です。
パス長制限オーバーで、フォルダ / ファイルを作成できません	本装置ではフォルダ階層数で制限されます。 コピー元のフォルダ／ファイルが制限を越えている可能性があります。	①「簡単コピー」および「MO へコピー」の場合、メモリカードのルートディレクトリから 10 階層下までの、11 階層分がコピー可能です。 ②「カードへコピー」の場合、MO ディスクのルートディレクトリから 3 ～ 13 階層下の、11 階層分がコピー可能です。
コピー先にフォルダ / ファイルを作成できません	①コピー先のファイルシステムが壊れている可能性があります。 ②ルートに予約されたフォルダ名 MODATA と同じファイルが存在しています。	①コピー先のメディアをフォーマットするか、交換してください。 ② MODATA というファイルがある場合はファイル名を変更してください。
日時情報が失われました。設定に入ります	長期間使用していない場合などに内蔵バッテリの電圧が低下し、日時情報が失われた可能性があります。	AC アダプタを接続して、日付設定を行ってください。しばらく AC アダプタを接続しておくと内蔵電池が充電されます。

液晶パネルに表示されるメッセージ	考えられる要因など	対処
画像表示エラーが発生	本装置が故障した可能性があります。	いったん電源を OFF し、再度電源を ON にしてから同じ操作を試みてください。 現象が回復しない場合は、修理窓口に修理をご依頼ください。（修理に関しては 118 ページをご覧ください。）
表示できない画像サイズです	画像サイズが表示限界（約 2440 万画素、あるいは、ファイルサイズが 10MB）を超えている可能性があります。	画像サイズが表示限界を超えた場合は表示できません。
EEPROM アクセスエラーが発生	本装置が故障した可能性があります。	いったん電源を OFF し、再度電源を ON にしてから同じ操作を試みてください。現象が回復しない場合は、修理窓口に修理をご依頼ください。（修理に関しては 118 ページをご覧ください。）

パソコンと接続して使用しているとき

◆ 全 OS 共通

質問	確認	対処
アイコンが表示されない	① USB ポートを変えてみてください。	①接続する USB ポートによっては認識されません。接続する USB ポートを変えてください。特に USB ハブに接続している場合は、パソコン本体の USB ポートに変えてみてください。
	②ホットプラグで接続しましたか？	② USB コネクタを再度抜き差ししてください。または別の USB ポートに接続してください。 USB ハブ経由で接続している場合は、パソコン本体の USB ポートに接続してください。 パソコンを再起動してください。
	③他の USB 機器が動作中でないか確認してください。	③この場合、すぐには認識されません。他の USB 機器の動作が終わってから、本装置を USB ポートに接続してください。
	④セットアップソフトが正しくインストールされているか確認してください。	④セットアップソフトが正しくインストールされていない場合、以下のページをご覧になり、セットアップソフトを正しくインストールしてください。 Windows の場合：48 ページ Macintosh の場合：69 ページ

質問	確認	対処
フォーマットができない	① MO ディスク：MO ディスクがライトプロテクト（書き込み禁止）の状態になっていないか確認してください。 ②メモリカード：メモリカードがライトプロテクト（書き込み禁止）の状態になっていないか確認してください。	① MO ディスクのライトプロテクトを解除してください。 ②メモリカードのライトプロテクトを解除してください。
MO ディスクをフォーマットすると、MO ディスクのパッケージなどに記載の容量よりパソコン上では少なく表示される。	―	MO ディスクのパッケージなどに記載の容量の表示は、「1KB ＝ 1000 バイト」として計算されたものとなっていますが、パソコン上では、「1KB ＝ 1024 バイト」として計算されます。 また、フォーマットを行うとディスク情報を保存する為に、ある程度の領域が使用されます。 以上の 2 つの理由により、フォーマット後にはディスクの容量表記よりも下回った数値（例えば 640MB の MO ディスクの場合は約 600MB）となります。
Windows でフォーマットした MO ディスクが Macintosh で読めない	―	Windows でフォーマットした 640MB の MO ディスクは Mac OS との互換はありません。 Windows と Macintosh で併用する際は、128MB、230MB、540MB の FAT16 形式のみ使用できます。
MO ディスクの読み書き中にデータエラーが発生する	―	さまざまな原因が考えられますが、以下が主な要因となっています。 ① MO ディスクが汚れています。（117 ページ）をご覧になり、MO ディスクをクリーニングしてください。 ②本装置のヘッドが汚れています。（117 ページ）をご覧になり、本装置のヘッドをクリーニングしてください。
MO ディスクの空き容量はあるのにファイルを保存できない MO ディスクをフォーマットし、HDD から MO にコピーしたが、全ファイルコピーされない MO ディスクにはまだ空きがあるのに、ファイルを約 500 個コピー後にエラーが表示され、残りのファイルがコピーできない	―	FAT（FAT16）形式でフォーマットされた MO ディスクの場合、ルートの階層に記録できるファイルの数には上限があります。（ロングファイル名のファイルがない場合は最大 512 個までです。）その場合は、フォルダを作成し、その中にファイルを書き込んでください。フォルダが作成できない場合は、ファイルをいくつか削除した後、フォルダを作成してください。作成されたフォルダ内ではファイル数に制限はありません。

質問	確認	対処
MO ディスクを読み書き中に、他の USB 機器が認識されない	—	この場合、すぐには認識されません。MO ディスクの読み書きが終わるまでお待ちください。
MO ディスクを取り出せない	—	機械的な故障や、その他の理由で取り出せなくなっている場合があります。 パソコンの電源を切ってから、本装置の電源を切り、22 ページを参照して MO ディスクを取り出してください。 ※これは緊急時の操作です。むやみに行うと故障の原因となります。この操作で取り出せない場合は、無理に引き出さず、弊社修理係にご依頼ください。
パソコンの動作がおかしくなった	USB コネクタを頻繁に抜き差ししていませんか？	パソコンの電源が入っている状態で、あまり頻繁に抜き差しをしないでください。 これは USB の仕様上の制限になります。 パソコンの動作がおかしくなった場合は、パソコンを再起動してください。

◆ Windows 共通 : Windows 98（Second Edition 含む）/ Windows Me / Windows 2000 / Windows XP

質問	確認	対処
省電力モードからの復帰時にドライブのアイコンが表示されない場合がある	—	① USB コネクタを再度抜き差ししてください。または別の USB ポートに接続してください。 ②パソコンを再起動してください。
Windows でディスクコピーができない	—	ショートカットメニューにあるディスクコピーは MO ディスクに対して使用することはできません。

◆ Windows 98（Second Edition 含む）/ Windows Me

質問	確認	対処
MO ディスクに対してファイルのコピーができない	MO ディスクがライトプロテクト（書き込み禁止）の状態になっていないか確認してください。	MO ディスクがライトプロテクトされている場合は、ライトプロテクトを解除してください。
MO ディスクに対して FDISK を行ったらディスクの容量が 4 分の 1 になってしまった	—	640MB と 1.3GB の MO ディスクは、FDISK に対応しておりません。FDISK を行わないでください。 行ってしまった場合は、Windows で再フォーマットを行ってください。

質問	確認	対処
ファイルの読み書きができない	MO ディスクのフォーマット形式が異なっていないか確認してください。	1）本装置で使用できる MO ディスクは、FAT16/32 に限定されています。（NTFS は使用できません）。Windows 上でフォーマットしてください。 2）Mac OS のフォーマット形式の場合は、Mac OS 側で Windows フォーマットの MO ディスクを使ってデータを移してください。 ※ MacOS フォーマットの MO ディスクは Windows では認識できません。
MO ディスクにスキャンディスクを実行するとエラーが出る	その MO ディスクを一度 Macintosh で使っていないか確認してください。	一度 Mac 上にマウントした DOS フォーマット（IBM、もしくは FDISK）の MO ディスクを Windows 98 上でスキャンディスクを実行した場合、次のようなエラーが表示される場合があります（ファイル「DesktopDF」は、Mac OS 上で管理に必要な情報が含まれたファイルです）。この場合は、「エラーを無視して続行」を選んでください。
セットアップソフトをインストール中に「エラー？ストリング変数の文字数に対して、充分な大きさがありません。ストリング宣言をしてください。」とメッセージがでる	Windows の［地域］が日本語以外になっていないか確認してください。	［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［地域］のアイコンをそれぞれダブルクリックして開きます。設定が日本語以外になっている場合、日本語に変更して OS を再起動させた後、再度セットアップソフトのインストールを行ってください。（Windows Me の場合は、［言語］を「日本語」、さらに［国 / 地域］を「日本」に設定してください。）

◆ Windows 98（Second Edition 含む）

質問	確認	対処
本装置をパソコンに接続したがマイコンピュータにアイコンが出てこない	①ケーブルは正しく接続されていますか？ MO ドライブユニットの「パワー / メモリカード「アクセスランプ」が点灯しているか確認してください。	① USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・Windows 98 が起動していないときやスタンバイ / 休止状態のときに接続した場合は、Windows 98 を復帰させてから USB ケーブルを接続してください。 ・一度 USB ケーブルを取り外し、再び接続してください。 これでも認識されない場合は、USB ケーブルを取り外してから Windows 98 を再起動し、USB ケーブルを接続してください。
	②デバイスドライバをインストールしましたか？	②以下の手順にてデバイスドライバがあるかを確認してください。［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］［DynaMO 1300U2 Photo Mass Storage Controller］が表示されていますか？されていない場合はセットアップソフトのインストールを行ってください。

◆ Mac OS

質問	確認	対処
アイコンが表示されない	MO ディスクやメモリカードが挿入されているか確認してください。 MO ドライブユニットに MO ディスクを挿入した状態で OS を起動したかを確認してください。 Mac OS 9：機能拡張が競合していないか確認してください。	MO ディスク、メモリカードを挿入してください。 MO ディスクを MO ドライブユニットから取り出します。 その後本装置の USB ケーブルを PC の USB コネクタから取り外し、再度接続してください。 【機能拡張の競合解消方法】（97 ページ）をご覧ください。
MO ディスクを取り出せない	パソコンの電源は入っているか確認してください。	イジェクトボタンでは MO ディスクを排出できません。MO のアイコンをごみ箱へドラッグアンドドロップしてください。
640MB の MO ディスクを「検証」したらエラー報告された	―	640MB の MO ディスク上に対して Disk First Aid を起動し、「検証」を実行した場合、エラーレポートが報告される場合がありますが、問題なく使えます。
本装置に挿入した MO ディスクから MacOS を起動できない	―	Mac OS では USB 機器からの起動はできません。

質問	確認	対処
MO ディスクをフォーマットできない	AppleTalk が「使用」状態で、ファイル共有が「開始」されていないか確認してください。	この場合は、一時的に［Apple メニュー］→［セレクタ］を開き、AppleTalk を「不使用」にするか、［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［ファイル共有］コントロールパネルを開き、ファイル共有を「中止」にした上でフォーマットを行ってください。
データの入った DOS フォーマットの MO ディスクを入れても初期化ウィンドウが出る	① File Exchange が「有効」になっているか確認してください。 ②認識できないフォーマット形式になっていないか確認してください。	①［Apple メニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。「File Exchange」に「×」をつけ、再起動してください。 ②その MO ディスクを読み出せる環境があれば、その環境でバックアップをし、その後、MO ディスクをフォーマットしなおしてください。

出荷時の設定

項	設定項目	設定状態	備考
1	フォルダ編集	[OFF]	
2	スライドショー間隔	[中]	
3	ファイル一覧	[JPEG のみ]	
4	ファイル並び	[日付昇順]	
5	カード・プロテクト	[OFF]	
6	日時設定	[2004/1/1 0:00]	初回電源投入時と、内蔵バッテリ電圧低下時に表示。
7	液晶濃度	[5 階調]	
8	ビデオ出力	[NTSC]	
9	操作音	[ON]	
10	言語	設定無効	初回電源投入時に表示。

参考

出荷時の設定に戻すには
◀ ▶ ボタンを同時に押しながら電源を入れます。
上記設定はすべて出荷時の設定に戻ります。
言語設定と日時設定を要求する表示に戻ります。

内蔵電池の電圧低下検出と日時設定について

本装置には充電式の電池が内蔵されており、時計の駆動や、日時情報のバックアップに使用されています。この電池の充電が不十分なときや、電池の寿命に近づくと電池は放電状態となり、日時情報などが消失します。下記の表示が出た場合は表示にしたがって日時設定を行ってください。

電圧低下が検出されると、約 5 秒間次の表示画面がでます。

このあと、日時設定画面に切り替わります。

ここで日時設定を行ってください。
日時設定については【日時設定を行う】(27 ページ) を参照してください。

日時設定が完了するまで電源投入時に上記の表示が繰り返し表示されます。

ファイルの階層について

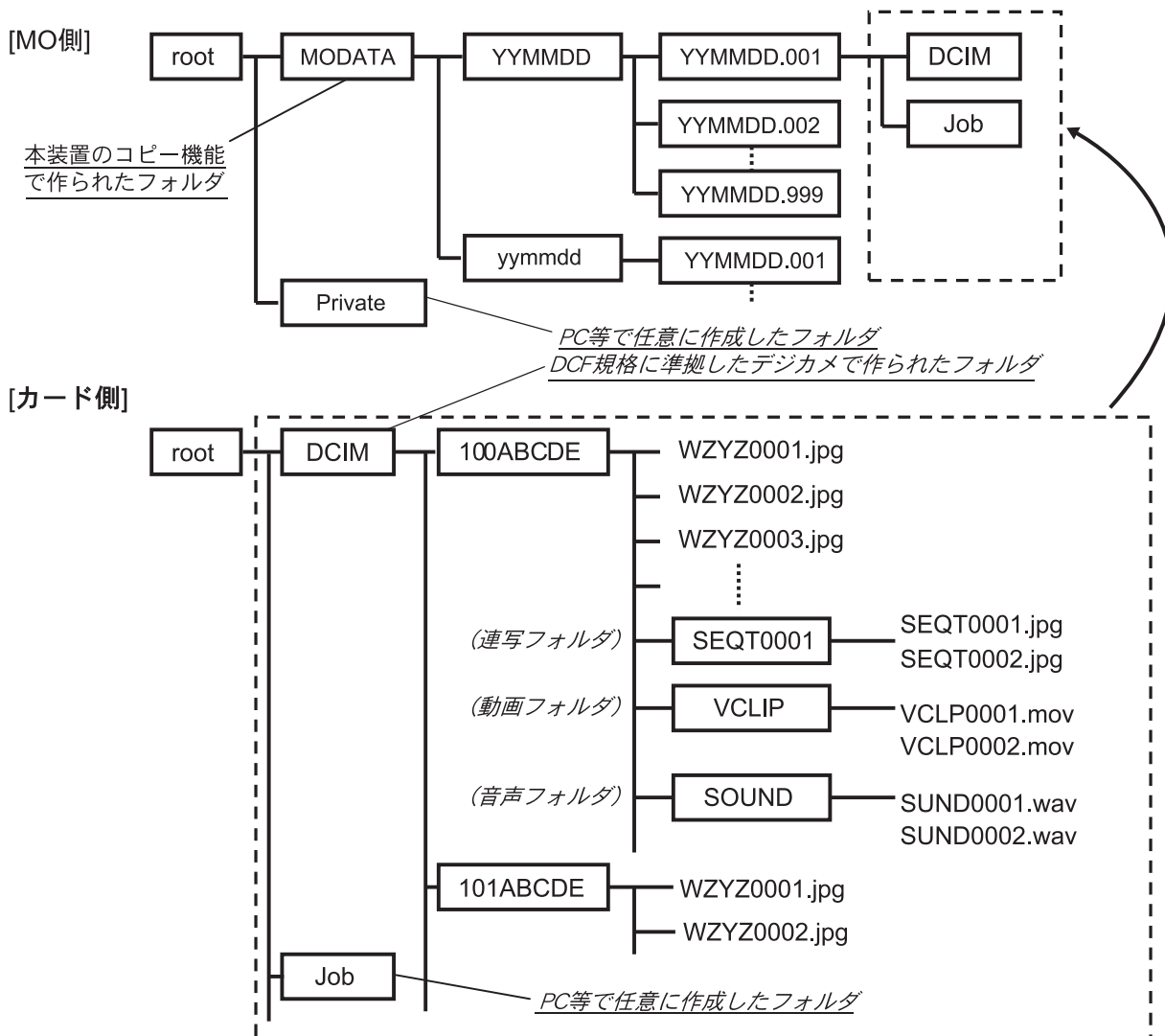
MO へコピー（フォルダ編集が無効）の場合

1 **MO ディスクのルートディレクトリに「MODATA」というフォルダを作成します。**

2 **次に MODATA フォルダ下にコピーする日付を示す「YYMMDD」というフォルダを作ります。**

3 **次に、上記の「YYMMDD」フォルダの下に同じ日付の「YYMMDD(日付). 拡張子」のサブフォルダを作り、この下にカード側のルートディレクトリ下の全てのフォルダ / ファイルをコピーします。**

4 **2 回目以降のコピーでは、上記 3. の「YYMMDD. 拡張子」の拡張子が 1 だけ増えたフォルダを作り同じ動作をします。拡張子には、「001 ～ 999」が使用されます。**

5 **コピーする日付が変わった場合は、MODATA フォルダ下に新たにコピーする日付を示す「yymmdd」というフォルダを作成し、このフォルダの下にこのフォルダと同じ日付の yymmdd.001 からフォルダを作ります。**
以降は上記 3. ～ 5. の繰り返しとなります。

MO へコピー（フォルダ編集が有効）の場合

1 **MO ディスクのルートディレクトリに「MODATA」というフォルダを作成します。**

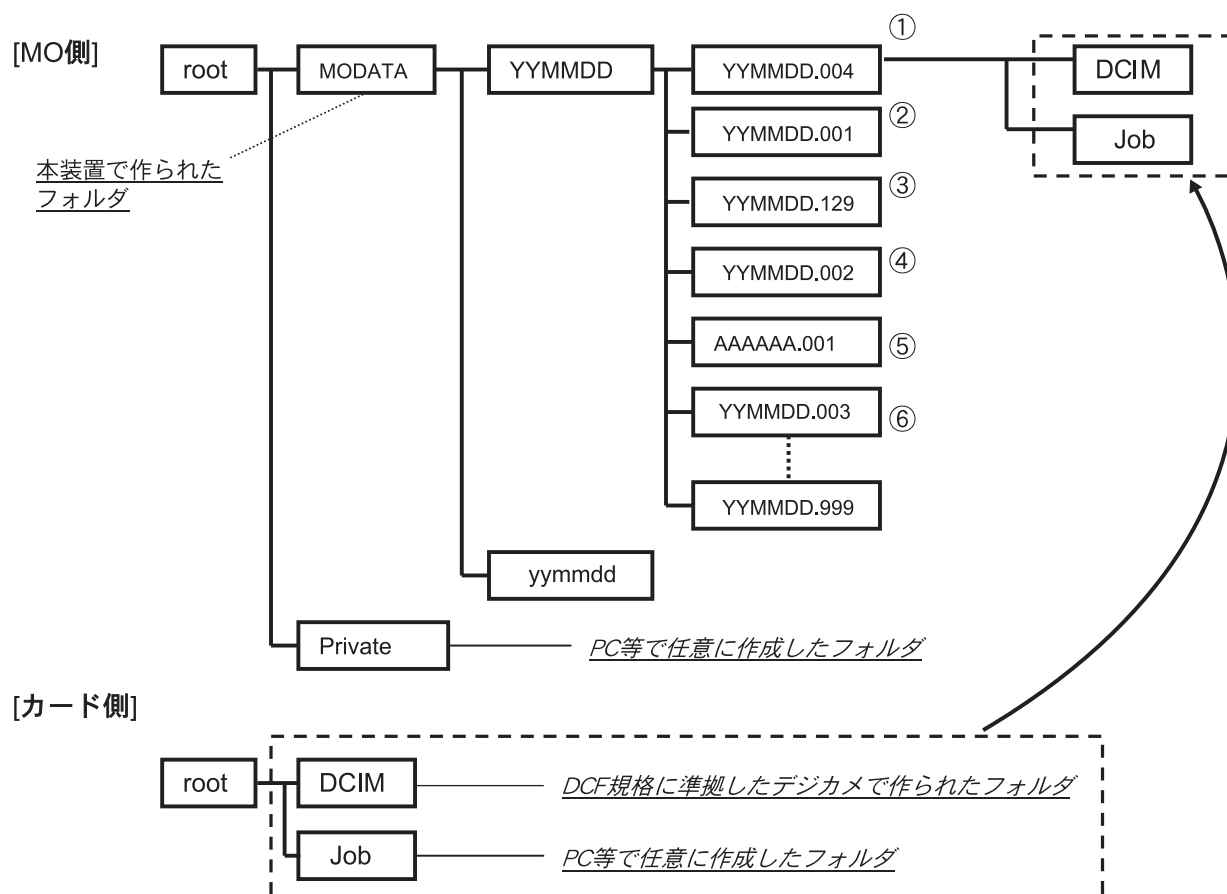
2 **次に MODATA フォルダ下にコピーする日付を示す「YYMMDD」というフォルダを作ります。**

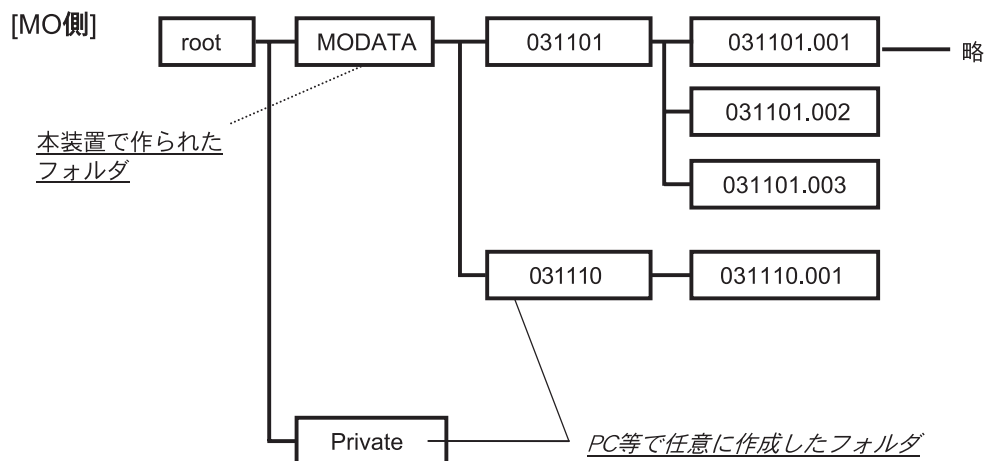
3 **次に、上記の「YYMMDD」フォルダの下に同じ日付の「YYMMDD(日付). 拡張子」のサブフォルダを作り、この下にカード側のルートディレクトリ下の全てのフォルダ / ファイルをコピーします。ここで「YYMMDD(日付). 拡張子」の名称は、default 値では日付 .001 ですが、フォルダ編集で使用可能な文字が入力可能です。**

4 **ここで、①のように、“YYMMDD.004”というフォルダを作成したとします。2 回目の MO へのコピーでは、“日付 . 使用していない最小値の拡張子番号”つまり、②のように、“YYMMDD.001”というフォルダ名が default で表示されます。同様に、③のような名称でフォルダを作成したら④、⑤のような日付を示さない名称でフォルダを作成したら⑥のように④の続きの default 値が割り振られます。**

拡張子には、「001 ～ 999」が使用されます。

5 **コピーする日付が変わった場合は、新たな日付を示す上位フォルダ「yymmdd」を作成します。**

ここで「YYMMDD(日付). 拡張子」の名称には、default 値で「日付 .001」が割り振られます。

MODATA フォルダの下に PC を使ってユーザが“YYMMDD”フォルダを作成した場合、「MO へコピー」においては、コピーする日付を示す”YYMMDD”のフォルダを探し、その下に YYMMDD(日付). 拡張子のフォルダを作成します。

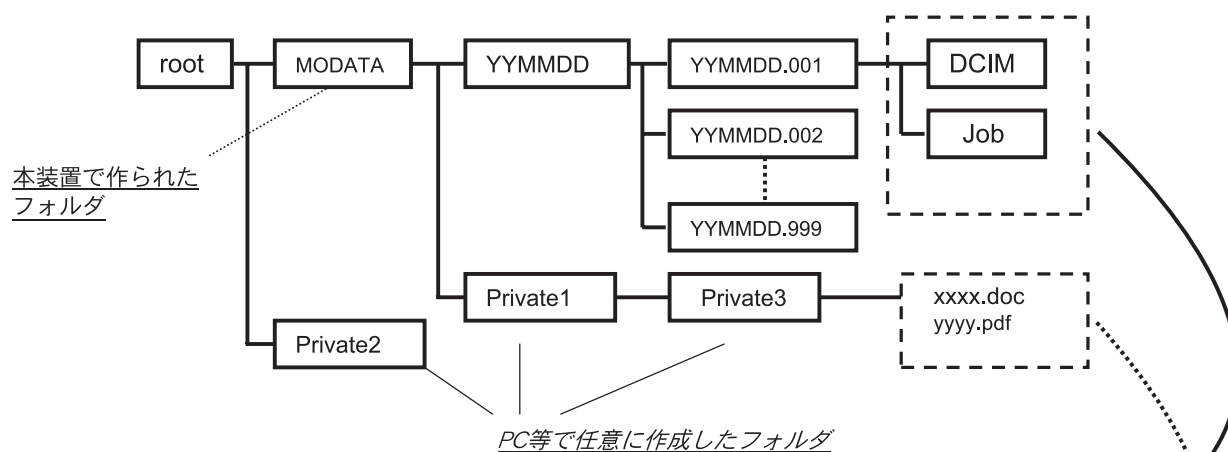
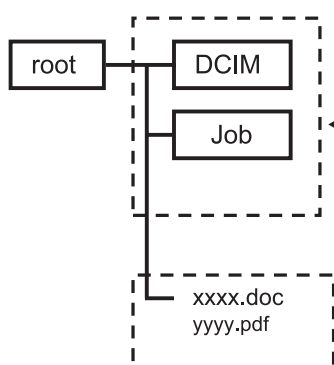
下の例では、「MO へコピー（フォルダ編集無効）」で“031101”の下に“031101.001”～“031101.003”を作成した後に、ユーザが PC で“031110”を作成した場合です。コピーする日付が“031110”であった場合、“031110”フォルダがコピー先と認識して、この下にフォルダを作成します。フォルダ名の default 値は、“日付 .001”すなわち“031110.001”となります。

カードへのコピーの場合

1 **コピーしたいフォルダを指定します。**

例えば、下図において、「YYMMDD」フォルダの下の「YYMMDD.001」フォルダを指定したとします。

2 **YYMMDD.001 フォルダ下のファイル構造が、カード側のルートディレクトリ下にコピーされます。**

つまり、カードから MO へコピーして、コピーしたファイル群を MO からカードへコピーした場合、カードのフォルダ / ファイルは、コピーする前の状態に戻ります。

3 **PC 等で任意に作成したフォルダもコピーできますが、そのフォルダから 2 階層下のフォルダが対象になります。つまり下図の例では、「Private3」フォルダが対象になります。**

高度な設定

ドライブ名の予約（Windows Me/98 のみ）

これは、【アイコンが表示されない】（86 ページ）場合の問題解決のための手順の 1 つです。

1 「MO ドライブのドライバ」をダブルクリックします。

58 ページの手順をご覧になり、［USB ディスク］または［DynaMO Photo Mass Storage Controller］の下にある「MO ドライブのドライバ」をダブルクリックします。

参考 **「MO ドライブのドライバ」の表示は以下のようになっています**
FUJITSU MCN3130AP-S

2 ［設定］タブをクリックします。

3 「予約ドライブ文字」を設定します。

［開始ドライブ］と「終了ドライブ」に、使っていない同じドライブ名を入力します。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

6 Windows を再起動します。

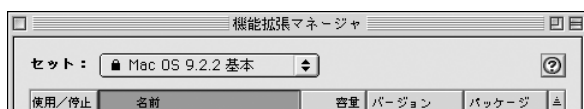
機能拡張の競合解消方法（Mac OS 9 のみ）

これは、【アイコンが表示されない】（90 ページ）の問題解決のための手順の 1 つです。手順例は、Mac OS 9.2.2 のものです。

1 「機能拡張マネージャ」を開きます。

［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

2 ［セット］を［Mac OS xx 基本］に設定します。

※ xx には Mac OS のバージョンが入ります。

3 ［セットを複製］ボタンをクリックします。

⇒［セット］が［Mac OS xx 基本のコピー］になります。

4 本装置のドライバに［×］を付けます。

［DynaMO Photo Bus］、［DynaMO Photo Shim］、［DynaMO Photo USB］に［×］を付けます。

5 ［再起動］ボタンをクリックします。

⇒ Mac OS が再起動します。

6 本装置の動作を確認します。

MO ディスクを本装置に挿入し、MO ディスクのアイコンが画面に表示されることを確認してください。また、他の周辺機器やソフトウェアが動作することも確認してください。

動作しない場合は、それぞれ再インストールしてください。

接続確認

本装置を USB 2.0 インターフェースに取り付けた場合

USB 2.0 インターフェースの取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせの上、USB 2.0 インターフェースが正常に動作しているかどうかを確認してください。

手順	
Windows XP の場合	☞ 57 ページ
Windows 2000 の場合	☞ 57 ページ
Windows Me の場合	☞ 57 ページ
Windows 98 の場合	☞ 57 ページ

ソフトウェアの削除

デバイスドライバやイジェクトツールなどの、本装置用ソフトウェアの削除方法について説明します。

Windows XP ／ 2000 の場合	☞ 99 ページ
Windows Me ／ 98 の場合	☞ 100 ページ

Windows XP ／ 2000 の場合

参考

本作業をするときは
Windows XP をご使用の場合はコンピュータの管理者のアカウントで、Windows 2000 をご使用の場合は Administrators 権限でそれぞれログオンし、作業してください。

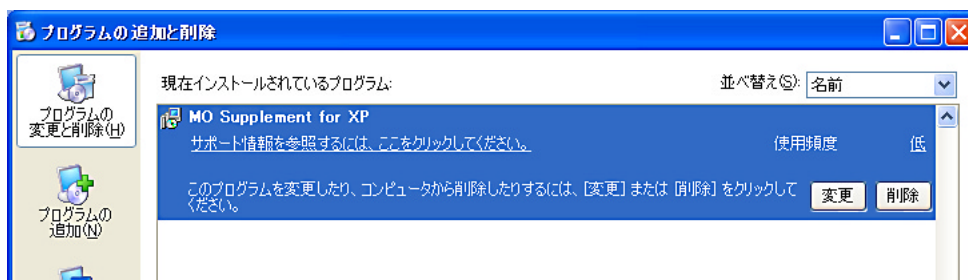
1 「コントロールパネル」を開きます。

Windows XP では［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。
Windows 2000 では［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。

2 追加と削除の画面を開きます。

Windows XP では「プログラムの追加と削除」、Windows 2000 では「アプリケーションの追加と削除」を開きます。

アプリケーション
の追加と削除

3 「MO Supplement」を選択し、［削除］ボタンをクリックします。

4 ［はい］ボタンをクリックします。

5 ［はい］ボタンをクリックします。

⇒再起動されます。

6 手順 1 ～手順 4 を参照し、同様にして「DynaMO 1300U2 Photo カードイジェクトツール」と「MO Eject Tool for Windows NT4/2000/XP」を削除してください。

7 **以上でソフトウェアの削除は完了です。[ウインドウを閉じる]ボタンをクリックしてください。**

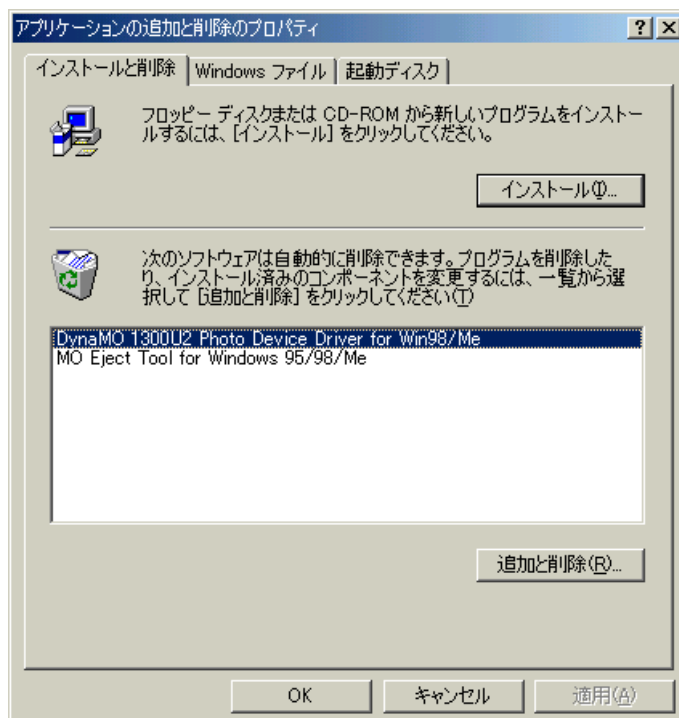
Windows Me ／ 98 の場合

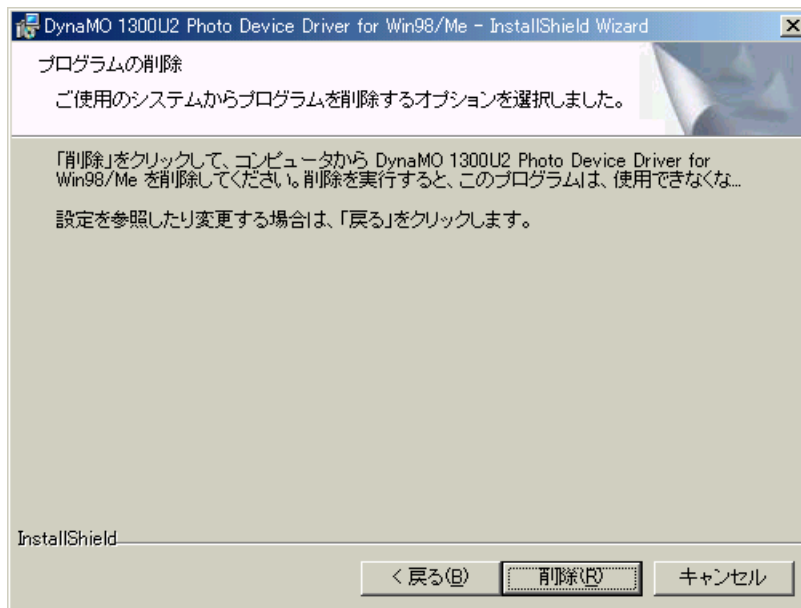
1 **「コントロールパネル」を開きます。**

[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックします。

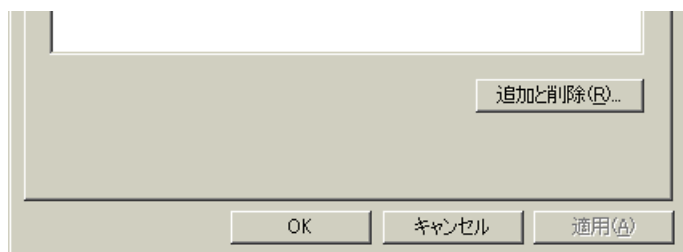
2 **追加と削除の画面を開きます。**

「アプリケーションの追加と削除」を開きます。

3 **「DynaMO 1300U2 Photo Device Driver for Win98/Me」を選択し、[追加と削除]ボタンをクリックします。**

4 「プログラムの保守」画面が表示されます。「削除」をチェックして、［次へ］ボタンをクリックします。

5 確認の画面が表示されます。［削除］ボタンをクリックします。

6 ［完了］ボタンをクリックします。

7 手順 1 〜手順 3 を参照し、同様にして「MO Eject Tool for Windows 95/98/Me」を削除してください。

8 **以上でソフトウェアの削除は完了です。[OK] ボタンをクリックして、「アプリケーションの追加と削除」を終了します。**

Mac OS の場合（Mac OS 9 のみ）

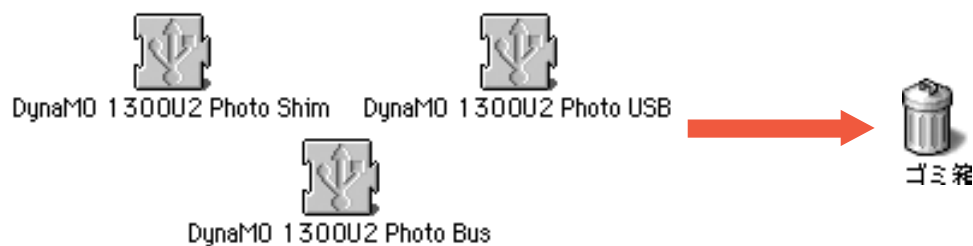
1 **本装置を USB ポートから取り外します。**

(【本装置をパソコンから取り外す】(80 ページ) 参照)

2 **[機能拡張] を開きます。**

[起動ボリューム] → [システムフォルダ] → [機能拡張] の順にダブルクリックします。

3 **本装置のドライバを削除します。**

機能拡張の中にある [DynaMO Photo Shim]、[DynaMO Photo Bus]、[DynaMO Photo USB] をゴミ箱に捨てます。

4 **パソコンを再起動し、「ゴミ箱を空に」を選択します。**

以上で「MO ユーティリティ」の削除は完了です。

参考

「機能拡張マネージャ」を起動すると

「このセットの中にコンピュータにインストールされていない機能拡張があります」と表示されます。

この場合、表示された画面にあるどちらのボタンをクリックしても問題ありません。

※ [OK] ボタンをクリックするとインストールされていない機能拡張の情報が保存されます。

権限変更

ここでは、Windows XP、Windows 2000 で権限を変更する方法について説明します。この設定をすれば、コンピュータの管理者アカウントや Administrators 権限以外のユーザーでも MO ディスクをフォーマット / 取り出しができるようになります。

注意

ユーザー権限の場合
パソコンの電源をオンにする前に、あらかじめ本装置の電源をオンにしてパソコンと接続してください。フォーマットが正常にできなくなります。
フォーマットができない場合は、一度コンピュータの管理者アカウントまたは Administrators 権限でログオンしなおすか、Windows を再起動してください。

参考

本作業をするときは
インストールできるアカウントでログオンしてください。

Administrators 権限以外のユーザーは
本作業をするまでは、MO ディスクのフォーマット / 取り出しはできません。

Windows XP Home Edition でお使いの場合
本作業（権限変更）は出来ません。コンピュータの管理者アカウントでお使いください。

1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

2 「コントロールパネル」を起動します。

［スタート］→［コントロールパネル］をクリックします。

3 ［ローカルセキュリティ設定］を開きます。

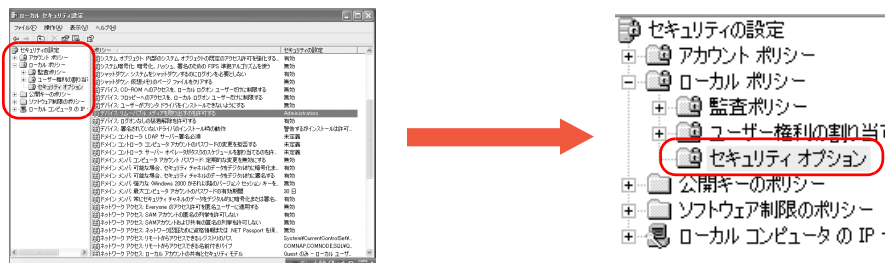
▼ Windows XP の場合

①［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。
②［管理ツール］をクリックします。
③［ローカルセキュリティポリシー］をダブルクリックします。
⇒［ローカルセキュリティ設定］が起動されます。

▼ Windows 2000 の場合

①［管理ツール］をダブルクリックします。
②［ローカルセキュリティポリシー］をダブルクリックします。
⇒［ローカルセキュリティ設定］が起動されます。

4 「セキュリティオプション」を開きます。

① ［ツリー］内にある［ローカルポリシー］の左横の⊞をクリックします。
⇒⊟になり、［ローカルポリシー］の下が表示されます。
② 表示された［セキュリティオプション］をクリックします。
⇒右側に「セキュリティオプション」の内容が表示されます。

5 MO ディスクの取り出しに関する設定を開きます。

▼ Windows XP の場合
［デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する］をダブルクリックします。

▼ Windows 2000 の場合
［リムーバブル NTFS メディアを取り出すのを許可する］をダブルクリックします。

6 ローカルポリシーの設定を変更します。

① ［ローカルセキュリティ（ポリシー）の設定］の中にある をクリックします。
② 希望する設定を選択します。
③ ［OK］ボタンをクリックします。

参考

ローカルポリシーの設定について
フォーマット / 取り出しを許可するユーザーのレベルによって設定が異なります。
・管理者のみ　→　［Administrators］
・全ての人　　→　［Administrators と（and）Interactive Users］

ローカルポリシーの設定について
希望する設定を選択します。

7 「ローカルセキュリティ設定」を閉じます。

右上の をクリックします。
⇒「ローカルセキュリティ設定」が閉じます。

8 パソコンを再起動します。

⇒以上で、フォーマット / 取り出しできる権限が変更されました。

メディア ID 機能について

メディア ID とは

メディア ID とは、デジタルコンテンツの著作権保護に対応した MO の新機能です。ネット上で配信される MO 対応の映像などが保存できます。

MO ディスクにあらかじめ固有の番号（メディア ID）を付加し、MO ディスク装置にこの番号を読み取る機能を備えたネットワーク時代の MO が持つ機能です。MO ディスクのメディア ID は書き換えや消去ができません。メディア ID 付き MO ディスクは従来通りの使い方もできます。

従来の MO 製品とメディア ID 対応の MO 製品の組み合わせと使い方

	メディア ID 対応 MO ディスク装置	従来 MO ディスク装置
メディア ID 付き MO ディスク	従来通りの使用＋コンテンツの保存	従来通り使用可能
従来の MO ディスク	従来通り使用可能	従来通り使用可能

メリット

ブロードバンド・インターネット経由で購入した音楽や映像をメディア ID 対応の MO ディスクへ保管することにより、著作権を保護したままで MO から記録・再生することができます。

これにより、お客様は、安価な記録メディアに高品質な大容量コンテンツを記録し、場所を選ばず手軽に楽しむことができます。

メディア ID ロゴマーク

このロゴマークは MO 製品がメディア ID に対応していることを示します。

※メディア ID ロゴは商標です。

詳しくは、下記アドレスのホームページをご参照ください。

http://www.personal.fujitsu.com/products/mediaid/

- 本機能は Windows 環境でのみご使用になれます。
- 著作権保護されたコンテンツを MO ディスクに保存するには、コンテンツがメディア ID に対応している必要があります。

「メディア ID」機能対応デバイスドライバインストール手順

本ドライバは「メディア ID」機能対応 MO ドライブ用の「メディア ID」機能対応デバイスドライバです。

「メディア ID」機能を利用する際には必ず「メディア ID」機能対応デバイスドライバをインストールしてご利用ください。

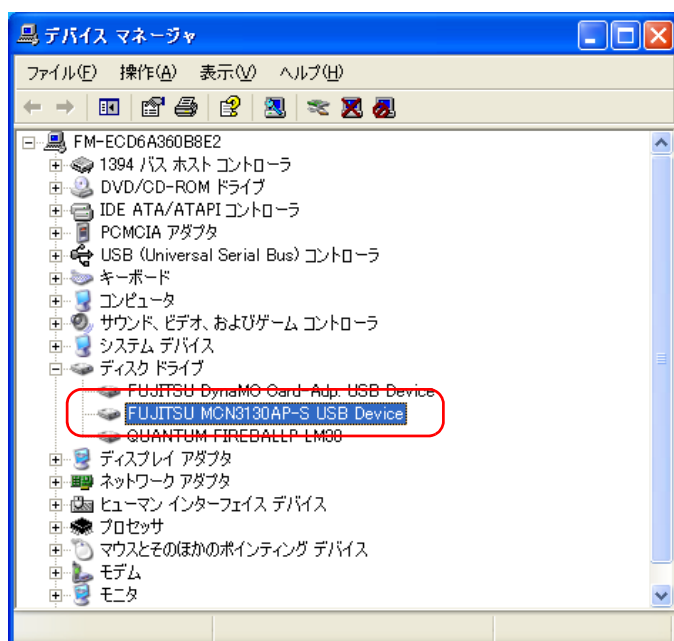
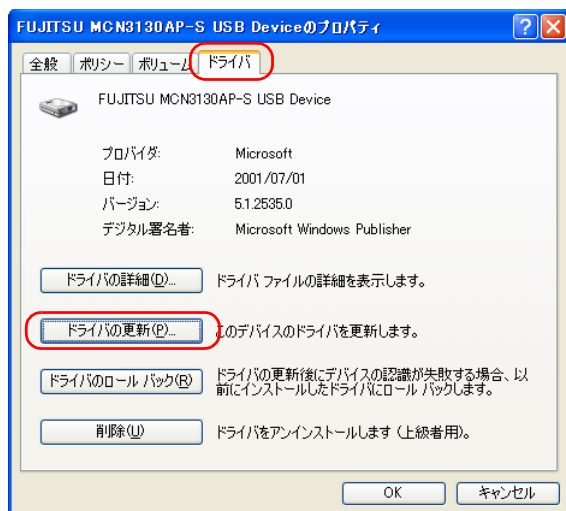
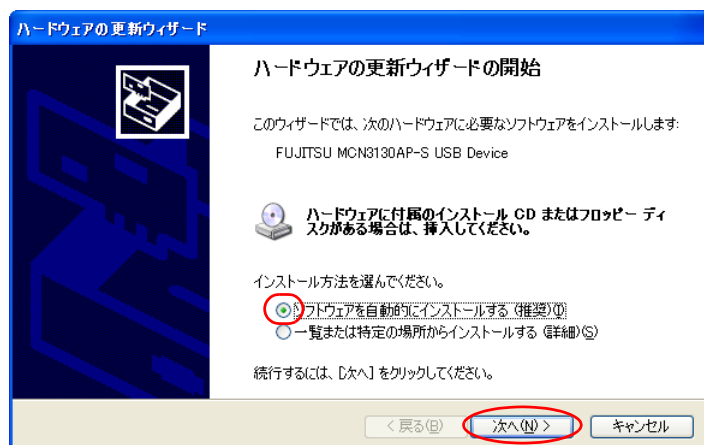
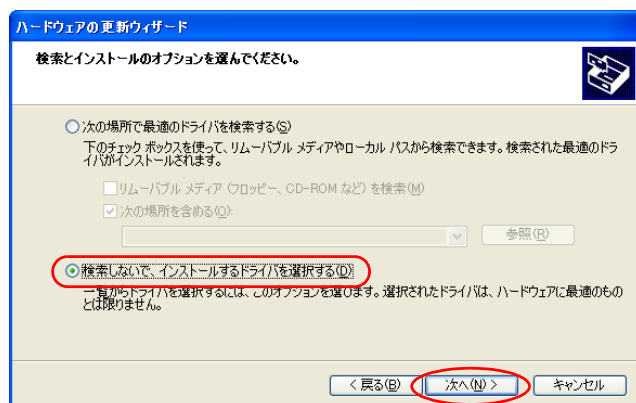
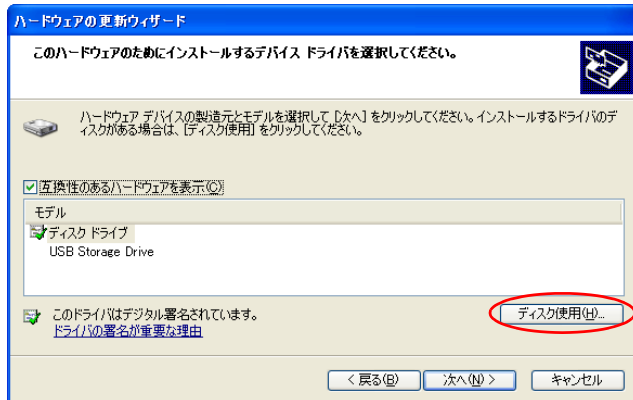
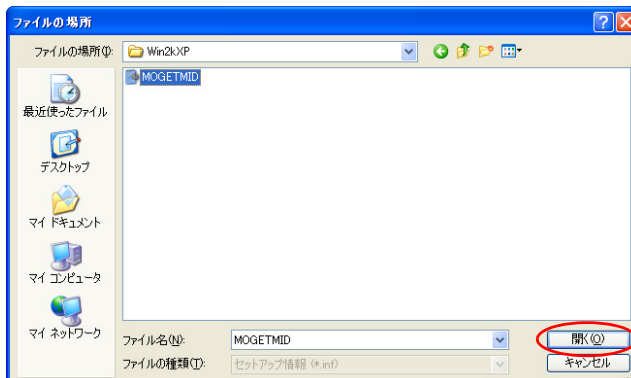
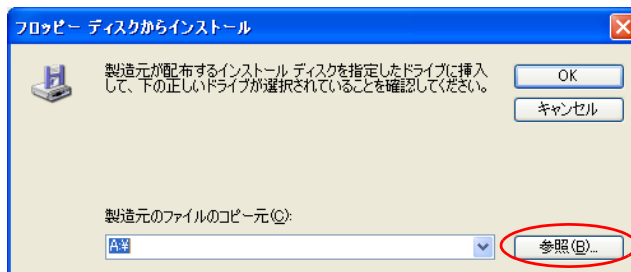
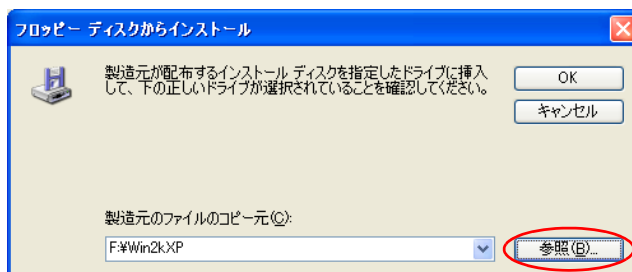
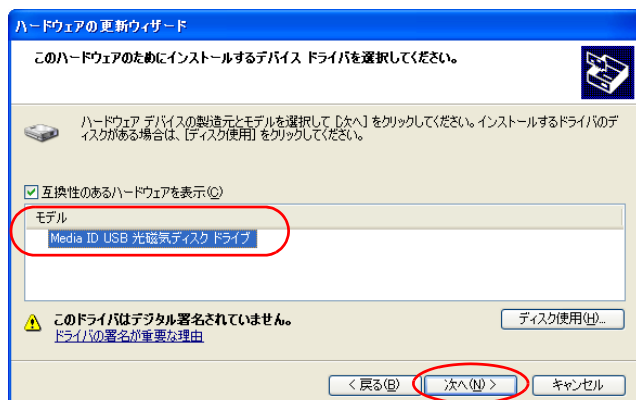
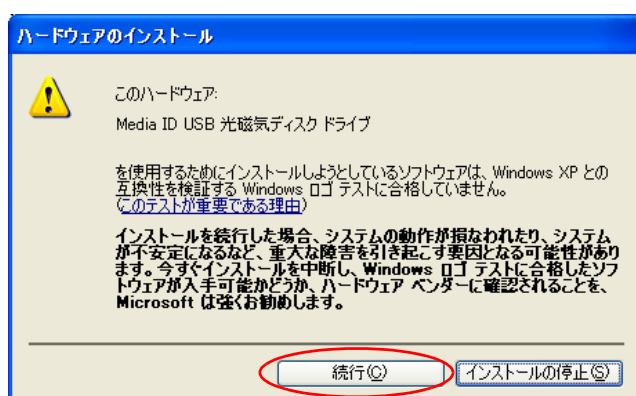
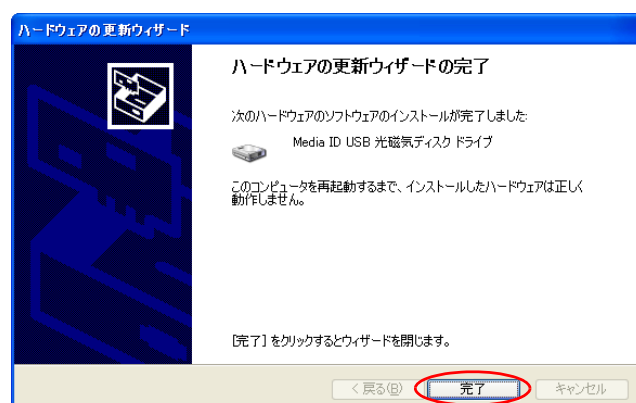
Windows XP の場合

必ずコンピュータの管理者権限でログインし、動作中のプログラムは全て終了してください。

1 **MO ドライブをパソコンに接続し、添付の「CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れてください。**

2 **「スタート」→「マイコンピュータ」→「システムのタスク」内の「システム情報を表示する」→「ハードウェア」のタブ→「デバイスマネージャ」を開きます。**

※自動的に「CD-ROM」のメニューが起動した場合は、[終了] ボタンをクリックして、終了させてください。

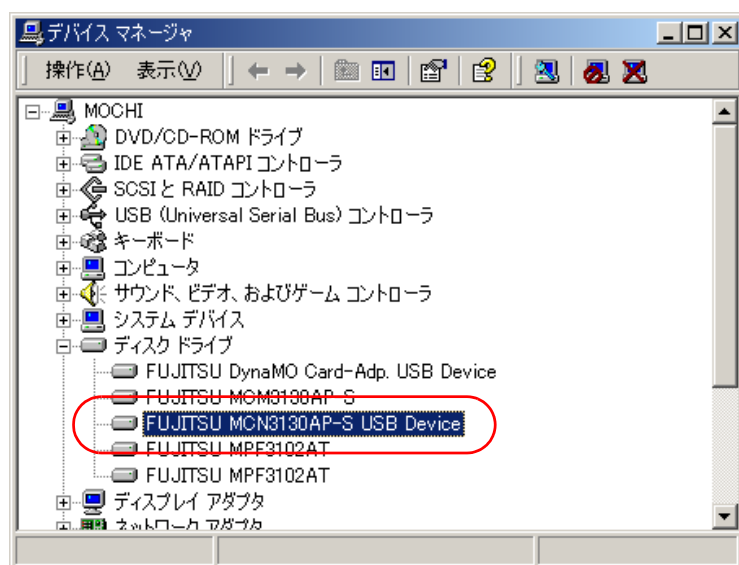
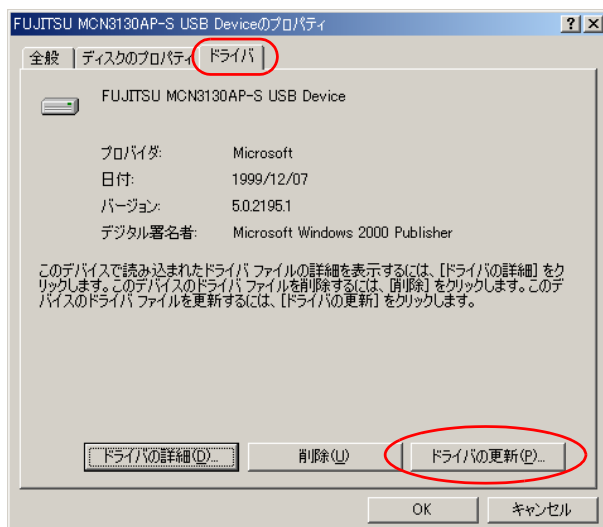
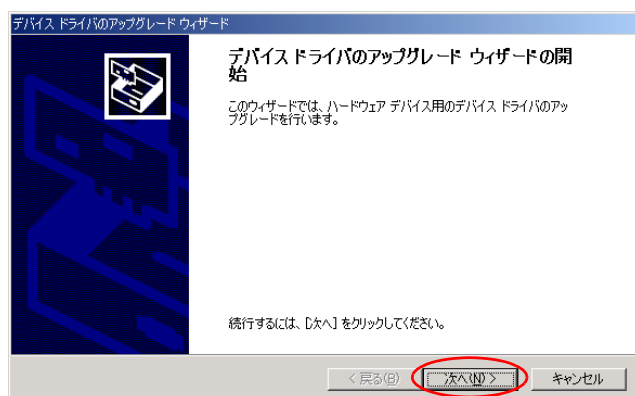
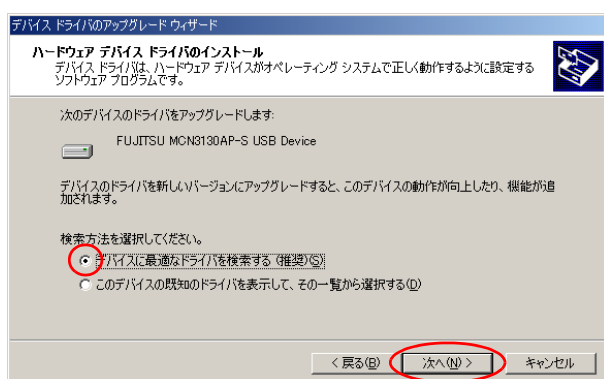
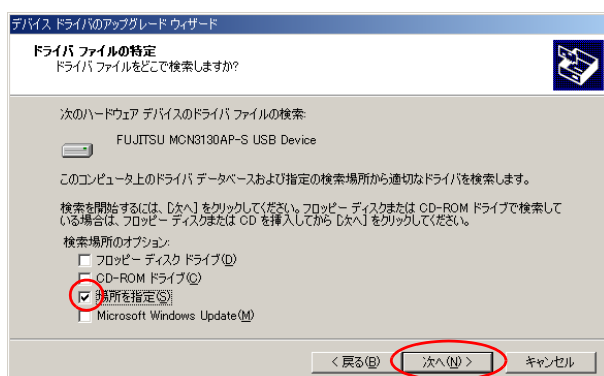
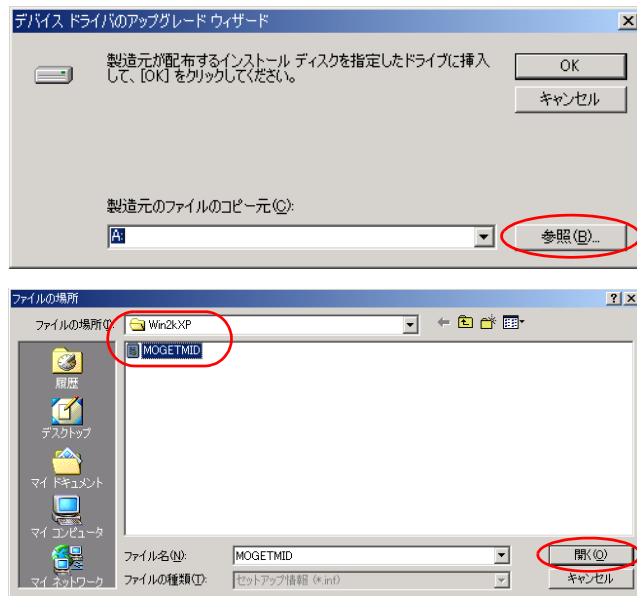
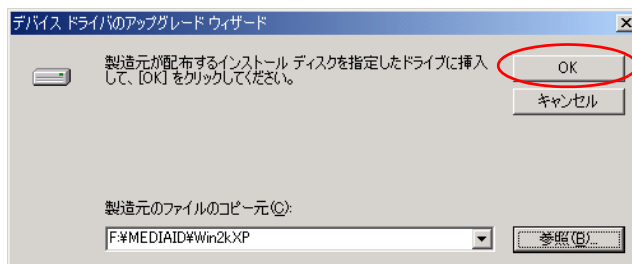
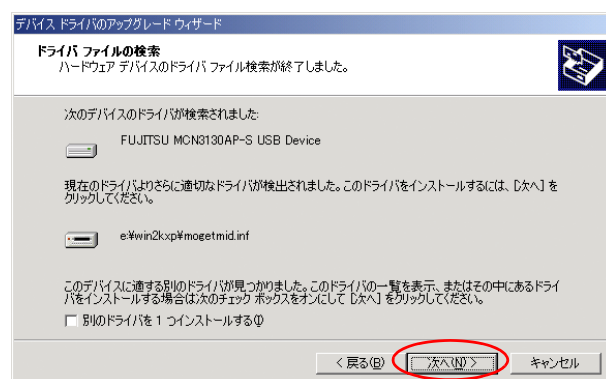
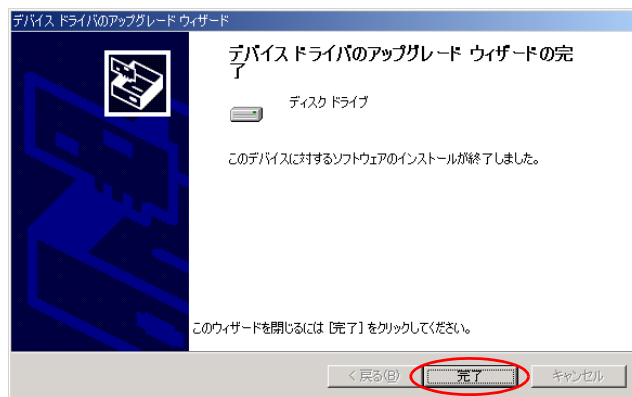
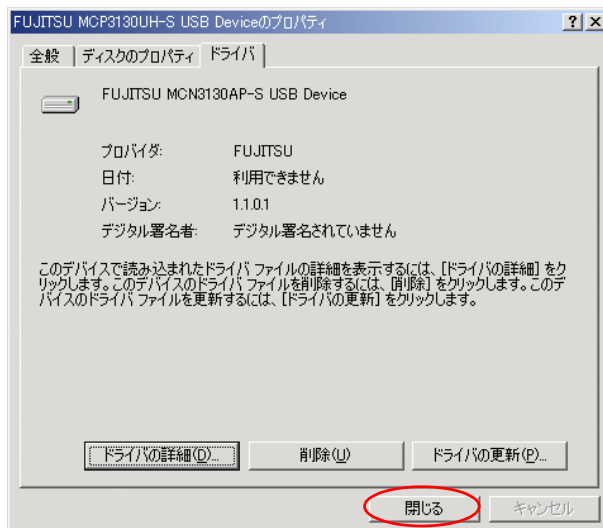
3 **「ディスクドライブ」から「FUJITSU MCN3130AP-S USB Device」を右クリックし、プロパティ　を選択します。**

4 表示された画面から　ドライバ　のタブを選択し、　ドライバの更新　をクリックします。

5「ハードウェアの更新ウィザード」が起動します。「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、　次へ　をクリックします。

6「検索しないで、インストールするドライバを選択する」を選択し、　次へ　をクリックします。

7 ディスク使用　をクリックします。

8 ファイルのコピー元で、 参照　をクリックし、ファイルの場所から添付の「CD-ROM」の「MEDIAID」フォルダの「Win2kXP」フォルダの“MOGETMID.inf”ファイルを選択し、 開く　をクリックします。

9 ファイルの指定が完了したら、 OK　をクリックします。

10 メディア ID ドライバが検出されますので、 次へ をクリックします。

11 下図のような確認メッセージが表示されます。当社にて Windows XP 対応を表明している機器については正常に動作することを確認しております。そのまま 続行 をクリックし、インストールを実行してください。

12 ファイルがインストールされ、完了のメッセージが表示されますので、 完了 をクリックして、OS を再起動してください。

Windows 2000 の場合

Administrators 権限でログインし、動作中のプログラムは全て終了してください。

1 **MO ドライブをパソコンに接続し、添付の「CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れてください。**

2 **「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「システム」→「ハードウェア」のタブ→「デバイスマネージャ」を開きます。**

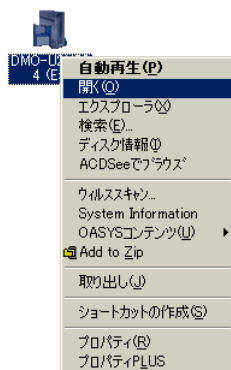
※自動的に「CD-ROM」のメニューが起動した場合は、〔終了〕ボタンをクリックして、終了させてください。

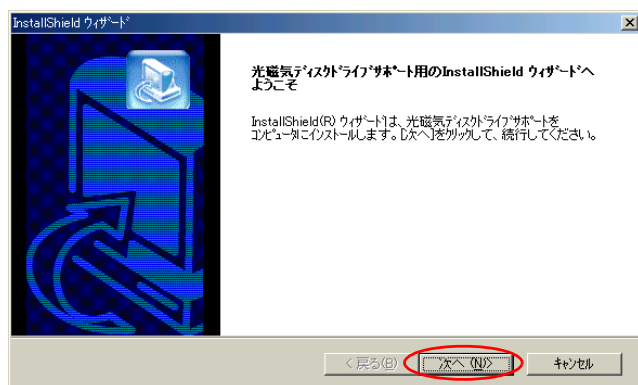
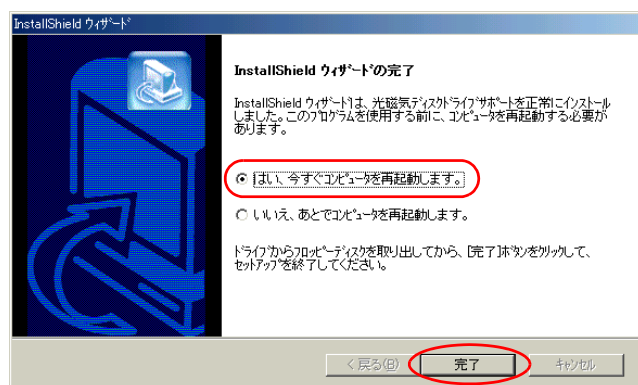
3 **「ディスクドライブ」から「FUJITSU MCN3130AP-S USB Device」をダブルクリックし、「プロパティ」を開きます。**

4 **表示された画面から　ドライバ　のタブを選択し、　ドライバの更新　をクリックします。**

5 「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動しますので、 次へ をクリックします。

6 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、 次へ をクリックします。

7 「場所を指定」にチェックを入れ、 次へ をクリックします。

8 ファイルのコピー元で、 参照 をクリックし、ファイルの場所から添付の「CD-ROM」の「MEDIAID」フォルダの「Win2kXP」フォルダの“MOGETMID.inf”ファイルを選択し、 開く をクリックします。

9 ファイルの指定が完了したら、 OK をクリックします。

10 メディア ID ドライバが検出されますので、 次へ をクリックします。

11 ファイルがインストールされ、完了のメッセージが表示されますので、 完了 をクリックしてください。

12 画面に残ったプロパティの画面を閉じ、OS を再起動してください。

Windows Me ／ Windows 98（Second Edition 含む）の場合

動作中のプログラムは全て終了してください。

1 **MO ドライブをパソコンに接続し、添付の「CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れてください。**

2 **「マイコンピュータ」を開き、「CD-ROM」を右クリックし、「開く」をクリックします。**

※自動的に「CD-ROM」のメニューが起動した場合は、〔終了〕ボタンをクリックして、終了させてください。

3 **「MEDIAID」フォルダの中の「WIN9X」フォルダをダブルクリックして、「setup.exe」をダブルクリックして実行します。**

4 **インストール画面が表示されますので　次へ　をクリックします。**

5 ファイルがコピーされ、再起動を促すメッセージが表示されますので、 完了 をクリックし OS を再起動してください。

ハードウェア仕様

使用可能 MO ディスク	128MB、230MB ※、540MB ※、640MB ※、1.3GB ※オーバーライト対応 MO ディスクを含みます。 ただし、オーバーライト MO ディスクに対応する書き込み速度は、通常ディスクと同等になります。
メモリカードインタフェース	コンパクトフラッシュ、マイクロドライブ、スマートメディア、SD メモリカード、マルチメディアカード、メモリースティック、メモリースティック Pro、xD ピクチャーカード※ ※別途アダプタが必要です。
セクタサイズ	128/230/540MB の MO ディスクは 512 バイト 640MB/1.3GB の MO ディスクは 2,048 バイト (セクタサイズの違いにより、ハードディスクとしてのフォーマットはできません。)
シークタイム	35ms
MO ディスク回転数	3000rpm（1.3GB 媒体）4000rpm（1.3GB 以外）
データ転送速度（最大）	5.54 MB/s
バッファサイズ	2MB
スロット数	3 スロット
インターフェース	USB2.0
電源	AC アダプタ　+5.0V、2.3A
動作温度	5 ℃～ 35 ℃（パソコンの動作する範囲であること）
動作湿度	20％～ 80％（ただし結露なきこと）
サイズ	180（W）× 118（D）× 38（H）mm（突起部を除く）
装置重量	約 650g（本体装置のみ）

メンテナンス

MO ドライブや MO ディスクは、ゴミ、ちり、ほこり、タバコの煙や灰などの付着によって性能が低下したり、場合によっては装置故障の原因となります。
別売のサプライ品をご使用になり、MO ドライブユニットや MO ディスクを 3 カ月に 1 回程度清掃してください。

MO ドライブユニットのお手入れ

最初に、テレビやパソコンから本装置を外してください。
本体の汚れは、やわらかい布によるカラ拭きか、水または中性洗剤を含ませてよく絞った布で軽く拭いてください。揮発性の溶剤（ベンジン、シンナー）などの使用は、変形や変色などの原因となりますので避けてください。

本装置がテレビやパソコンに接続されている状態でのメンテナンスは絶対にしないでください。
本装置に AC アダプタを接続している状態でのメンテナンスは絶対にしないでください。

MO ディスクの清掃

3 カ月に 1 回を目安に、専用クリーナーを使って清掃します。
クリーニングの目安とする期間は使用する環境や頻度によって異なります。

提供元	品名	商品番号
富士通コワーコ（株）	光ディスククリーニングキット（3.5 型）※	0632440
	光ディスククリーニングキット（補充用）※	0632450

※お買い求めの際には、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。

MO ドライブユニットの清掃

3 カ月に 1 回を目安に、専用クリーナーを使って清掃します。
クリーニングの目安とする期間は使用する環境や頻度によって異なります。

提供元	品名	商品番号
富士通コワーコ（株）	光ディスククリーニングカートリッジ※	0240470

※お買い求めの際には、お買い上げいただいた販売店へご相談ください。

製品サポート・修理について

製品サポートについて

本製品についてお困りの場合には、「ハイパーセレクションサポートセンター」までお問い合わせください。
本製品に関する基本的なご質問にお答えいたします。

◆ ご質問の一例

・本装置の使い方がわからない
・使い方は間違っていないと思うのだが、どうも調子がおかしい
・本装置の調子が悪いが、故障しているのかどうかわからない、など

お問い合わせ先　株式会社富士通パーソナルズ
ハイパーセレクションサポートセンター
フリーダイヤル　0120-65-8180
受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始を除く）
9:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00
Ｅ－Ｍａｉｌ：hyper@personal.fujitsu.com

製品に関する情報やＱ＆Ａはホームページにも掲載されておりますので、ご利用ください。
なお本装置では、日本語以外の言語表示につきましては、製品サポートの対象外とさせていただきます。
ホームページアドレス　http://www.personal.fujitsu.com/

修理について

故障と思われる症状が発生した場合には、まずマニュアルを参照し、接続、設定、操作が正しいか確認してください。
明らかに故障していると思われる場合には、保証書と本装置をお買い上げの販売店へお持ちください。
故障かどうか不明な場合は、富士通パーソナルズハイパーセレクションサポートセンターへご相談ください。

ご不要になったときの廃棄・リサイクルについて

● 本製品の廃棄について

本製品（添付品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

■ 個人のお客様へ
本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

■ 法人、企業のお客様へ
本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。

● 使用済電池の廃棄について

使用済電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

■ 個人のお客様へ
使用済電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■ 法人、企業のお客様へ
使用済電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託してください。

索引

DynaMO 1300U2 Photo
Photo Player
ユーザマニュアル

発行日・版数　│　2004 年 7 月・1 版
製造元：**富士通株式会社**
販売元：**株式会社富士通パーソナルズ**